

2年 高入理系 科目一覧

	科 目	ページ
1	現代文B	2 ・ 3
2	古典B	4 ・ 5
3	世界史A	6 ～ 9
4	日本史B	10 ～ 13
5	地理B	14 ～ 17
6	数学Ⅱ	18 ・ 19
7	数学Ⅲ	20 ～ 22
8	数学B	23 ・ 24
9	物理	25 ～ 28
10	化学基礎	29 ～ 31
11	化学	32 ～ 34
12	生物	35 ～ 39
13	体育	40 ～ 45
14	保健	46 ・ 47
15	コミュニケーション英語Ⅱ	48 ～ 52
16	英語活用AE(Advanced Expression)	53 ～ 60
17	英語活用RP(Research & Presentation)	61 ～ 66
18	英語活用DD(Debate & Discussion)	67 ～ 72
19	KoA-S・Ⅱ	73 ・ 74

令和2年度 国語科 指導と評価の年間計画

学校名 福井県立高志高等学校

科目名	学科名	対象学年	単位数
現代文B	普通科理系	2年	2
教科書（出版社・タイトル）		補助教材等	
精選現代文B改訂版（筑摩書房）		新総合図説国語（東京書籍） 頻出漢字マスター3000（尚文出版）	

科目の目標	近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を育てる。			
評価の観点および評価規準				
関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	23	知識・理解
様々な文章に関心をもって積極的に読み、自己の知識や考えの発展に活かそうとしている。	目的や場に応じて、効果的に話すことで自己を表現したり、的確に聞き取って考えを深めている。	相手や目的、意図に応じて、正しい表現を用い、自己の考えをまとめ、深めている。	文章の構成や展開、要旨などを的確に捉え、書き手や文章中の人物のものの見方、感じ方、考え方など中心的な内容を正確に把握している。	文章の構成や語句などの知識を身につけるとともに、文章読解を通して様々な考え方を理解している。
評価方法	【関心・意欲】 出席状況、発言やノート等の授業態度、課題への取組状況。 【学習到達度】 中間・期末考査等の定期考査の得点。 【表現力】 文字作品（随筆・感想文等）、音声表現（スピーチ等）の内容や完成度。			

「現代文B」 指導と評価の年間計画

学校名・学科・学年 福井県立高志高等学校 普通科（理系）2年

実施月	単元名	教材名	指導事項					単元の目標	具体的評価規準（評価方法）			単元全体で取り上げる言語活動／学習活動	備考 (他教科との関係、 学校図書館の活用、 ICTの活用等)	
			ア	イ	ウ	エ	オ		指導 時数	関心・意欲・ 態度 (評価方法)	話す・聞く能力 書く能力 読む能力 (評価方法)			知識・理解 (評価方法)
4	構成・展開を捉える	ラップトップ抱えた「石器人」	○					6	・具体例に注目し、筆者の意見を読み取ることができる。 ・筆者の意見をもとに、自己の生活の中から具体例にふさわしい事例を考え、まとめることができる。 ・語句の正しい意味を理解する。	具体例と意見の関係を注目し、書き手の考えを読み取ろうとしている。(行動の観察)	具体例と意見の関係を考え、適切性を判断すると共に自らの生活を振り返り適切な事例を挙げまとめようとしている。(記述の確認・定期考査)	語句の正しい意味を理解する。(定期考査)	書き手の意図を正しく捉え、それを踏まえての意見文を適切な具体例を用いて書く。	
5	書き手の意図を捉える	水かまきり	○					6	・登場人物の人物背景を意識しながら読む態度を身につける。 ・書き手の意図を作品中に理由を求めながら考えることができる。 ・確かな理由のもとに本文を理解できる。	登場人物の人物背景を意識しながら理解しようとしている。(行動の観察・記述の確認)	書き手の意図を本文の記述や記述から考えられる内容をもとに理解しようとしている。(記述の確認・定期考査)	文中の記述をもとに考えるという読みが深まるようになる。(記述の確認・定期考査)	話し合いを通して、書き手の意図を捉える。	
中間考査①														
5～6	自己の考えを深める	山月記					○	8	・小説の構成・登場人物像とその心理を読み取ることができる。 ・主題の把握を通して、人間はいかに生きるべきかについて考えを深める。 ・話し合いを通して、「生きる」ことに対する様々な考えを知る。	登場人物の行動と心情を丁寧に読み取り、自己に置き換えて考えようとしている。(記述の確認・発問の答え)	自己の意見を持ち、他者との話し合いを通して、考えを深めようとしている。(行動の観察・定期考査)	「生きる」ことに対する様々な考えを知る。(行動の観察)	話し合いを通して、自己の「生き方」について考え、まとめる。	
6～7	論理性を評価する	思考バイアス	○		22			7	・文の展開を意識して読み取る力を身につける。 ・文章の展開を的確に捉え、要約文を書き、互いに評価することができる。 ・文の展開と接続詞等の関係を意識することができる。	文章の展開を捉え、自分なりにまとめようとしている。(記述の確認)	文章の展開を的確に捉え、論理性を考えた上で要約文を書き、互いに評価しようとしている。(行動の観察・定期考査)	接続詞等の働きを正しく理解する。(行動の観察・定期考査)	語句や展開の仕方に注意し、要旨を捉えてまとめ、評価する。	
中間考査②														
9	文章を批評する	文学の仕事	○					6	・物事を多角的に捉え考える。 ・各自の意見をもとに議論し、思考を深める。 ・多くの視点をもとに論証されているという展開を知る。	文中の語句の働きに注意して、要旨を捉えようとしている。(行動の観察・記述の確認)	自己の意見を持ち、他者と議論しようとしている。(行動の観察)	多角的な視点をもとに展開される文章の構成について知る。(行動の観察・定期考査)	・筆者の意見に対する自己の意見を、肯定・否定の両面から考えた上で、最終的な自己の意見をまとめる。 ・自己の意見をもとに、他者と議論する。	
9～10	意見文を書く	藤野先生					○	6	・印象的な表現や心情を中心に読む。 ・人間と社会の深い関わり合いの錯綜を読み解き、人生について深く考える態度を身につける。	作品の時代状況や社会状況やその背景を考えて読み味わい、理解しようとしている。(行動の観察)	作者にとって藤野先生がどのような存在だったかを作品に基づいて読み解き、随想文を書く。(記述の確認・定期考査)	魯迅とその作品に関して理解している。(行動の観察・定期考査)	作品を読んで考えたことを基にして、「学ぶこと」「書くこと」「誠意」などのテーマで随想文を創作する。	
10	実用の文章を書く	報告					○	4	情報を収集・分析・整理し、聞き手の存在を意識して、効果的に表現することができる。	積極的に情報を収集・分析し、効果的にまとめようとしている。(行動の観察・記述の確認)	整理した情報を聞き手を意識して効果的に表現しようとしている。(記述の確認)	情報の収集・分析・整理の方法や、効果的な表現の仕方について知る。(記述の確認)	発表する。	
期末考査														
10～11	構成・展開を理解する	ファンタジー・ワールドの誕生	○					6	・段落相互の関係を意識して、主張や論理展開を的確に理解する。 ・表現に注意して、筆者の特徴的な見解を理解する。 ・ものの見方・感じ方・考え方を深める。	主張や展開を的確に理解しようとしている。(行動の観察)	主張や論理展開、表現等に注意して、筆者の主張や見解を丁寧に読み取ろうとしている。(発問の答え・記述の確認・定期考査)	作品を通して、新たなものの見方・考え方に気づく。(記述の確認)	個人で読み取った論理展開や筆者の主張について、ペアで確認する。	
中間考査①														
11～12	生き方について考える	空と風と星と詩					○	6	・本文から主人公の生涯を読み取る。 ・鑑賞文をもとにした話し合いを通して、主人公の生き方を考察し、「人間の質」について考える。 ・詩の特性について知る。	時代背景と主人公の生涯との繋がりを意識しながら読もうとしている。(行動の観察)	詩の鑑賞文を書き、話し合いを通して「人間の質」について考えようとしている。(行動の観察・記述の確認)	詩の余情性や言葉の裏にある意味の重要性について知る。(記述の確認・定期考査)	・詩の鑑賞文を書く。 ・話し合いを通して「人間の質」について考える。	
中間考査②														
1	要旨を的確に捉える	「である」と「する」こと	○					6	・日本の近代化の問題点を読み取ることができる。 ・論の展開を丁寧に捉え、要旨を的確に捉えることができる。 ・多くの符号を持つ意味を理解する。	日本の近代化について読み取ろうとしている。(行動の観察)	段落の関係性等に注意しながら、論の展開を丁寧に捉え、要旨を読み取ろうとしている。(記述の確認・定期考査)	多くの符号を持つ意味合いについて理解し、本文中での役割を知る。(記述の確認・定期考査)	個人で書いた要旨についてペアで意見交換する。	
1～2	人の生き方・考え方について思考する	こころ					○	9	・登場人物の心情の変化を読み取ることができる。 ・「K」の自殺という行為を中心に、人の生き方、考え方について思考し、まとめ発表する。 ・登場人物の行動から心情を考える視点を身につける。	登場人物の心情の変化を人物の行動をもとにして読み取ろうとしている。(発問・記述の確認)	「K」の自殺という行為を中心に、自殺の理由、決意の時期、その行為についての是非等について議論しようとしている。(行動の観察)	人の行動と心情の関係について理解する。(記述の確認・定期考査)	「K」の自殺という行為を通して様々な課題を設定し話し合う。	
学年末考査														
2単位 70時間の場合の例								70						

令和2年度 国語科 指導と評価の年間計画

学校名 福井県立高志高等学校

科目名	学科名	対象学年	単位数
古典B	普通科理系	2年	3
教科書（出版社・タイトル）		補助教材等	
古典B 古文編 [改訂版] ・ 古典B 漢文編 [改訂版] （三省堂 古B 333・334）		新総合図説国語（東京書籍） 完全マスター古典文法（第一学習社） 漢文読本（大修館書店）・新明説漢文（尚文出版） 解法古文単語350（数研出版）	

科目の目標	古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てる。		
評価の観点および評価規準			
関心・意欲・態度	読む能力		知識・理解
古典を読む力を進んで高めるとともに、古典についての理解や関心を深めようとしている。	まとまりのある古典を読み、古典に表れた思想や感情を捉え、自分の考えを深め、発展させている。		伝統的な言語文化及び言葉の特徴などの理解を深め、知識を身に付けている。
評価方法	【関心・意欲】出席状況、発言やノート等の授業態度、課題や小テスト等への取組状況。 【学習到達度】中間・期末考査等の定期考査の得点、提出物の評価。		

「古典B」 指導と評価の年間計画

学校名・学科・学年 福井県立高志高等学校 普通科（理系）2年

実施月	単元名	教材名	指導事項					単元の目標	具体的評価標準（評価方法）			単元全体で取り上げる言語活動／学習活動	備考 (他教科との関係、 学校図書館の活用、 ICTの活用等)	
			ア	イ	ウ	エ	オ		関心・意欲・態度 (評価方法)	読む能力 (評価方法)	知識・理解 (評価方法)			
4～5	《古文》 説話を読む 《漢文》 説話を読む	《古文》 安養の尼上の小袖（十訓抄） やさし蔵人（大和物語） 《漢文》 糟糠之妻（後漢書） 王昭君（西京雜記） 漱石枕流（背説新語）		○	○		12	《古文》説話を読み、時代と社会に対する認識を深めるとともに、そこに描かれた多様な人物像に触れることで、古典に親しむ態度を養う。 《漢文》比較的短い逸話作品の読解を通して、漢文に用いられる語句の意味、用法を理解し、その構成や展開に即した主題の読み取りができるようにし、古典に触れる楽しさを味わう。	それぞれの話を正確に読解し、登場人物の行動や心情を読み取る。（行動の観察）	それぞれの話を正確に読解し、登場人物の行動や心情を読み取っている。（記述の確認・定期考査）	作品に関する文学史的な基礎知識を正確な読解に結びつけている。再読文字や句形に関する理解を深めている。（定期考査）	・（読むこと）人物に焦点を当てた説話を紹介し合い、現代に通じるユーモアや情趣を分析し、味わう。		
中間考査①														
5～6	《古文》 歌物語を読む 《漢文》 史伝を読む	《古文》 狩りの使ひ（伊勢物語） 小野の雪（伊勢物語） 《漢文》 鴻門之会（史記）			○	○	16	《古文》歌物語を読み、話の展開を正確に読み取るとともに、和歌に託された心情を考えると、歌物語を鑑賞する力と古典に親しむ態度を養う。 《漢文》史記を読解しながら項羽と劉邦を中心として多彩な登場人物の描写を味わうとともに、作者司馬遷の人間に対する観察眼、洞察力にふれる。	正確な読解をもとにして、話の展開や登場人物の心情を理解しようとしている。（行動の観察）	正確な読解をもとにして、話の展開や登場人物の心情を理解している。（記述の確認・定期考査）	和歌の修辞の理解、および歌物語の知識、重要句形を鑑賞に結びつけている。（定期考査）	・（書くこと）歌物語の印象的な場面について台本を作り、風景や人物の仕草や具体的な台詞などを想像して創作する。		
中間考査②														
7～8	《古文》 随筆を読む 《漢文》 史伝を読む	《古文》 すさまじきもの（枕草子） ゆく川の流れ（方丈記） 《漢文》 四面楚歌（史記） 項王の最期（史記）			○	22	14	《古文》作者のものの見方、感じ方、考え方について理解を深めるとともに、文化や感性の伝統について考える。 《漢文》史記を読解しながら項羽と劉邦を中心として多彩な登場人物の描写を味わうとともに、作者司馬遷の人間に対する観察眼、洞察力にふれる。	描かれた題材を正確に読み取り、表現の特色や作者のものの見方、感じ方、考え方について考えようとしている。（行動の観察）	描かれた題材を正確に読み取り、表現の特色や作者のものの見方、感じ方、考え方について考えている。（記述の確認・定期考査）	作品に関する文学史的な基礎知識、重要句形を正確な読解に結びつけている。（定期考査）	・（読むこと）項羽と劉邦のリーダー性の違いを分析し、現在のリーダー論と比較して、どの場面でもう振る舞うべきだったかを考える。		
実力評価テスト														
9	《古文》 歴史物語を読む 《漢文》 日本の漢詩文・思想を読む	《古文》 雲林院の菩提講、弓争ひ（大鏡） 《漢文》 長沮・桀溺（孔子） 不忍人之心（孟子） 人之性悪（荀子）			○	○	12	《古文》描かれたエピソードや、登場人物の人間像を読み取るとともに、そのエピソードや人物について語る語り手のスタンスを正しく捉えて鑑賞する。 《漢文》 ・それぞれの思想家のものの見方、考え方を理解するとともに、それらの生まれた時代背景への理解を深め、それらの思想がわが国の文化や社会に与えた影響についても考える。	正確な読解をもとにして、登場人物、思想家の行動や心情を理解しようとしている。（行動の観察）	正確な読解をもとにして、登場人物、思想家の行動や心情を理解している。（記述の確認・定期考査）	作品の特色について理解し、文法や句法を用いて、その知識を読解に結びつけている。（定期考査）	・（話すこと）性善説と性悪説について具体的な根拠を挙げながら議論し、相手の論も整理して反論する。		
期末考査														
10	《古文》 軍記物語 《漢文》 思想を読む	《古文》 忠度の都落ち（平家物語） 《漢文》 小国寡民（老子）			○	○	○	12	《古文》音読を通して語り物の特徴を知るとともに、生死に直面した人間の行動を通して、生き方についての考えを深める。 《漢文》思想家のものの見方、考え方を理解するとともに、それらの生まれた時代背景への理解を深め、それらの思想がわが国の文化や社会に与えた影響についても考える。	音読を通して文体を味わい、内容を踏まえて人間の生き方についての考えを深めようとしている。（行動の観察）	登場人物の置かれた状況やその心情を読み取る。（記述の確認・定期考査）	基本的な敬語法について理解している。（定期考査）	・（話すこと）古典に表れた人間の生き方や考え方などについて、文章中の表現を根拠にして話し合うこと。	
11	《古文》 日記を読む 《漢文》 文章を読む	《古文》 あこがれ（更級日記） 源氏の五十余巻（更級日記） 《漢文》 漁父辞（屈平）			○	○	12	《古文》女性の手になる日記作品を読み、当時の宮廷女性の生き方を知るとともに、それぞれの作品にあらわれたものの見方、感じ方、考え方を参考にしながら作品を鑑賞する。 《漢文》詩についての基本的事項を理解し、そこに描かれた情景や作者の心情を読み味わう。	作品から読み取れる作者の心情や感性を理解するとともに、登場人物の人物像について考えようとしている。（行動の観察）	作品から読み取れる作者の心情や感性を理解するとともに、登場人物の人物像について考えている。（記述の確認・定期考査）	文学史的な基礎知識、文法や句法を、正確な読解に結びつけている。（定期考査）	・（読むこと）更級日記からわかる、当時の地理的条件の差異や源氏物語への世間の反応をまとめ、整理する。		
中間考査①														
12	《古文》 物語を読む 《漢文》 詩を読む	《古文》 光源氏の誕生（源氏物語） 《漢文》 春夜喜雨（杜甫）			○	○	○	12	《古文》源氏物語を読み、光源氏を取り巻く女性達の物語の読解・鑑賞を通して、日本文学の最高傑作とされる作品世界に触れるとともに、時代を超えた人間の真実に触れることで、古典に親しむ態度を養う。 《漢文》詩に詠み込まれた情景や作者の心情を読み味わう。	各場面の状況や登場人物、その行動や心情について正確に理解しようとしている。（行動の観察）	各場面の状況や登場人物、その行動や心情について正確に理解している。（記述の確認・定期考査）	作品の特質、近代詩のきまりを理解し、その知識を読解に結びつけている。（定期考査）	・（読むこと）源氏物語の中にある、「宮中の生活」「帝・天皇」についての知識を整理し、具体的なエピソードも調べて紹介し合う。	
実力評価テスト														
1	《古文》 評論を読む 随筆を読む 《漢文》 史伝を読む	《古文》 笈の小文（笈の小文） 世に語り伝ふること（徒然草） 《漢文》 完璧帰趙（史記） 灑池之会（史記）			○	○	12	《古文》評論や随筆を読み、古典文学の根底にあるものの見方・感じ方・考え方を理解することで、我が国の伝統と文化について理解を深め、古典に親しむ態度を養う。 《漢文》長文の読解を通して、漢文の表現に慣れ、語句や句形の知識の定着と、内容把握能力の向上を図る。	作品のテーマを読み取り、作者のものの見方・考え方を理解しようとしている。（行動の観察）	作品のテーマを読み取り、作者のものの見方・考え方を理解している。（記述の確認・定期考査）	さまざまなものの見方・考え方・感じ方を知ることによって自己の視野を広げ、句形や意味から正しく口語訳をしている。（定期考査）	・（読むこと）史記を通じて、感情を表すような漢字に注目し、緊迫した場面をテンポ良く伝える工夫を考える。		
中間考査②														
2～3	《古文》 日記を読む 《漢文》 史伝を読む	《古文》 なべて世のはかなきことを（建礼門院右京大夫集） 《漢文》 刎頭之交（史記）			○	○	○	15	《古文》作者が置かれた状況を理解し、和歌にこめられた作者の心情を読み取る。 《漢文》長文の読解を通して、漢文の表現に慣れ、語句や句形の知識の定着と、内容把握能力の向上を図る。	歴史的背景をとらえ、作者が置かれた状況とその心情を理解しようとしている。（行動の観察）	和歌を通して作者の心情を読み取る。（記述の確認・定期考査）	基本的な助詞について理解している。（定期考査）	・（話すこと）古典に表れた人間の生き方や考え方などについて、文章中の表現を根拠にして話し合うこと。	
学年末考査														
3単位 105時間の場合の例								105						

令和2年度 地歴・公民科 指導と評価の年間計画

学校名 福井県立高志高等学校

科目名	学科名	対象学年	単位数
世界史A	普通科理系	2年	2
教科書（出版社・タイトル）		補助教材等	
山川出版社 『要説 世界史』		ダイアログ世界史図表 新世界史A研究ノート	

科目の目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 近現代史を中心とする世界の歴史を諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連づけながら理解する。 2. 現代の諸課題を歴史的観点から考察することによって、歴史的思考力を培う。 3. 国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。 		
評価の観点および評価規準			
関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
近現代史を中心とする世界の歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責務を果たそうとする。	現代世界の諸課題を歴史的観点から考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	近現代史を中心とする世界の歴史に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	近現代史を中心とする世界の歴史についての基本的な事柄を地理的条件や日本の歴史と関連づけながら理解し、その知識を身につけている。
評価の方法			
関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察 ・提出状況 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・レポート ・プレゼンテーション 	<ul style="list-style-type: none"> ・資料収集状況 ・資料活用状況 ・資料分析状況 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・小テスト

「世界史A」指導と評価の年間計画

福井県立高志高等学校 普通科 2年

単元番号	単元名	実施月	単元の時数	評価規準				学習内容	言語活動
				関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解		
				(評価の方法) ・行動観察 ・提出状況	(評価の方法) ・ワークシート ・レポート ・プレゼンテーション	(評価の方法) ・資料収集状況 ・資料活用状況 ・資料分析状況	(評価の方法) ・定期考査 ・小テスト ・模擬試験		
1	序章 古代文明の形成	4	2	・自然環境と人類の歴史との関係に関心をもつ。 ・農耕や牧畜、遊牧などに関心をもち学ぼうとする。	・なぜ人類の進化がとげたのか考えている。 ・文明の形成と道具や技術について考えている。	・考古学資料や写真などを適切に活用している。	・人類の特性や文明の成立を理解している。	古代文明の形成 ・気候や地形など自然環境と歴史・文明の関係を考える。 ・人類の進化と文明の形成を理解する。	・人類の進化を理解し、他者に伝達する。
2	第1章 諸地域世界の形成と交流	4 5 6	10	・人類が自然環境に適応しながら築き上げた諸文明及び諸地域世界に対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 ・ユーラシアの海域及び内陸のネットワークを背景とした諸地域世界の交流と、新たな地域世界の形成や再編に対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。	・世界各地に形成された諸文明及び諸地域世界の特色を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ・諸地域世界の交流や新たな地域世界の形成過程及び地域世界間の交流が及ぼした影響を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	・世界各地に形成された諸地域世界の特質に関する諸資料を収集し、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 ・諸地域世界の交流や新たな地域世界の特質に関する諸資料を収集し、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	・世界各地に形成された独自の地域世界の特質についての基本的な事柄を把握し、その知識を身に付けている。 ・ユーラシアの海域及び内陸のネットワークを背景とした諸地域世界の交流と、新たな地域世界の形成や再編についての基本的な事柄を把握し、その知識を身に付けている。	① 東アジア世界・内陸アジア世界 1. 中国文明の始まりと中国の統一 2. 東アジア世界の形成 ・東アジア世界の特質と周辺地域との関連を理解する。 ・内陸アジア世界の動向と中国への影響を理解する。 世界と日本① 東アジア世界と日本 ・日本と中国・朝鮮との交流をまとめる。 ・交流による文化・政治への影響を理解する。 ② 南アジア世界・東南アジア世界 1. 南アジア世界 2. 東南アジア世界 ・南アジア世界の特質を宗教の変遷から理解する。 ・東南アジア世界の文化の多様性を理解する。 ③ 西アジア世界 1. 古代オリエント世界 2. イスラーム世界 ・西アジア世界の特質を宗教面から理解する。 ・古代オリエント文明の特色を理解する。 ・イスラーム世界の変遷を概略的に理解する。 ④ ヨーロッパ世界 1. 古代の地中海世界 2. 中世ヨーロッパ世界 ・ヨーロッパ世界の特質をキリスト教から理解する。 ・古代地中海世界の文明を理解する。 ・ヨーロッパ世界の形成・発展・変化の歴史を理解する。 ⑤ 諸文明を結ぶネットワーク 1. 陸のネットワーク 2. 海のネットワーク ・ユーラシアの交流圏を陸・海双方から理解する。 ・アフリカ・地中海・東南アジアの交流圏を理解する。	・諸地域の文明の概略や特色を理解し、他者へ伝える。 ・グループに分かれて担当する地域を決め、その地域の歴史や特色を図表形式にまとめる。 ・諸文明の交流を理解し、退社に伝える。

3	第2章 結びつく世界	6 7	23	<ul style="list-style-type: none"> ・アジア諸地域の繁栄と日本、ヨーロッパの拡大と大西洋世界、産業社会と国民国家の形成、世界市場の形成と日本など、16世紀から19世紀の歴史的事象に対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アジア諸地域の繁栄と日本について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ・ヨーロッパの拡大と大西洋世界について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ・16世紀から19世紀の歴史的事象に関して、その時代に作成された文字資料や図像資料を多面的、多角的に考察している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・16世紀から19世紀までの諸地域世界に関して、その時代に作成された文字資料や絵画、風刺画、写真などの図像資料から有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・16世紀から18世紀までのアジア諸地域の特徴とその中で日本の位置付けを理解し、その知識を身に付けている。 ・16世紀から18世紀までのヨーロッパ世界の特徴とアメリカ・アフリカとの関係を理解し、その知識を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ① アジアの諸帝国 <ul style="list-style-type: none"> 1. 東アジア世界の発展 2. イスラーム世界の再編 ・明清時代の中国と周辺地域の動向を理解する。 ・ティムール・オスマン・ムガルなどイスラーム専制王朝の特色を理解する。 ② 近世ヨーロッパの形成と発展 <ul style="list-style-type: none"> 1. ヨーロッパ世界の拡大 2. ルネサンスと宗教改革 3. 主権国家の形成 4. 大西洋世界の展開とアジアへの進出 ・ヨーロッパ世界の拡大と社会の変化を理解する。 ・16～18世紀の主権国家の形成を理解する。 ・世界商業の展開を理解する。 世界と日本② 世界商業の展開と日本 <ul style="list-style-type: none"> ・世界商業の展開と日本の関係をまとめる。 ・16世紀からの交流が日本に与えた影響を理解する。 	
4	第3章 ヨーロッパ・アメリカの工業化と国民形成	9 10	10	<ul style="list-style-type: none"> ・アジア諸地域の繁栄と日本、ヨーロッパの拡大と大西洋世界、産業社会と国民国家の形成、世界市場の形成と日本など、16世紀から19世紀の歴史的事象に対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・産業社会と国民国家の形成について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ・16世紀から19世紀の歴史的事象に関して、その時代に作成された文字資料や図像資料を多面的、多角的に考察している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・16世紀から19世紀までの諸地域世界に関して、その時代に作成された文字資料や絵画、風刺画、写真などの図像資料から有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・産業社会と国民国家の形成を理解し、その知識を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 革命の時代の到来 <ul style="list-style-type: none"> 1. 産業革命 2. アメリカ独立革命 3. フランス革命とナポレオン ・産業革命の背景・展開・影響について理解する。 ・アメリカ独立革命の動向と意義を理解する。 ・フランス革命とナポレオン時代のヨーロッパを理解する。 ② 自由主義と国民主義の進展 <ul style="list-style-type: none"> 1. ヨーロッパ市民社会の成立 2. ヨーロッパ諸国の再編 3. アメリカ大陸の動向 4. 19世紀の欧米文化 ・19世紀前半のヨーロッパ市民社会の成立を理解する。 ・19世紀後半のヨーロッパ諸国の再編を理解する。 ・南北アメリカの動向を理解する。 ・19世紀の欧米文化の特色を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・産業革命の影響について、他者に伝える。 ・アメリカ独立戦争が起きた理由とその影響について理解し、記述する。 ・フランス革命の要因とその影響、ナポレオンがもたらした影響について理解し、記述する。 ・国民国家の形成を理解し、世界的な影響について記述する。
5	第4章 アジア諸国の変貌	10 11	10	<ul style="list-style-type: none"> ・アジア諸地域の繁栄と日本、ヨーロッパの拡大と大西洋世界、産業社会と国民国家の形成、世界市場の形成と日本など、16世紀から19世紀の歴史的事象に対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・世界市場の形成と日本について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ・16世紀から19世紀の歴史的事象に関して、その時代に作成された文字資料や図像資料を多面的、多角的に考察している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・16世紀から19世紀までの諸地域世界に関して、その時代に作成された文字資料や絵画、風刺画、写真などの図像資料から有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・19世紀のアジアの特徴とその中で日本の位置付けを理解し、その知識を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ① オスマン帝国の動揺と民族の自覚 <ul style="list-style-type: none"> ・オスマン帝国の衰退と国内改革を理解する。 ・西アジア・中央アジアへの列強の進出を理解する。 ② 南アジア・東南アジアの植民地化 <ul style="list-style-type: none"> ・イギリスによる南アジアの植民地化を理解する。 ・東南アジアの植民地化の進行を理解する。 ③ 東アジアの変容と日本の動向 <ul style="list-style-type: none"> ・中国の開国と列強の進出による影響を理解する。 ・日本の開国と朝鮮・中国への進出を理解する。 世界と日本③ 19世紀の世界の一体化と日本 <ul style="list-style-type: none"> ・一体化が進む世界に日本が関わったことを把握する。 ・世界との関わりによる日本への影響を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各地域が欧米の進出を受ける背景について理解し、記述する。
6	第5章 世界戦争と平和	11 12	10	<ul style="list-style-type: none"> ・帝国主義と社会の変容、二つの世界大戦と大衆社会の出現、米ソ冷戦と第三世界、グローバル化した世界と日本など、現代世界に対する関心を高め、地球世界の課題を、歴史的観点から探究しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・帝国主義と社会の変容について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ・二つの世界大戦と大衆社会の出現について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ・歴史的観点から、資料を活用して探究し、その成果を論述したり討論したりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現代世界に関する各種の情報や資料の収集・選択・活用などを行い、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・19世紀後期から20世紀初期までの世界の動向と社会の特徴を理解し、その知識を身に付けている。 ・20世紀前半の世界の動向と社会の特徴を理解し、その知識を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 帝国主義の成立と列強の情勢 <ul style="list-style-type: none"> 1. 帝国主義の成立と大衆社会の到来 2. 列強の国内情勢 ・帝国主義時代の社会的特色を理解する。 ・欧米列強の国内情勢を理解する。 ② 世界分割とアジア・アフリカ <ul style="list-style-type: none"> 1. 列強による世界分割 2. 諸民族の抵抗運動 ・欧米列強による世界分割の展開を理解する。 ・19世紀末から20世紀初めのアジア諸地域の民族運動を理解する。 ③ 二つの世界大戦とその影響 <ul style="list-style-type: none"> 1. 第一次世界大戦と世界 2. 第二次世界大戦と世界 ・第一次世界大戦と大戦後の欧米社会の動向、アジアの民族運動を理解する。 ・第二次世界大戦の背景と動向を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・帝国主義が世界に与えた影響を理解し、記述する。 ・第一次世界大戦の原因と影響を理解し、他者に伝える。 ・世界恐慌の影響について理解し、記述する。 ・第二次世界大戦の原因と影響を理解し、他者に伝える。

7	第6章 三つの世界の形成	1	8	<ul style="list-style-type: none"> ・帝国主義と社会の変容, 二つの世界大戦と大衆社会の出現, 米ソ冷戦と第三世界, グローバル化した世界と日本など, 現代世界に対する関心を高め, 地球世界の課題を, 歴史的観点から探究しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・米ソ冷戦と第三世界について, 多面的・多角的に考察し, その過程や結果を適切に表現している。 ・歴史的観点から, 資料を活用して探究し, その成果を論述したり討論したりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現代世界に関する各種の情報や資料の収集・選択・活用などを行い, 有用な情報を選択して, 読み取ったり図表などにまとめたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・第二次世界大戦後から1960年代までの世界の動向を理解し, その知識を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 冷戦期の世界と日本 <ul style="list-style-type: none"> 1. 東西対立と両陣営の形成 2. ヨーロッパ・日本の復興 ・冷戦時代の東西対立の状況を理解する。 ・ヨーロッパと日本の復興・発展を理解する。 ② アジア・アフリカ・ラテンアメリカの自立と課題 <ul style="list-style-type: none"> ・冷戦期のアジア・アフリカ・ラテンアメリカ諸国の動向を理解する。 ・「三つの世界」が形成されたいきさつを理解する。 ③ 米ソ両大国の動揺 <ul style="list-style-type: none"> ・核開発と平和共存について考える。 ・米ソ両国の威信・指導力が低下したことを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・第二次世界大戦後から1960年代までの世界の動向を理解し, 年表にまとめる。
8	第7章 グローバル化する世界	2	8	<ul style="list-style-type: none"> ・帝国主義と社会の変容, 二つの世界大戦と大衆社会の出現, 米ソ冷戦と第三世界, グローバル化した世界と日本など, 現代世界に対する関心を高め, 地球世界の課題を, 歴史的観点から探究しようとしている。 ・地球世界の課題に関する適切な主題を設定し, これからの世界と日本の在り方や世界の人々が協調し共存できる持続可能な社会の実現について展望しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・グローバル化した世界と日本について, 多面的・多角的に考察し, その過程や結果を適切に表現している。 ・歴史的観点から, 資料を活用して探究し, その成果を論述したり討論したりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現代世界に関する各種の情報や資料の収集・選択・活用などを行い, 有用な情報を選択して, 読み取ったり図表などにまとめたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1970年代以降の世界と日本の動向及び社会の特質を理解し, その知識を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 大国の動揺と国際経済の危機 <ul style="list-style-type: none"> ・世界経済が構造的に変容したことを把握する。 ・産業の構造が転換され, 地域間の相互依存が強まったことを理解する。 ② 社会主義の後退と冷戦の終結 <ul style="list-style-type: none"> ・ソ連の改革と冷戦の終結を把握する。 ・東欧諸国が自由化され, ソ連も解体したことを理解する。 ③ グローバル化と多極化 <ul style="list-style-type: none"> ・20世紀末からの欧米・アフリカ諸国の動向を理解する。 ・20世紀末からのアジア諸地域の動向を理解する。 ④ 地球社会への歩み <ul style="list-style-type: none"> 1. 貧困のない社会の実現に向けて 2. 平和の実現に向けて 3. 科学技術と現在社会 ・現代の国際社会の課題を考える。 ・科学技術の発展や環境問題を地球規模で考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1970年代以降の世界と日本の動向を理解し, 年表にまとめる。
9	主題学習 これからの世界に生きるためにー21世紀の課題	2 3	4	<ul style="list-style-type: none"> ・人類の課題について関心をもち主体的に調べようとする。 ・他者の発表に対して関心をもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・問題点を整理してどのように調べるか気付く。 ・調べた内容について考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・意見の発表やプレゼンテーションを主体的に行っている。 ・発表の仕方について理解している。 ・資料を適切に活用している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・適切な調べ方を理解している。 ・発表の仕方について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 例1 移民と移住先社会での生活 例2 世界戦争と国際社会 例3 核兵器と人類の生存 例4 環境と人類の歴史 ・21世紀の人類の課題について自ら主題を設定し, 調べ, 考察し, 意見を発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマの問題点を整理し, レポートをまとめる。

令和2年度 地歴・公民科 指導と評価の年間計画

学校名 福井県立高志高等学校

科目名	学科名	対象学年	単位数
日本史B	普通科理系	2年	2
教科書（出版社・タイトル）		補助教材等	
山川出版社 『詳説 日本史』		浜島書店 『新詳日本史』	

科目の目標	1. 我が国の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察させる。 2. 我が国の伝統と文化の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。		
評価の観点および評価規準			
関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
我が国の歴史の展開に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責任を果たそうとする。	我が国の歴史の展開から課題を見出し、国際環境と関連付けて多面的・多角的に考察し、我が国の文化と伝統の特色についての認識を深め、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	我が国の歴史の展開に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり、図表などにまとめたりしている。	我が国の歴史の展開についての基本的な事項を国際環境と関連付けて総合的に理解し、その知識を身につけている。
評価の方法			
関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察 ・提出状況 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・レポート ・プレゼンテーション 	<ul style="list-style-type: none"> ・資料収集状況 ・資料活用状況 ・資料分析状況 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・小テスト

「日本史B」 指導と評価の年間計画

福井県立高志高等学校 普通科 2年

単元番号	単元名	実施月	単元の時数	評価規準				学習内容	言語活動
				関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解		
				(評価の方法)	(評価の方法)	(評価の方法)	(評価の方法)		
1	第1部 原始・古代 第1章 日本文化のあけぼの	4	8	<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察 ・提出状況 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・レポート ・プレゼンテーション 	<ul style="list-style-type: none"> ・資料収集状況 ・資料活用状況 ・資料分析状況 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・小テスト ・模擬試験 	<ul style="list-style-type: none"> 1. 文化のはじまり ・日本における旧石器文化、縄文文化の時代の社会を、発掘調査などの考古学の成果をもとに理解する。 2. 農耕社会の成立 ・大陸から伝播した稲作及びその文化について、農具や地域性の特徴を踏まえて理解する。 ・集落や墓の変容などから身分社会の成立を理解し、小国が形成される過程を東アジア世界との関連付けて理解する。 3. 古墳とヤマト政権 ・古墳の副葬品をもとに、小国の首長の出現から統一国家の成立過程を理解する。 ・ヤマト政権の権力伸長について、東アジア世界と関係づけて理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・稲作の伝播がその後の日本社会に及ぼした影響について、遺跡や遺物などをもとに、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。
2	第2章 律令国家の形成	5	9	<ul style="list-style-type: none"> ・原始社会の特色及び古代国家と社会や文化の特色に対する関心と課題意識を高めている。また、律令国家の特色について、意欲的に追究している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・古代国家の形成と展開、文化の特色とその成立の背景から課題を見だし、隋・唐など東アジア世界との関係と関連付けて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・原始社会の特色及び古代国家と社会や文化の特色に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・古代国家の形成と展開、文化の特色とその成立の背景についての基本的な事柄を、隋・唐など東アジア世界との関係と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 1. 飛鳥の朝廷 ・ヤマト政権の権力争いや大陸文化の摂取に着目して、時代を考察する。 2. 律令国家への道 ・律令国家が成立するまでの政治の動向と白鳳文化の形成過程について考察する。 ・律令に基づく国内統治体制について理解する。 3. 平城京の時代 ・律令体制の完成期としての奈良時代を、律令体制の状況を多角的・多面的にとらえて考察する。 ・平城京における政治動向について、土地政策も含めて考察する。 4. 天平文化 ・天平文化における政治性と国際性、国家仏教の展開などに着目して、古代国家の展開を理解する。 5. 平安王朝の形成 ・平安前期を中心とした古代国家の推移について、東北経営や政治改革、地方統治の変容を踏まえて、律令体制の変質を考察する。 ・東アジアとの関係を踏まえて、唐風文化である弘仁・貞観文化を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・律令に基づく国内体制の整備とその変質について、東アジア世界との関連付けて互いの考えを伝え合い、自らの考えを発展させる。
3	第3章 貴族政治と国風文化	6 7	9	<ul style="list-style-type: none"> ・原始社会の特色及び古代国家と社会や文化の特色について意欲的に追究している。また、律令国家の変容について、意欲的に追究している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・古代国家の推移、文化の特色とその成立の背景及び中世社会の萌芽から課題を見だし、東アジア世界との関係の変化と関連付けて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・原始社会の特色及び古代国家と社会や文化の特色に関する情報を読み取ったり図表などにまとめたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・古代国家の推移、文化の特色とその成立の背景及び中世社会の萌芽についての基本的な事柄を、東アジア世界との関係の変化と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 1. 摂関政治 ・藤原氏による摂関政治の成立過程と政治運営への影響について考察させる。 2. 国風文化 ・大陸文化の消化と末法思想を前提とした新しい貴族文化として国風文化が展開されたことを理解する。 3. 地方政治の展開と武士 ・律令制に基づく地方統治体制の崩れへの対応が、公領支配の変質、荘園の拡大をもたらした経過を考察する。 ・地方の反乱と鎮圧など、武士の成長と進出過程について、源氏などを例にとりて考察する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・藤原氏による摂関政治について、年中行事や和歌の視点から事実を正確に理解し、他者に的確に伝達する。

4	第Ⅱ部 中世 第4章 中世社会の成立	9 10	23	<ul style="list-style-type: none"> ・武士の政界進出や政権樹立などの歴史的事象の推移や変化、相互の因果関係に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究している。 ・中世国家と社会や文化の特色に対する関心と課題意識を高めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史的事象の推移や変化、相互の因果関係を多面的・多角的に考察し、歴史の展開における諸事象の意味や意義を適切に表現している。 ・中世国家の形成過程や社会の仕組み、文化の特色とその成立の背景から課題を見だし、宋・元などとの関係と関連付けて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史資料を含む諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 ・中世国家と社会や文化の特色に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史の展開における諸事象の意味や意義を理解し、その知識を身に付けている。 ・中世国家の形成過程や社会の仕組み、文化の特色とその成立の背景についての基本的な事柄を、宋・元などとの関係と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 院政と平氏の台頭 <ul style="list-style-type: none"> ・院政期前後の土地支配形態を踏まえて、院政期の政治・経済・社会・文化を理解する。 ・政治の動向、国際関係・経済・文化への対応を踏まえて、平氏政権の特性について考察する。 2. 鎌倉幕府の成立 <ul style="list-style-type: none"> ・鎌倉幕府が東国の地方政権から全国的な武家政権に成長していく過程を理解する。 3. 武士の社会 <ul style="list-style-type: none"> ・承久の乱に伴う公武関係の変化に着目して、将軍独裁体制から執権政治の確立に至る過程を考察する。 ・武士の生活と地方支配を通じて、土地に対する実質的な支配権を地頭が掌握するに至った過程を考察する。 4. 蒙古襲来と幕府の衰退 <ul style="list-style-type: none"> ・蒙古襲来による政治・経済・文化への影響が幕府の衰退につながっていくことを理解する。 5. 鎌倉文化 <ul style="list-style-type: none"> ・庶民や武士の活動が活発化し、鎌倉仏教が成立するなど、文化の新しい気運が生まれたことを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平氏政権及び源氏政権の貴族性について事実を正確に理解し、他者に的確に伝達する。
5	第5章 武家社会の成長	10	10	<ul style="list-style-type: none"> ・中世国家と諸産業が発達した社会や武家文化・公家文化の特色について意欲的に追究している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中世社会の多様な展開、武家文化・公家文化の特色とその成立の背景から課題を見だし、日明貿易など東アジア世界との関係と関連付けて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中世国家と諸産業が発達した社会や武家文化・公家文化の特色に関する情報を読み取ったり図表などにまとめたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中世社会の多様な展開、武家文化・公家文化の特色とその成立の背景についての基本的な事柄を、日明貿易など東アジア世界との関係と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 室町幕府の成立 <ul style="list-style-type: none"> ・南北朝の動乱から室町幕府の成立と安定について、日本諸地域の動向などを踏まえて考察する。 ・琉球・蝦夷ヶ島を含む東アジアとの交流が中世日本にもたらした影響について理解する。 2. 幕府の衰退と庶民の台頭 <ul style="list-style-type: none"> ・庶民の活動が社会秩序の変革の原動力として成長していったことを踏まえて、幕府の動揺や下剋上の風潮を考察する。 ・諸産業の発達による庶民の台頭を踏まえて、中世社会の多様な展開を幅広く理解する。 3. 室町文化 <ul style="list-style-type: none"> ・武家政権の支配の進展や東アジア世界との交流に着目して、武家文化と公家文化及び大陸文化と伝統文化のかかわりについて理解する。 ・庶民文化の萌芽や、応仁の乱を契機とした文化の地方伝播、戦国大名の保護による文化の地方普及を理解する。 4. 戦国大名の登場 <ul style="list-style-type: none"> ・応仁の乱以降、地方権力として登場した戦国大名や各地に展開した都市について、諸地域の地理的条件と関連づけて考察する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各自の関心に基づいて選んだ戦国大名について、その出自、領国支配、盛衰を人物評伝としてまとめ発表する。
6	第Ⅲ部 近世 第6章 幕藩体制の確立	11	10	<ul style="list-style-type: none"> ・大名知行制など歴史的事象には複数の歴史的解釈が成り立つことに対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史的事象をめぐる複数の歴史的解釈について多面的・多角的に考察するとともにそれぞれの根拠や論理を踏まえて公正に判断して、筋道立てて考えを説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史的事象をめぐる複数の歴史的解釈に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史的事象には複数の歴史的解釈が成り立つことに気付き、それぞれの根拠や論理を踏まえて筋道立てて考えを説明することの意義を理解し、その知識を身に付けている。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 織豊政権 <ul style="list-style-type: none"> ・大航海時代と呼ばれる世界史的背景を踏まえて、ヨーロッパ人の東アジアへの進出とその影響を考察する。 ・織田信長の統一事業、豊臣秀吉の天下統一、秀吉の朝鮮侵略と続く織豊政権の特色と意義、その後の時代への影響について考察する。 2. 桃山文化 <ul style="list-style-type: none"> ・新興の大名や都市の豪商の精神を反映した桃山文化について、町衆の生活にも着目し、時代的背景を踏まえて考察する。 3. 幕藩体制の成立 <ul style="list-style-type: none"> ・江戸幕府の成立による幕藩体制の確立過程を考察する。 ・江戸幕府の鎖国政策について、単なる対外貿易の遮断ではなく、鎖国後の貿易関係の在り方も含めてその影響と歴史的意義について考察する。 4. 幕藩社会の構造 <ul style="list-style-type: none"> ・幕藩体制の確立期の経済・社会を兵農分離や村落・都市支配などの観点から、多面的・多角的に考察する。 	<ul style="list-style-type: none"> 幕藩体制の特徴について、経済、社会、思想の観点から事実を正確に理解し他者に伝達する。

7	第7章 幕藩体制の展開	12 1	10	<ul style="list-style-type: none"> ・近世国家と社会や上方文化の特色に対する関心と課題意識を高めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・近世国家の形成過程とその特色や社会の仕組みから課題を見だし、ヨーロッパ世界との接触やアジア各地との関係と関係付けて多面的・多角的に考察するとともに公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・近世国家と社会や上方文化の特色に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・近世国家の形成過程とその特色や社会の仕組みについての基本的な事柄を、ヨーロッパ世界との接触やアジア各地との関係と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 幕政の安定 ・17世紀後半から18世紀前半までの江戸幕府の安定期について、その平和と秩序の確立の視点で考察する。 2. 経済の発展 ・幕藩体制の安定期の農業・商工業などの発展について、諸産業相互の関係やその社会的役割を踏まえて考察する。 3. 元禄文化 ・経済の発展と関連して町人文化が形成された事について、町人の社会的台頭や幕藩体制の安定と関連させて理解する。 	<p>町人文化の成立について、各人の関心に基づいて選んだ人物の評伝を作成し、互いに展示し発表する。</p>
8	第8章 幕藩体制の動揺	2 3	10	<ul style="list-style-type: none"> ・近世国家と社会や江戸文化の特色について意欲的に追究している 	<ul style="list-style-type: none"> ・近世の都市や農山漁村における生活や江戸文化の特色とその成立の背景、幕藩体制の変容と近代化の基盤の形成から課題を見だし、欧米諸国のアジアへの進出と関連付けて多面的・多角的に考察するとともに公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・近世国家と社会や江戸文化の特色に関する情報を読み取ったり図表などにまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・近世の都市や農山漁村における生活や江戸文化の特色とその成立の背景、幕藩体制の変容と近代化の基盤の形成についての基本的な事柄を、欧米諸国のアジアへの進出と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 幕政の改革 ・農村や都市の変容により幕藩体制が動揺する中、幕府や諸藩が行った諸改革の意義とその影響を考察する。 2. 宝暦・天明期の文化 ・江戸中期に確立した洋学や国学、新たな形で展開する文学・芸能・美術について、社会の変容に伴う幕藩体制の動揺と関連づけて考察する。 3. 幕府の衰退と近代への道 ・欧米諸国のアジア進出による国際情勢の変化やそれに対する幕府の対処を踏まえて幕府が衰退していく過程を考察する。 ・近代化の基盤の形成について、産業経済面や軍事面などに着目して、雄藩の浮上という地方からの視点から考察する。 4. 化政文化 ・化政文化について、学問・思想・教育・文学・美術・生活文化の新たな展開に着目し、江戸と地方の文化的交流にも留意して考察する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・幕政改革や幕府衰退の経済的要因・外圧的要因について、事実を正確に理解し、他者に的確に伝達する。

令和2年度 地歴・公民科 指導と評価の年間計画

学校名 福井県立高志高等学校

科目名	学科名	対象学年	単位数
地理B	普通科理系	2年	2
教科書（出版社・タイトル）		補助教材等	
帝国書院 『新詳 地理B』		とうほう 『新編 地理資料』	

科目の目標	1. 現代世界の地理的事象を系統地理的、地誌的に考察し、現代世界の地理的認識を養う。 2. 地理的な見方や考え方を培い、国際社会を主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。		
評価の観点および評価規準			
関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	23
<ul style="list-style-type: none"> 現代世界の地理的事象について、関心を高めることができたか。 意欲的に学習課題を追究していたか。 よりよい国際社会の実現に主体的に行動する態度を身につけられたか。 	<ul style="list-style-type: none"> 現代世界のさまざまな事象を地理的事象としてとらえることができたか。また、課題を見出すことができたか。 系統地理的、地誌的な考察の方法を身につけることができたか。 	<ul style="list-style-type: none"> 地理的事象を追究するのに必要な地図や統計、画像などの収集、活用、表現法といった技能を身につけることができたか。 学習の中で追究し考察した過程や結果について、さまざまな方法で適切に表現する方法を身につけることができたか。 	<ul style="list-style-type: none"> 現代世界の地理的事象についての基本的な追究の方法を理解し、その知識を身につけることができたか。
評価の方法			
関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> 行動観察 提出状況 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート レポート プレゼンテーション 	<ul style="list-style-type: none"> 資料収集状況 資料活用状況 資料分析状況 	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 小テスト 模擬試験

「地理B」指導と評価の年間計画

福井県立高志高等学校 普通科理系2年

単元番号	単元名	実施月	単元の時数	評価規準				学習内容	言語活動
				関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解		
				(評価の方法) ・行動観察 ・提出状況	(評価の方法) ・ワークシート ・レポート ・プレゼンテーション	(評価の方法) ・資料収集状況 ・資料活用状況 ・資料分析状況	(評価の方法) ・定期考査 ・小テスト ・模擬試験		
1	第Ⅰ部 さまざまな地図と地理的技能 1章 地理情報と地図 2章 地図の活用と地域調査	4	6	・地図は使用目的に応じてさまざまな形態があることについて、関心を持って学習しようとしている。 ・地域調査を通して地域の複雑な現象や問題を、関心を持って学習しようとしている。	・地図は使用目的に応じてさまざまな形態があることについて、多角的に考察している。 ・地域調査を通して地域の複雑な現象や問題を、多角的に考察している。	・地形図や統計地図を適切に活用している。 ・地域調査において、実際の地域調査を通して資料を適切に活用している。	・地図は使用目的に応じてさまざまな形態があることについて、基本的な知識を身につけている。 ・地域調査を通して地域の複雑な現象や問題について、基本的な知識を身につけている。	地理情報と地図 ・地図は使用目的に応じてさまざまな形態があることについて、多角的に理解する。 地図の活用と地域調査 ・地域調査を通して地域の複雑な現象や問題を、多角的に理解する。	・地域調査を通して地域の複雑な現象や問題を、具体事例を通して、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。
2	第Ⅱ部 現代世界の系統地理的考察 1章 自然環境 1節 世界の地形	4 ・ 5	8	・世界の特色ある地形と人間生活の関わりを、関心を持って学習しようとしている。	・世界の特色ある地形と人間生活の関わりを、具体事例を通して多角的に考察している。	・世界の特色ある地形と人間生活の関わりについて、教科書に掲載されている模式図や写真を適切に活用している。	・世界の特色ある地形と人間生活の関わりについて、基本的な知識を身につけている。	世界の地形 ・世界の特色ある地形と人間生活の関わりを、具体事例を通して多角的に理解する。	・世界の特色ある地形と人間生活の関わりを、具体事例を通して、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。
3	第Ⅱ部 現代世界の系統地理的考察 1章 自然環境 2節 世界の気候	5 ・ 6	8	・気候を構成している気候要素について、関心を持って学習しようとしている。 ・世界の気候区や土壌帯、植生の特色と人間生活の関わりについて、関心を持って学習しようとしている。	・気候を構成している気候要素について、多角的に考察している。 ・世界の気候区や土壌帯、植生の特色と人間生活の関わりについて、多角的に考察している。	・気候を構成している気候要素について、教科書に掲載されている模式図や写真、地図を適切に活用している。 ・世界の気候区や土壌帯、植生の特色と人間生活の関わりについて、教科書に掲載されている模式図や写真、地図を適切に活用している。	・気候を構成している気候要素について、基本的な知識を身につけている。 ・世界の気候区や土壌帯、植生の特色と人間生活の関わりについて、基本的な知識を身につけている。	世界の気候 ・気候を構成している気候要素について、具体事例を通して多角的に理解する。 ・世界の気候区や土壌帯、植生の特色と人間生活の関わりについて、具体事例を通して多角的に理解する。	・世界の気候区や土壌帯、植生の特色と人間生活の関わりについて、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。
4	第Ⅱ部 現代世界の系統地理的考察 1章 自然環境 3節 日本の自然の特徴と人々の生活	6	23	・日本列島の地体構造や地形、気候の特色について、関心を持って学習しようとしている。	・日本列島の地体構造や地形、気候の特色について、多角的に考察している。	・日本列島の地体構造や地形、気候の特色について、教科書に掲載されている模式図や写真、地図を適切に活用している。	・日本列島の地体構造や地形、気候の特色について、基本的な知識を身につけている。	日本の自然の特徴と人々の生活 ・日本列島の地体構造や地形、気候の特色について、具体事例を通して多角的に理解する。	・日本列島の地体構造や地形、気候の特色について、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。
5	第Ⅱ部 現代世界の系統地理的考察 1章 自然環境 4節 環境問題	7 ・ 8	4	・熱帯林の破壊や砂漠化、酸性雨などさまざまな環境問題の現状について、関心を持って学習しようとしている。	・熱帯林の破壊や砂漠化、酸性雨などさまざまな環境問題の現状について、具体例を通して問題解決の取り組みを、多角的に考察している。	・熱帯林の破壊や砂漠化、酸性雨などさまざまな環境問題の現状について、教科書に掲載されている統計や写真、地図を適切に活用している。	・熱帯林の破壊や砂漠化、酸性雨などさまざまな環境問題の現状について、基本的な知識を身につけている。	環境問題 ・熱帯林の破壊や砂漠化、酸性雨などさまざまな環境問題の現状について、具体事例を通して多角的に理解する。	・熱帯林の破壊や砂漠化、酸性雨などさまざまな環境問題の現状について、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。

6	第Ⅱ部 現代世界の系統地理的考察 2章 資源と産業 1節 産業の発達と変化 2節 世界の農林水産業	9 ・ 10	6	・世界の農業に影響を与える要因について、関心を持って学習しようとしている。 ・世界の農林水産業について、社会と自然の関わりについて、関心を持って学習しようとしている。	・世界の農業に影響を与える要因について、多角的に考察している。 ・世界の農林水産業について、社会と自然の関わりについて、多角的に考察している。	・世界の農業に影響を与える要因について、教科書に掲載されている統計や写真、地図を適切に活用している。 ・世界の農林水産業について、教科書に掲載されている統計や写真、地図を適切に活用している。	・世界の農業に影響を与える要因について、基本的な知識を身につけている。 ・世界の農林水産業について、基本的な知識を身につけている。	産業の発達と変化 世界の農林水産業 ・世界の農業に影響を与える要因について、具体事例を通して多角的に理解する。 ・世界の農林水産業について、社会と自然の関わりについて、具体事例を通して多角的に理解する。	・世界の農業に影響を与える要因について、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。 ・世界の農林水産業について、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。
7	第Ⅱ部 現代世界の系統地理的考察 2章 資源と産業 3節 食料問題	10	6	・世界の食料問題の現状について、関心を持って学習しようとしている。	・世界の食料問題の現状と原因について、多角的に考察している。	・世界の食料問題の現状について、教科書に掲載されている統計や写真、地図を適切に活用している。	・世界の食料問題の現状と原因について、基本的な知識を身につけている。	食料問題 ・世界の食料問題の現状について、具体事例を通して多角的に理解する。	・世界の食料問題の現状と原因について、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。
8	第Ⅱ部 現代世界の系統地理的考察 2章 資源と産業 4節 世界のエネルギー・鉱産資源 5節 資源・エネルギー問題	11 ・ 12	6	・世界のエネルギー・鉱産資源の分布や生産と消費について、その特色と基礎的知識を、関心を持って学習しようとしている。 ・資源・エネルギー問題について、問題解決の取り組みを、関心を持って学習しようとしている。	・世界のエネルギー・鉱産資源の分布や生産と消費について、その特色と基礎的知識を、多角的に考察している。 ・資源・エネルギー問題について、問題解決の取り組みを、多角的に考察している。	・世界のエネルギー・鉱産資源の分布や生産と消費について、その特色と基礎的知識を、教科書に掲載されている統計や写真、地図を適切に活用している。 ・資源・エネルギー問題について、教科書に掲載されている統計や写真、地図を適切に活用している。	・世界のエネルギー・鉱産資源の分布や生産と消費について、基本的な知識を身につけている。 ・資源・エネルギー問題について、問題解決の取り組みを、身につけている。	世界のエネルギー・鉱産資源 ・世界のエネルギー・鉱産資源の分布や生産と消費について、その特色と基礎的知識を、具体事例を通して多角的に理解する。 資源・エネルギー問題 ・資源・エネルギー問題について、問題解決の取り組みを、具体事例を通して多角的に理解する。	・世界のエネルギー・鉱産資源の分布や生産と消費について、その特色と基礎的知識を、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。 ・資源・エネルギー問題について、問題解決の取り組みを、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。
9	第Ⅱ部 現代世界の系統地理的考察 2章 資源と産業 6節 世界の工業	12	4	・さまざまな工業の特色と立地条件について、関心を持って学習しようとしている。 ・工業地域の特色や変化について、ヨーロッパやアジアNIESなど具体的な事例をとおして、関心を持って学習しようとしている。	・さまざまな工業の特色と立地条件について、多角的に考察している。 ・工業地域の特色や変化について、ヨーロッパやアジアNIESなど具体的な事例をとおして、多角的に考察している。	・さまざまな工業の特色と立地条件について、教科書に掲載されている統計や写真、地図を適切に活用している。 ・工業地域の特色や変化について、ヨーロッパやアジアNIESなど具体的な事例をとおして、教科書に掲載されている統計や写真、地図を適切に活用している。	・さまざまな工業の特色と立地条件について、基本的な知識を身につけている。 ・工業地域の特色や変化について、ヨーロッパやアジアNIESなど具体的な事例をとおして、基本的な知識を身につけている。	資源と産業 ・さまざまな工業の特色と立地条件について、具体事例を通して多角的に理解する。 世界の工業 ・工業地域の特色や変化について、ヨーロッパやアジアNIESなど、具体事例を通して多角的に理解する。	・さまざまな工業の特色と立地条件について、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。 ・工業地域の特色や変化について、ヨーロッパやアジアNIESなど具体的な事例をとおして、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。
10	第Ⅱ部 現代世界の系統地理的考察 2章 資源と産業 7節 第3次産業	1	6	・行動圏の急速な拡大と消費・余暇活動の増大が、諸地域にさまざまな形で影響を与えているということを、関心を持って学習しようとしている。	・行動圏の急速な拡大と消費・余暇活動の増大が、諸地域にさまざまな形で影響を与えているということを、多角的に考察している。	・行動圏の急速な拡大と消費・余暇活動の増大が、諸地域にさまざまな形で影響を与えているということを、教科書に掲載されている統計や写真、地図を適切に活用している。	・行動圏の急速な拡大と消費・余暇活動の増大が、諸地域にさまざまな形で影響を与えているということを、基本的な知識を身につけている。	第3次産業 ・行動圏の急速な拡大と消費・余暇活動の増大が、諸地域にさまざまな形で影響を与えているということを、具体事例を通して多角的に理解する。	・行動圏の急速な拡大と消費・余暇活動の増大が、諸地域にさまざまな形で影響を与えているということを、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。
11	第Ⅱ部 現代世界の系統地理的考察 2章 資源と産業 8節 世界を結ぶ交通・通信	2	6	・世界の交通網の地域差とその発達について、関心を持って学習しようとしている。 ・情報化社会における現状と課題について、関心を持って学習しようとしている。	・世界の交通網の地域差とその発達について、多角的に考察している。 ・情報化社会における現状と課題について、多角的に考察している。	・世界の交通網の地域差とその発達について、教科書に掲載されている統計や写真、地図を適切に活用している。 ・情報化社会における現状と課題について、教科書に掲載されている統計や写真、地図を適切に活用している。	・世界の交通網の地域差とその発達について、基本的な知識を身につけている。 ・情報化社会における現状と課題について、基本的な知識を身につけている。	世界を結ぶ交通・通信 ・世界の交通網の地域差とその発達について、具体事例を通して多角的に理解する。 ・情報化社会における現状と課題について、具体事例を通して多角的に理解する。	・世界の交通網の地域差とその発達について、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。 ・情報化社会における現状と課題について、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。
12	第Ⅱ部 現代世界の系統地理的考察 2章 資源と産業 9節 現代世界の貿易と経済圏	2 ・ 3	4	・貿易における国際分業や貿易の種類について、関心を持って学習しようとしている。 ・日本の貿易の特徴と課題について、世界とのかかわりから、関心を持って学習しようとしている。	・貿易における国際分業や貿易の種類について、多角的に考察している。 ・日本の貿易の特徴と課題について、世界とのかかわりから、多角的に考察している。	・貿易における国際分業や貿易の種類について、教科書に掲載されている統計や写真、地図を適切に活用している。 ・日本の貿易の特徴と課題について、世界とのかかわりから、教科書に掲載されている統計や写真、地図を適切に活用している。	・貿易における国際分業や貿易の種類について、基本的な知識を身につけている。 ・日本の貿易の特徴と課題について、世界とのかかわりから、基本的な知識を身につけている。	現代世界の貿易と経済圏 ・貿易における国際分業や貿易の種類について、具体事例を通して多角的に理解する。 ・日本の貿易の特徴と課題について、世界とのかかわりから、具体事例を通して多角的に理解する。	・貿易における国際分業や貿易の種類について、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。 ・日本の貿易の特徴と課題について、世界とのかかわりから、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。

13	第Ⅱ部 現代世界の系統地理的考察 3章 人口・村落・都市 1節 世界の人口 2節 人口問題		<ul style="list-style-type: none"> 世界の人口分布のかたよりを、自然環境や産業活動の面から、関心を持って学習しようとしている。 発展途上国の人口問題について、関心を持って学習しようとしている。 先進国の人口問題について、関心を持って学習しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 世界の人口分布のかたよりを、自然環境や産業活動の面から、多角的に考察している。 発展途上国の人口問題について、多角的に考察している。 先進国の人口問題について、多角的に考察している。 	<ul style="list-style-type: none"> 世界の人口分布のかたよりを、自然環境や産業活動の面から、統計や写真、地図を適切に活用している。 発展途上国の人口問題について、統計や写真、地図を適切に活用している。 先進国の人口問題について、統計や写真、地図を適切に活用している。 	<ul style="list-style-type: none"> 世界の人口分布のかたよりを、自然環境や産業活動の面から、基本的な知識を身につけている。 発展途上国の人口問題について、基本的な知識を身につけている。 先進国の人口問題について、基本的な知識を身につけている。 	世界の人口 <ul style="list-style-type: none"> 世界の人口分布のかたよりを、自然環境や産業活動の面から、具体事例を通して多角的に理解する。 人口問題 発展途上国の人口問題について、具体事例を通して多角的に理解する。 先進国の人口問題について、具体事例を通して多角的に理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 世界の人口分布のかたよりを、自然環境や産業活動の面から、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。 発展途上国の人口問題について、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。 先進国の人口問題について、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。
14	第Ⅱ部 現代世界の系統地理的考察 3章 人口・村落・都市 3節 村落と都市 4節 都市・居住問題		<ul style="list-style-type: none"> 村落と都市の形態による分類と特色、発達について、関心を持って学習しようとしている。 都市への過度の人口集中によって生じるさまざまな都市問題について、関心を持って学習しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 村落と都市の形態による分類と特色、発達について、多角的に考察している。 都市への過度の人口集中によって生じるさまざまな都市問題について、多角的に考察している。 	<ul style="list-style-type: none"> 村落と都市の形態による分類と特色、発達について、統計や写真、地図を適切に活用している。 都市への過度の人口集中によって生じるさまざまな都市問題について、統計や写真、地図を適切に活用している。 	<ul style="list-style-type: none"> 村落と都市の形態による分類と特色、発達について、基本的な知識を身につけている。 都市への過度の人口集中によって生じるさまざまな都市問題について、基本的な知識を身につけている。 	村落と都市 <ul style="list-style-type: none"> 村落と都市の形態による分類と特色、発達について、具体事例を通して多角的に理解する。 都市・居住問題 都市への過度の人口集中によって生じるさまざまな都市問題について、具体事例を通して多角的に理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 村落と都市の形態による分類と特色、発達について、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。 都市への過度の人口集中によって生じるさまざまな都市問題について、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。
15	第Ⅱ部 現代世界の系統地理的考察 4章 生活文化、民族・宗教 1節 生活文化		<ul style="list-style-type: none"> 気候や植生の違いが衣食住の違いを生み、文化の差異を作り出していることについて、関心を持って学習しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 気候や植生の違いが衣食住の違いを生み、文化の差異を作り出していることについて、多角的に考察している。 	<ul style="list-style-type: none"> 気候や植生の違いが衣食住の違いを生み、文化の差異を作り出していることについて、統計や写真、地図を適切に活用している。 	<ul style="list-style-type: none"> 気候や植生の違いが衣食住の違いを生み、文化の差異を作り出していることについて、基本的な知識を身につけている。 	生活文化 <ul style="list-style-type: none"> 気候や植生の違いが衣食住の違いを生み、文化の差異を作り出していることについて、具体事例を通して多角的に理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 気候や植生の違いが衣食住の違いを生み、文化の差異を作り出していることについて、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。
16	第Ⅱ部 現代世界の系統地理的考察 4章 生活文化、民族・宗教 2節 民族と宗教		<ul style="list-style-type: none"> 人種・民族の分類などについて、関心を持って学習しようとしている。 諸民族の生活の特色について、関心を持って学習しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 人種・民族の分類などについて、多角的に考察している。 諸民族の生活の特色について、多角的に考察している。 	<ul style="list-style-type: none"> 人種・民族の分類などについて、統計や写真、地図を適切に活用している。 諸民族の生活の特色について、統計や写真、地図を適切に活用している。 	<ul style="list-style-type: none"> 人種・民族の分類などについて、基本的な知識を身につけている。 諸民族の生活の特色について、基本的な知識を身につけている。 	民族と宗教 <ul style="list-style-type: none"> 人種・民族の分類などについて、具体事例を通して多角的に理解する。 諸民族の生活の特色について、具体事例を通して多角的に理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 人種・民族の分類などについて、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。 諸民族の生活の特色について、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。
17	第Ⅱ部 現代世界の系統地理的考察 4章 生活文化、民族・宗教 3節 現代世界の国家 4節 民族・領土問題		<ul style="list-style-type: none"> 国家の三要素や、国家の様々な形態について、関心を持って学習しようとしている。 民族・領土問題について、関心を持って学習しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 国家の三要素や、国家の様々な形態について、多角的に考察している。 民族・領土問題について、多角的に考察している。 	<ul style="list-style-type: none"> 国家の三要素や、国家の様々な形態について、統計や写真、地図を適切に活用している。 民族・領土問題について、統計や写真、地図を適切に活用している。 	<ul style="list-style-type: none"> 国家の三要素や、国家の様々な形態について、基本的な知識を身につけている。 民族・領土問題について、基本的な知識を身につけている。 	現代世界の国家 <ul style="list-style-type: none"> 国家の三要素や、国家の様々な形態について、具体事例を通して多角的に理解する。 民族・領土問題 民族・領土問題について、具体事例を通して多角的に理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 国家の三要素や、国家の様々な形態について、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。 民族・領土問題について、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。
18	第Ⅲ部 現代世界の地誌的考察 1章 現代世界の地域区分 2章 現代世界の諸地域		<ul style="list-style-type: none"> 気候や文化、所得などさまざまな観点による地域区分の目的や意義について、関心を持って学習しようとしている。 各地域の概況や抱えている課題について、関心を持って学習しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 気候や文化、所得などさまざまな観点による地域区分の目的や意義について、多角的に考察している。 各地域の概況や抱えている課題について、多角的に考察している。 	<ul style="list-style-type: none"> 気候や文化、所得などさまざまな観点による地域区分の目的や意義について、統計や写真、地図を適切に活用している。 各地域の概況や抱えている課題について、統計や写真、地図を適切に活用している。 	<ul style="list-style-type: none"> 気候や文化、所得などさまざまな観点による地域区分の目的や意義について、基本的な知識を身につけている。 各地域の概況や抱えている課題について、基本的な知識を身につけている。 	現代世界の地域区分 <ul style="list-style-type: none"> 気候や文化、所得などさまざまな観点による地域区分の目的や意義について、具体事例を通して多角的に理解する。 現代世界の諸地域 各地域の概況や抱えている課題について、具体事例を通して多角的に理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 気候や文化、所得などさまざまな観点による地域区分の目的や意義について、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。 各地域の概況や抱えている課題について、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。

令和2年度 数学科 指導と評価の年間計画

学校名

福井県立高志高等学校

科目名	学科名	対象学年	単位数
数学Ⅱ	普通科（高入生）理系	2年	3
教科書（出版社・タイトル）		補助教材等	
東京書籍 数学Ⅱ		問題集 数研出版 サクシードⅡ+B 参考書 数研出版 チャート式 基礎からの数学Ⅱ+B	

科目の目標	いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数および微分・積分について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。		
評価の観点および評価規準			
関心・意欲・態度	数学的な見方・考え方	数学的な技能	23
数学的活動を通して、式と証明・高次方程式、図形と方程式、いろいろな関数および微分・積分の考え方に関心をもつとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとしている。	数学的活動を通して、式と証明・高次方程式、図形と方程式、いろいろな関数および微分・積分の考えにおける数学的な見方や考え方を身につけ、事象を数学的に捉え、論理的に考察し、表現するとともに、過程を振り返り多面的・発展的に考える。	数学的活動を通して、式と証明・高次方程式、図形と方程式、いろいろな関数および微分・積分の考えにおいて、事象を数学的に考察し、処理する仕方や推論の方法を身につけ、的確に問題を解決する。	数学的活動を通して、式と証明・高次方程式、図形と方程式、いろいろな関数および微分・積分の考えにおける基本的な概念、原理・法則、用語・記号などを理解し、基礎的な知識を身につけている。

「数学Ⅱ」 指導と評価の年間計画

学校名・学科・学年 福井県立高志高等学校 普通科 2年（理系・高入）

実施月	章の内容	指導内容 節ごと	配当 時間	具体の評価規準				評価方法
				関心・意欲・態度	数学的な見方考え方	数学的な技能	知識・理解	
4	第4章 指数関数 と対数関数	第1節 指数と指 数関数	20	<ul style="list-style-type: none"> 指数を有理数に拡張することに関心を持ち、それらを数の考察に活用しようとしている。 指数関数の値の変化に関心を持ち、それに関連させて具体的な事象を考察しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 指数を有理数（実数）まで拡張する過程を考察することができる。 指数関数の値の変化の様子や2つの数の大小関係について、グラフを用いて考察することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 累乗や累乗根を含んだ乗法および除法を計算することができる。 指数関数をグラフに表すことができる。 指数関数を含む方程式、不等式を解くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 指数を有理数まで拡張することの意義を理解している。 累乗根の意味や指数法則を理解している。 指数関数の式やグラフの特徴を理解している。 	サクシード チャート 小テスト 前期中間調査①
		第2節 対数と対 数関数	22	<ul style="list-style-type: none"> 対数の性質について関心を示し、具体的な事象に活用しようとしている。 常用対数が概数を考察する際に有効であることに関心を持ち、具体的な事象の考察に活用しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 指数の逆としての対数をとらえ、その基本性質を考察することができる。 対数関数の値の変化の様子について、グラフを用いて考察することができる。 常用対数を活用して数の桁数について考察することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 対数の基本性質を用いた対数の計算ができる。 対数関数のグラフをかくことができる。 対数を含む方程式や不等式を解くことができる。 常用対数を利用して桁数や最高位の数字などを調べることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 対数の意味とその必要性を理解している。 対数の基本性質を理解している。 対数関数の式やグラフの特徴について指数関数と関連させて理解している。 	サクシード チャート 小テスト 前期中間調査①
9	第5章 微分と積 分	第1節 微分係数 と導関数	13	<ul style="list-style-type: none"> 平均変化率、微分係数、導関数の考え方に関心を持ち、調べようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 導関数の意味をグラフと関連づけて、数学的に考察することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 導関数の定義に従って、関数を微分することができる。 関数の和、差および定数倍の導関数を求めることができる。 接線の方程式を求めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 極限値の意味を式とグラフから直観的に理解している。 接線の意味とその方程式の求め方を理解している。 	サクシード チャート 小テスト 後期中間調査①
		第2節 導関数の 応用	24	<ul style="list-style-type: none"> 微分係数や導関数が有用であることを認識し、それらを具体的な事象の考察に活用しようとする。 導関数を用いて関数の値の変化を考察することに関心を持ち、具体的な事象の考察に関数の値の増減や極大・極小および最大・最小を活用しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 微分係数や導関数を導く過程について考察することができる。 導関数を用いて関数の値の変化の様子について考察することができる。 三次方程式の解を三次関数のグラフとx軸の位置関係に対応させて考察することができる。 導関数を不等式の証明に活用するために、関数を多面的にみることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ある関数の定数倍、和および差の導関数を求めることができる。 多項式関数の導関数を求めることができる。 微分係数を用いて、与えられた点における接線の方程式を求めることができる。 導関数を用いて関数の値の増減や極大・極小を調べ、グラフの概形をかくことができる。 また、区間が制限された関数の最大値・最小値を求めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 微分係数や導関数の意味について理解している。 微分係数の図形的な意味について理解している。 導関数の正負と関数の増減の関係について理解し、基礎的な知識を身に付けている。 	サクシード チャート 小テスト 後期中間調査①
10		第3節 積分	26	<ul style="list-style-type: none"> 定積分の意味や計算の仕方を基に、定積分の性質について考察しようとしている。 積分の考えの有用性を認識し、それらを具体的な事象の考察に活用しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 微分の考えに対比させて、不定積分や定積分について考察することができる。 定積分が面積を表していることを導く過程について考察することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 関数の定数倍、和および差の不定積分や定積分を求めることができる。 多項式関数の不定積分を求めることができる。 定積分を用いて直線や関数のグラフで囲まれた図形の面積を求めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 微分の考えに関連し、不定積分および定積分の意味について理解している。 直線や関数のグラフで囲まれた図形の面積を求める方法について理解している。 	サクシード チャート 小テスト 後期中間調査①
			105		22			

令和2年度 数学科 指導と評価の年間計画

学校名

福井県立高志高等学校

科目名	学科名	対象学年	単位数
数学Ⅲ	普通科（高入生）理系	2年	2単位
教科書（出版社・タイトル）		補助教材等	
東京書籍 数学Ⅲ		問題集 数研出版 サクシードⅢ 参考書 数研出版 チャート式 基礎からの数学Ⅲ	

科目の目標	平面上の曲線，複素数平面，極限，微分法および積分法について理解させ，基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，事象を数学的に考察する能力を培い，数学のよさを認識できるようにするとともに，それらを活用する態度を育てる。		
評価の観点および評価規準			
関心・意欲・態度	数学的な見方・考え方	数学的な技能	23
平面上の曲線と複素数平面，極限，微分法および積分法に関心をもつとともに，それらを事象の考察に積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとしている。	事象を数学的に考察し表現したり，思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して，平面上の曲線と複素数平面，極限，微分法および積分法における数学的な見方や考え方を身に付けている。	平面上の曲線と複素数平面，極限，微分法および積分法において，事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	平面上の曲線と複素数平面，極限，微分法および積分法における基本的な概念，原理・法則などを体系的に理解し，知識を身に付けている。

「数学Ⅲ」 指導と評価の年間計画

学校名・学科・学年 福井県立高志高等学校 普通科 2年（理系・高入）

実施月	章の内容	指導内容 節ごと	配当 時間	具体的評価規準				評価方法
				関心・意欲・態度	数学的な見方考え方	数学的な技能	知識・理解	
11	第3章 数列の極限	第1節 無限数列	8	・無限数列の極限を調べることに関心を持ち、それを具体的な事象の考察に活用しようとしている。	・いろいろな無限数列の収束、発散について考察することができる。	・無限数列や漸化式で表された数列の極限を調べることができる。	・無限数列の収束、発散の意味を理解している。	サクシード チャート 小テスト 後期中間考査①
		第2節 無限級数	8	・無限級数の収束、発散を調べることに関心を持ち、それらを具体的な事象の考察に活用しようとしている。	・いろいろな無限級数の収束、発散について考察することができる。	・無限級数や簡単な無限級数の収束、発散を調べ、その和を求めることができる。	・無限級数と、その収束、発散の意味を理解している。	サクシード チャート 小テスト 後期中間考査①
12	第4章 関数の極限	第1節 分数関数と無理関数	7	・分数関数・無理関数とそのグラフについて関心を持ち、それらに関数の考察に活用しようとしている。 ・合成関数、逆関数に関心を持ち、それらに関数の考察に活用しようとしている。	・分数関数や無理関数の値の変化についてグラフを用いて考察することができる。 ・合成関数や逆関数などの関数の概念について考察することができる。	・分数関数や無理関数のグラフをかくことができる。またグラフを利用して、方程式、不等式を解くことができる。 ・2つの関数の合成関数やある関数の逆関数を求めることができる。	・分数関数や無理関数の定義や性質を理解している。 ・合成関数、逆関数の定義や性質を理解している。	サクシード チャート 小テスト 後期中間考査②
1		第2節 関数の極限と連続性	13	・関数の極限を調べることに関心を持ち、それを具体的な事象の考察に活用しようとしている。	・関数の極限値を求めることで、関数の連続性の概念について考察することができる。	・いろいろな関数について、極限の様子を調べたり、極限値を求めたりすることができる。また、連続性を調べることができる。	・いろいろな関数の極限の様子や、関数の連続性について理解している。	サクシード チャート 小テスト 後期中間考査②
2	第5章 微分法	第1節 微分と導関数	6	・微分に関心を持ち、積や商の微分法や、合成関数、逆関数の微分法について考えようとしている。	・微分の定義に基づいて、関数の微分可能性や、積・商の微分法、合成関数、逆関数の微分法について考察することができる。	・関数の微分可能性を判定することができる。 ・積・商の導関数や合成関数や逆関数の導関数を求めることができる。	・微分の定義について理解している。また、積・商の微分公式や、合成関数、逆関数の微分法について理解している。	サクシード チャート 小テスト 学年末考査
		第2節 いろいろな関数の導関数	6	・三角関数や指数・対数関数などの微分公式や、積・商の微分法、合成関数の微分法などを活用して、いろいろな関数の微分法について考えようとしている。	22	・三角関数や指数・対数関数などの微分公式や、積・商の微分法、合成関数の微分法などを活用して、いろいろな関数の導関数や、高次導関数を求めることができる。	・三角関数や指数・対数関数の微分公式を理解している。 ・高次導関数の意味について理解している。	サクシード チャート 小テスト 学年末考査
		第3節 導関数の応用	23	・微分を用いて関数の増減や極値、最大値・最小値を求めることに関心を持ち、それらを具体的な事象の考察に活用しようとしている。	・導関数を用いて、関数の値の変化の様子について考察することができる。 ・不等式の証明をするために関数の増減や極限を求めたり、平均値の定理を用いたりするなど、関数を多面的に考察することができる。	・いろいろな曲線において、与えられた条件を満たす接線の方程式を求めることができる。 ・いろいろな関数の増減を調べたり、極値、最大値・最小値を求めたりすることができる。また、関数のグラフの概形をかくことができる。	・微分係数の図形的な意味について理解している。 ・導関数の符号と関数の増減の関係を理解している。 ・平均値の定理について理解している。	サクシード チャート 小テスト 学年末考査

3		第4節 いろいろな 応用	11	<ul style="list-style-type: none"> 運動の速度・加速度と微分の関係に関心を持ち、それらを点の動きの考察に活用しようとしている。 微分係数と関数の一次近似式の関連に関心を持ち、それらを用いて具体的な近似値を求めようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 2次導関数と、グラフの凹凸の関係について考察することができる。 微分を用いて、直線上や平面上を運動する点の動きを調べることができる。 微分係数を基に、関数の一次近似式について考察することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 2次導関数を利用して、グラフの概形をかくことができる。 直線上や平面上を運動する点の速度、加速度を求めることができる。 関数の一次近似式を求めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 2次導関数の符号とグラフの凹凸の関係を理解できる。 運動の速度・加速度と微分の関係について理解している。 媒介変数表示された関数の導関数の求め方を理解している。 近似式の意味を理解している。 	サクシード チャート 小テスト 学年末考査
4	第1章 平面上の曲 線	第1節 2次曲線	11	<ul style="list-style-type: none"> 放物線、楕円、双曲線の定義やそれらの性質に関心を持ち、2次曲線の性質について考察を深めようとしたり、それらの知識を図形の考察に活用しようとしたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> 2次曲線の性質やそれを表す方程式の特徴について、接線の方程式や離心率と関連づけて考察することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 2次曲線の方程式から、焦点や軸、準線、漸近線の方程式などを求め、グラフをかくことができる。 2次曲線やと直線の交点の座標や、接線の方程式を求めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 放物線、楕円、双曲線の定義とそれらに関連する用語や概念を理解している。 	サクシード チャート 小テスト 実力評価テスト
		第2節 媒介変数と 極座標	12	<ul style="list-style-type: none"> 媒介変数表示や極座標を用いる有用性を理解し、それらをいろいろな曲線の考察に活用しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 媒介変数表示や極座標を用いて、サイクロイドなどの具体的な曲線の性質について考察することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 媒介変数表示や極座標を用いて、いろいろな曲線を表すことができる。 媒介変数や極方程式で表された曲線を求めたり、グラフをかいたりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 直交座標と曲線の媒介変数表示との関係および極座標との関係を理解している。 極座標に関する用語や概念を理解している。 	サクシード チャート 小テスト
5	第2章 複素数平面	第1節 複素数平面	8	<ul style="list-style-type: none"> 複素数を極形式で表したり、複素数平面上に図示したりすることに関心を持ち、それらを用いていろいろな複素数についての考察や具体的事象についての考察をしようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 複素数平面の性質を活用したり、複素数を極形式で表したりして、図形的な意味と関連させて複素数についての考察をすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 複素数を極形式で表したり、その演算を図示したりすることができる。 ド・モアブルの定理を用いて、極形式で表された複素数のn乗の値を求めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 複素数平面の定義および複素数の和、差、実数倍、絶対値などの図形的な意味を理解している。 複素数の極形式および複素数の積の図形的意味を理解している。 	サクシード チャート 小テスト 前期中間考査①
6		第2節 平面図形と 複素数	10	<ul style="list-style-type: none"> 複素数を用いたいろいろな表現と複素数平面上の図形との関連に関心を持ち、いろいろな図形の考察に複素数の性質を用いようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 複素数の演算と複素数平面上の図形との関連を活用して、2点の内分および外分点、任意の点を中心とする回転、2定点からの距離の比が一定である点の軌跡などの図形の考察をすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 複素数平面上にある2点の内分および外分点を表す複素数、任意の点を中心回転させた点を表す複素数、2直線のなす角、2定点からの距離の比が一定である任意の点が表す図形を、複素数の性質を用いて求めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 複素数平面上の図形と、複素数を用いた表示との関連を理解している。 	サクシード チャート 小テスト
			82					

令和2年度 数学科 指導と評価の年間計画

学校名

福井県立高志高等学校

科目名	学科名	対象学年	単位数
数学B	普通科（高入生）理系	2年	2
教科書（出版社・タイトル）		補助教材等	
東京書籍 数学B		問題集 数研出版 サクシード II+B 参考書 数研出版 チャート式 基礎からの数学II+B	

科目の目標	数列およびベクトルについて理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。		
評価の観点および評価規準			
関心・意欲・態度	数学的な見方・考え方	数学的な技能	23
数列またはベクトルに関心をもつとともに、それらを事象の考察に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとしている。	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数列またはベクトルにおける数学的な見方や考え方を身に付けている。	数列またはベクトルにおいて、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	数列またはベクトルにおける基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身に付けている。

「数学B」 指導と評価の年間計画

学校名・学科・学年 福井県立高志高等学校 普通科 2年（理系・高入）

実施月	章の内容	指導内容 節ごと	配当 時間	具体的評価規準				評価方法
				関心・意欲・態度	数学的な見方考え方	数学的な技能	知識・理解	
5	第2章 平面上の ベクトル	第1節 ベクトル とその演算	10	<ul style="list-style-type: none"> ベクトルの意味や、演算の数との類似性に関心を持ち、活用しようとしている。 内積の計算や図形的な意味を理解しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ベクトルと数との違いや類似性について考えることができる。 内積の図形的な意味を考察することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ベクトルでの演算処理ができる。 内積の計算や図形の性質への活用ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ベクトルの意味や演算の仕方を理解している。 内積の定義や図形的な意味を理解している。 	サクシード チャート 小テスト 前期中間検査①
		第2節 ベクトル と図形	12	<ul style="list-style-type: none"> ベクトルを平面図形の性質の考察に活用しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 図形の性質の証明や計量について、ベクトルを用いて考察することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 図形の性質の証明や計量について、ベクトルを用いて行うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 位置ベクトルやベクトル方程式の意味を理解している。 	サクシード チャート 小テスト 前期中間検査①
		研究	2					
6	第3章 空間座標 とベクトル	第1節 空間のベ クトル	10	<ul style="list-style-type: none"> 空間座標やベクトルに関心を持ち、それらを空間図形の考察に活用しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 空間に拡張した座標やベクトルを用いて、空間図形の性質などを考察することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 空間での分点や平面上の点の表し方などや空間図形の性質の考察において、座標やベクトルを用いて処理することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 空間座標やベクトルおよび分点の表記や演算を理解している。また、それを利用した図形の表し方を理解している。 	サクシード チャート 小テスト 前期中間検査②
		章末問題	5					
	第1章 数列	第1節 等差数 列・等比数 列	8	<ul style="list-style-type: none"> 等差数列・等比数列の仕組みに関心を持ち、それらを一般項や和の考察に活用しようとしている。 	22	<ul style="list-style-type: none"> 等差数列・等比数列の仕組みから、一般項やその和を求めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 等差数列・等比数列の仕組みから、一般項やその和を求めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 等差数列・等比数列の仕組みを理解している。
第2節 いろい ろな数列		23	<ul style="list-style-type: none"> 数列の和において、Σ記号を利用しようとしている。 いろいろな数列の規則性に関心を持ち、それを一般項や和を求める考察に活用しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 数列の和において、Σ記号を利用して考察することができる。 いろいろな数列の規則性を見つけ、一般項やその和を考察することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 数列の和をΣ記号を利用して表したり、その計算ができる。 いろいろな数列の規則性を利用して、一般項やその和を求めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> Σ記号の意味を理解している。 いろいろな数列について、その規則性を見つける方法を理解している。 	サクシード チャート 小テスト 前期中間検査②	
7	第3節 漸化式と 数学的帰納 法	第3節 漸化式と 数学的帰納 法	11	<ul style="list-style-type: none"> 漸化式から一般項を導いたり、漸化式や数学的帰納法を事象の考察に活用しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 漸化式から一般項を導く方法を考えることができる。 自然数に関する等式や不等式などの証明で、数学的帰納法の適用することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 漸化式から一般項を導くことができる。 数学的帰納法を利用して、自然数に関する等式や不等式などの証明をすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 漸化式の意味や、その仕組みを理解している。 数学的帰納法の仕組みを理解している。 	サクシード チャート 小テスト 前期期末検査
		章末問題	2					
			83					

令和2年度 理科 指導と評価の年間計画

福井県立高志高等学校

科目名	学科名	対象学年	単位数
物理	普通科理系	2年	3
教科書（出版社・タイトル）		補助教材等	
物理/313 改訂版 物理（数研出版）		ニューグローバル物理基礎＋物理 （東京書籍）	

科目の目標	物理的な事物・現象に対する探究心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、物理学的に探究する能力と態度を育てるとともに、物理学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を育成する。		
評価の観点および評価規準			
関心・意欲・態度	思考・判断・表現	観察・実験の技能	23
物理学的な事物・現象に関心や探究心をもち、主体的に探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。	物理学的な事物・現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	物理学的な事物・現象に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	物理学的な事物・現象に関する基本的な概念や原理・法則について理解を深め、知識を身に付けている。

「物理」(2年) 学習内容と評価の年間計画

福井県立高志高等学校・普通科理系

実施月	単元名 単元の目標	学習内容	配当 時間	具体の評価規準				評価方法
				関心・意欲・態度	思考・判断・表現	観察・実験の技能	知識・理解	
4	第1編 力と運動 第1章 平面内の運動	1 平面運動の速度・加速度 ・物理基礎で学んだ直線運動に加え、平面運動について速度や加速度のベクトルを用いた扱いを理解させる。	3	日常の様々な物体の運動に関心を持つことができる。平面内の運動に対して関心を抱き、意欲的に探究しようとする。さまざまな顕微鏡に関心や探究心をもち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。	速度の合成の意味・考え方を理解し、表現することができる。	相対速度の考えを作図を用いて、的確に整理している。	平面上を運動する物体や放物運動する物体にはたらく力と運動との関係を正しく理解し、知識を身につけている。	・ワークシートの記述内容の分析 ・定期テストによる理解度、定着度分析
4		2 落体の運動 ・放物運動について速度ベクトルを水平成分と鉛直成分とに分解し、定量的に理解させる。	3	落体の運動、特に斜方投射について、物体の運動はどのようになっているかに関心を示している。	運動の多様性と簡単な解析の方法を習得し、考察できる。	放物運動についてのグラフの活用法・データ処理の仕方を習得している。	放物運動について速度ベクトルを水平成分と鉛直成分に分解し、定量的に理解し、知識を身につけている。	・ワークシートの記述内容の分析 ・定期テストによる理解度、定着度分析
4	第2章 剛体	1 剛体にはたらく力のつりあい ・力のモーメントについて学習し、剛体にはたらく力のつりあいを理解させる。	4	回転運動と並進運動の違いに着目し、運動と力との関わりに関心を持って、科学的に探究しようとする。	剛体にはたらく力がつりあうための2つの条件を、さまざまな状況にある剛体について、理解し、表現することができる。	斜面上の直方体に対して、斜面の角度と物体にはたらく垂直抗力の関係を確認し、的確に整理している。	剛体にはたらく力のつり合いに関する基本的な概念や公式を理解し、それらの関係を解析する方法を身につけている。	・ワークシートの記述内容の分析 ・定期テストによる理解度、定着度分析
5		2 剛体にはたらく力の合力と重心 ・様々な場合に応じて、剛体にはたらく合力や重心を理解させる。	5	剛体について、日常に見られる様々な状況を通して関心を持ち、科学的に探究しようとする。	物体が転倒しない条件などを正しく解析し考察できる。	厚紙でできた三角形の重心をいくつかの方法で求めることができる。	様々な場合に応じて、剛体にはたらく合力や重心を導出できるように理解し、知識を身につけている。	・ワークシートの記述内容の分析 ・実験プリント ・定期テストによる理解度、定着度分析
5	第3章 運動量の保存	1 運動量と力積 ・運動量の変化と力積の関係を理解させる。	5	力積と運動量に関わる日常の運動について関心を持ち、意欲的に探究しようとする。	力積と運動量の定義から導かれる法則性を見出し、スポーツや身近な現象について力積と運動量の考えから説明できる。	直線運動の場合だけでなく、平面運動での運動量と力積との間に成り立つ関係式をベクトル図で示すことができる。	力積・運動量という基本的な概念を理解し、運動量保存の法則について成立条件を含めて知識を身につけ活用できる。	・ワークシートの記述内容の分析 ・授業中の発問への対応 ・定期テストによる理解度、定着度分析
6		2 運動量保存則 ・運動量保存則を学習し、衝突や分裂などの現象を扱う方法を理解させる。	5	運動量保存の法則の有用性を知り、その法則をいろいろな運動を分析するために意欲的に活用しようとする。		22 運動量保存の法則について観察・実験を行って検証することができ、的確に整理している。	力積・運動量という基本的な概念を理解し、運動量保存の法則について理解し、知識を身につけ活用できる。	・ワークシートの記述内容の分析 ・実験プリント ・定期テストによる理解度、定着度分析
6		3 反発係数 ・反発係数は衝突直後と直前における2物体の相対速度の大きさの比で表されることを理解させる。	23	「弾みやすいかどうかを定量的に表すにはどのようにしたらよいだろうか」ということに関心を示している。	物体の衝突を力学的エネルギーの減少と反発係数を関連づけて理解し、表現することができる。	反発係数の測定実験を行って実験結果を的確に整理している。	直線上の衝突、斜め衝突について理解し、知識を身につけている。	・ワークシートの記述内容の分析 ・実験プリント ・定期テストによる理解度、定着度分析

7	第4章 円運動と万有引力	1 等速円運動 ・等速円運動において、物体にはたらく力の向きや大きさ、加速度について理解させる。	4	円運動に対して関心を抱き、意欲的に探究しようとする。	日常に見られる円運動を通して、力の性質や運動との関わりについて考察し、的確に表現できる。	円運動の観察を通して、物体にはたらく力と運動の関係を見だし、的確に整理している。	円運動する物体にはたらく力と運動との関係を正しく理解し、知識を身につけている。	・ワークシートの記述内容の分析 ・授業中の発問への対応 ・定期テストによる理解度、定着度分析
9		2 慣性力 ・非慣性系と慣性力について理解させる。	4	日常生活において感じる慣性力について、興味関心を抱き、意欲的に探究しようとする。	一つの現象について慣性系、非慣性系の違いを明確にして理解できている。	水と鉄、水とコルクそれぞれについて、密度の大小とおもりの傾く向きと運動の関係を観察を通して力のベクトルで図示できる。	慣性系と非慣性系での観測結果の違いを正しく理解し、知識を身につけている。	・ワークシートの記述内容の分析 ・授業中の発問への対応 ・定期テストによる理解度、定着度分析
9		3 単振動 ・単振動において、物体にはたらく力の向きや大きさ、加速度について理解する。	6	単振動に対して関心を抱き、意欲的に探究しようとする。	日常に見られる単振動を通して、力の性質や運動との関わりについて考察ができる	単振動の観察・実験を通して、物体にはたらく力と運動の関係を見だし、自らの考えを的確に整理している。	単振動する物体にはたらく力と運動との関係を理解し、基本的な概念や公式を運用することで、運動を解析する方法を身につけている。	・ワークシートの記述内容の分析 ・授業中の発問への対応 ・定期テストによる理解度、定着度分析
10		4 万有引力 ・ケプラーの法則・万有引力の法則から静止衛星の運動や脱出速度等について理解させる。	6	万有引力及び天体の運動に対して関心を抱き、意欲的に探究しようとする。	円運動や天体の運動を通して、様々な現象に対して正しく考察し、的確に表現できる		万有引力による位置エネルギーの概念を積分的発想から理解し、知識を身につけている。	・ワークシートの記述内容の分析 ・授業中の発問への対応 ・定期テストによる理解度、定着度分析
10	第2編 熱と気体 第1章 気体のエネルギー と状態変化	1 気体の法則 ・ボイル・シャルルの法則、アボガドロの法則、理想気体の状態方程式を理解させる。	6	気体の圧力・温度と体積との関係について関心をもち、意欲的に探究している。	ボイル・シャルルの法則に関連づけて、日常の現象について思考し表現できる。	気体の状態に関する観察を通して、自らの考えを的確に整理している	気体の圧力・温度・体積の基本的な概念に正しく理解し、知識を身につけている。	・ワークシートの記述内容の分析 ・授業中の発問への対応 ・定期テストによる理解度、定着度分析
11		2 気体分子の運動 ・気体分子の運動を力学的に扱って、気体の圧力を表す式で表されることを理解させる。	6	原子や分子の立場から内部エネルギーを理解することに関心をもち、それらに関する身の回りの現象について深く理解しようとする。	気体の分子運動論の立場から、熱と温度と内部エネルギーについて実証的・総合的に考察できる。また、以上の観点から日常の現象について思考し表現できる。	気体の分子運動平均速度を示した表からグラフを作成して分析することができる。	気体の分子運動・圧力・温度・内部エネルギーの基本的な概念について理解し、それらの知識をつかって日常の現象をとらえることができる。	・ワークシートの記述内容の分析 ・実験プリント ・定期テストによる理解度、定着度分析
11		3 気体の状態変化 ・気体分子の運動理論から、圧力、温度と内部エネルギーの関係を導き、熱力学の第一法則を理解させる。	6	気体の状態変化と内部エネルギーについて関心をもち、意欲的に探究している。また、熱機関の効率について関心をもち、エネルギーの有効活用についても探究する姿勢を身につけようとしている。	気体の状態変化について、内部エネルギーに基づいて考察するとともに、熱現象の不可逆性の観点から、エネルギーの有効活用について思考し、省エネルギーのための方法を判断できる。	断熱変化の実験の観察から、熱・仕事・内部エネルギーの関係についてイメージできるようになる。	気体の状態変化における熱・仕事・内部エネルギーの関係について理解する。また、内部エネルギーを含めたエネルギー保存の法則として熱力学第1法則が成り立つことを理解し、知識を身につけ活用できる。	・ワークシートの記述内容の分析 ・授業中の発問への対応 ・定期テストによる理解度、定着度分析
12	第3編 波 第1章 波の伝わり方	1 正弦波 ・波源が単振動をするとき、その振動が周囲の媒質に伝わると正弦波が生じることを理解させる。 ・正弦波の一般式を理解させる。	4	身の回りの波動現象に関心をもち、それらの性質に関する現象に対して意欲的・科学的に探究する態度を身につけようとしている。	位相のずれや進行方向の違いなども考慮して、正弦波の式を正しく表すことができる。	波が伝わる動的なイメージを、正弦波の式をもとにして具体的に作図で示すことができる。	正弦波の一般式について理解し、知識を身につけている。	・ワークシートの記述内容の分析 ・授業中の発問への対応 ・定期テストによる理解度、定着度分析

12 1		2 波の伝わり方 ・ホイヘンスの原理から、波の反射・屈折・回折の現象を理解させる。	5	身の回りの波動現象に関心を持ち、それらの性質に関する現象に対して意欲的・科学的に探究する態度を身につけようとしている。	様々な波動現象から波動現象に共通している性質・特徴を考察することができる。	ホイヘンスの原理に基づいた様々な波動現象の作図ができる。	波の反射・屈折・回折・干渉等について理解し身に付けている。また、波動現象の原理・法則を活用できる。	・ワークシートの記述内容の分析 ・授業中の発問への対応 ・定期テストによる理解度、定着度分析
1	第2章 音	1 音の伝わり方 ・音波の反射・屈折・回折・干渉の現象を理解させる。	4	音波の特徴や性質・伝わり方に関心を持ち、意欲的に探究しようとしている。また、波の基本的性質と関連づけて探究しようとする。	音を波動として捉えられ、統一的に判断できる。また、音や振動に関係している日常の様々な現象に対して的確に考察・洞察し判断できる。	弦楽器や管楽器の実験・観察を通して、定常波・共振・共鳴等に関する実験技能を習得し、得られた結果を的確に分析できる。	音が疎密波であることや、共鳴や定常波について理解し、楽器の原理を量的関係で捉えることができる。	・ワークシートの記述内容の分析 ・授業中の発問への対応 ・定期テストによる理解度、定着度分析
1		2 音のドップラー効果 ・音源と観測者の運動によってドップラー効果が生じ、波長や振動数が変化することを理解させる。	6	音のドップラー効果が身近なところで起きていることや、応用されていることなどに興味・関心を示している。	運動している音源から出た音の波面の、異なる時刻でのようすを図に描き、表現することができる	ブザーを投げたり回転させたりして、実際にドップラー効果を体験することで確認し、的確に整理している。	ドップラー効果が起きるしくみはどのように異なるかを理解している。また、公式の導出について理解し、知識を身につけている。	・ワークシートの記述内容の分析 ・授業中の発問への対応 ・定期テストによる理解度、定着度分析
2	第3章 光	1 光の性質 ・光の波長と色の関係、光の速さについて理解する。反射・屈折・全反射・分散・散乱・偏光を観察しそれぞれの現象を理解させる。	6	身の回りの光の現象に関心を持ち、それらの性質に関する現象に対して意欲的・科学的に探究する態度を身につけようとしている。	物質中を通過するときの光の速さや波長は真空中に比べてどのようになるか、的確に考察・洞察し判断できる。	光板を用いた観察・実験の技能を習得するとともに、その結果について考察し的確に整理できる	光が波の性質を持つことや、光の屈折・反射などの法則性について理解し、それらの知識に基づいて身のまわりの現象を捉えることができる。	・ワークシートの記述内容の分析 ・授業中の発問への対応 ・定期テストによる理解度、定着度分析
2		2 レンズ ・レンズがつくる像を図および実験を通して理解させる。 ・写像公式との関係を理解させる	5	レンズを使うとなぜ物体が拡大・縮小されて見えたり、像を映したりできるのかについて、興味・関心がある。	鏡やレンズの幾何光学的な性質について考え、理解し、表現することができる。	光学台を用いて写像公式が成り立っていることを検証し的確に整理している。	屈折の法則に関連づけて、凸レンズ、凹レンズの特性を理解し、知識を身につけている。	・ワークシートの記述内容の分析 ・授業中の発問への対応 ・定期テストによる理解度、定着度分析
3		3 光の干渉と回折 ・ヤングの実験・回折格子・薄膜・くさび形空気層・ニュートンリングによる光の干渉を理解させる。	6	シャボン玉など身近な現象に関心を持ち、意欲的・科学的に探究する態度を身につけようとしている。	ヤングの実験では、明線の間隔の大小はどのような量に依存するかを理解し、表現することができる。	スリット・回折格子・を用いた観察・実験の技能を習得するとともに、その結果について考察し的確に表現できる。	回折・干渉などの法則性について理解し、それらの知識に基づいて身のまわりの現象を捉えることができる。また、光の色と波長との関係について観察・実験などをおして理解し、知識を身につけている。	・ワークシートの記述内容の分析 ・実験プリント ・定期テストによる理解度、定着度分析

令和2年度 理科 指導と評価の年間計画

学校名 福井県立高志高等学校

科目名	学科名	対象学年	単位数
化学基礎	普通科（高入生）理系	2年	2
教科書（出版社・タイトル）		補助教材等	
東京書籍・改訂化学基礎		第一学習社・改訂セミナー化学基礎＋化学	

科目の目標	日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化への関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、化学的に探求する能力と態度を育てるとともに、化学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。		
評価の観点および評価規準			
関心・意欲・態度	思考・判断・表現	観察・実験の技能	23
日常生活や社会との関連を図りながら化学的な事物・現象について関心をもち、意欲的に探究しようとするとともに、科学的な見方や考え方を身に付けている。	物質とその変化に関する事物・現象の中に問題を見いだし、探究する過程を通して、事象を分析的・総合的に考察したりして、問題を解決し、事実に基づいて科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	物質とその変化に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	物質とその変化について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。

「化学基礎」学習内容と評価の年間計画

福井県立高志高等学校 普通科 理系

実施月	単元名 単元の目標	学習内容	配当時間	具体的評価規準				評価方法
				関心・意欲・態度	思考・判断・表現	観察・実験の技能	知識・理解	
4	1編 物質の構成 1章 物質の成分と構成元素	1節 物質の成分 ・身のまわりの物質が純物質や混合物に分類されることを理解する。 ・分離、精製の方法について理解する。	3	・身のまわりの物質が純物質や混合物に分類されることに興味をもつ。	・純物質と混合物の違いが何であるか説明できる。	・混合物をろ過や蒸留、再結晶、クロマトグラフィーなどにより純物質に分けることができる。	・混合物を分離する操作に、ろ過、蒸留、分留、昇華、再結晶、抽出、クロマトグラフィーなどをあげられる。	ワークシート 実験技能 前期中間考査①
		2節 物質の構成元素 ・元素の意味や概念を理解する。	2	・元素の種類や単体、化合物について興味や関心を高める。	・元素の種類や単体、化合物について考察し、比較する。	・同素体の実験による生成・観察などができる。	・単体、化合物、同素体について理解する。 ・代表的な成分元素の検出法を理解している。	
		3節 物質の三態 ・物質の三態変化は、構成粒子の状態がどのように変化して起こっているのか理解する。	2	・物質の三態変化は、構成粒子の状態がどのように変化して起こっているのか興味をもつ。	・物質を加熱したり冷却したときの、温度変化をグラフに表すことができる。	・気体分子の熱運動を視覚的に示すことができる。	・絶対温度とセルシウス温度の関係を理解している。	
	2章 原子の構造と元素の周期表	23	・原子は粒子から構成されていることに気づき、同じ元素でも粒子の構成が異なるものがあることを理解する。	2	・原子はいくつかの粒子から構成されていることに気づく。 ・同じ元素でも粒子の構成が異なるものがあることに興味をもつ。	・原子について、どのような粒子から構成されているかを説明することができる。	・電子が負の電荷を帯びた粒子であることを示すことができる。	
5	3章 化学結合	2節 電子配置と周期表 ・周期表上の元素の配列のしかたについて理解する。	3	・周期表上の元素の配列のしかたについて興味をもつ。	・周期表の中に周期律が見いだせること、周期律は価電子の数の周期的な変化によることなどに気づく。	・マグネシウムとアルカリ土類金属元素の性質の差異を実験により確認することができる。	・元素の、典型・遷移、金属・非金属、陽性・陰性などの分布、および同族元素について理解している。	ワークシート 実験技能 前期中間考査②
		1節 イオンとイオン結合 ・原子とイオンの違いについて理解する。 ・イオン化について理解する。 ・イオン結晶の性質について理解する。	3	・化学結合の種類や特徴について興味や関心を高める。 ・身のまわりにあるイオン結晶の性質に興味を持つ。	・イオン結合が生じる理由について考察し、物質の性質と関連づけることができる。 ・組成式と分子式の違いに気づく。	・イオンの電子配置を模型により示すことができる。 ・イオンからなる物質の特徴を示すことができる。	・イオン化エネルギー、電子親和力の概念と周期表上での傾向を説明できる。 ・イオン結晶の名称、組成式の組み立て方を理解している。	
		2節 分子と共有結合 ・共有結合のしくみを理解する。 ・電子式、構造式の表し方を理解する。 ・分子の形と関連づけて極性について理解する。 ・分子結晶、共有結合の結晶について、特徴と違いを理解する。	5	・分子のなり立ちについて興味をもつ。 ・分子からなる物質の性質に興味をもつ。 ・分子には極性分子と無極性分子があることに興味をもつ。	・分子式は分子でできている物質がどのような状態であっても共通で用いられることに気づく。 ・価標を考慮することによって分子の構造を予想することができる。 ・分子の形を予想して、極性分子と無極性分子に分類できる。	・分子模型を用いて、分子の形を確認する。 ・極性分子と無極性分子の性質の差異を実験により確認することができる。 ・分子の中の原子どうしの結合を、模型などを用いて表すことができる。	・さまざまな分子を分子式で表すことができる。 ・さまざまな分子を電子式、構造式で表し、その構造を考慮することができる。 ・極性を電気陰性度の違いによる電荷のかたよりと分子の形から理解している。	
5	3章 化学結合	3節 金属と金属結合 ・金属特有の性質を理解する。 ・金属の結晶の特徴を理解する。	4	・金属特有の性質に興味をもつ。	・金属特有の性質は、金属結合が自由電子によるものであることが原因であることに気づく。 ・金属の結晶格子の特徴について、モデルをもとに考察する。	・金属の特性を実験で示すことができる。	・金属もイオン結晶や共有結合の結晶と同じように、組成式で表されることを理解している。 ・金属特有の性質を挙げるができる。	ワークシート 実験技能 前期中間考査②
		4節 物質の分類 ・1～3節をまとめ、それぞれの化学結合でできた代表的な物質について理解する。	2	・それぞれの化学結合について、特徴を理解し、その結晶の差異について興味や関心を高める。	・それぞれの化学結合でできた結晶について、その性質を説明し、それがどのような理由によるものが推論することができる。	・それぞれの化学結合でできた結晶について、その性質を調べることができる。	・それぞれの結合から成る物質の特徴と性質を理解している。	
	2編 物質の変化 1章 物質質量と化学反応式	1節 原子量・分子量・式量 ・非常に小さい粒子である原子、分子、イオンの取り扱い方について理解する。	3	・同じ原子でも異なる質量をもつものがあることに興味をいだく。 ・原子1個がはいかに小さなものであるかを実感する。	・同位体が存在する場合、平均原子量を求めることができる。 ・質量そのものではなく、基準に対する相対質量で表すことを理解している。	・基本的な化学式などを書く技能を習得し、的確に表現できる。	・原子量・分子量・式量の定義を示すことができる。 ・原子の相対質量をもとに、分子の質量を考慮することができる。	ワークシート 実験技能 前期中間考査②

「化学基礎」学習内容と評価の年間計画

福井県立高志高等学校 普通科 理系

実施月	単元名 単元の目標	学習内容	配当時間	具体的評価規準				評価方法
				関心・意欲・態度	思考・判断・表現	観察・実験の技能	知識・理解	
6		2節 物質質量 ・原子の数え方について理解する。 ・物質質量の定義について理解する。	4	・多数の粒子を数えることは困難なので、まとめて扱うことが便利だということに気づく。	・ある質量の物質の中に、原子や分子などが何個含まれているかを考えることができる。 ・モル質量の概念を使い、粒子数・質量と物質質量に関する計算ができる。	・実際の物質の1mol分の量を示すことができる。 ・実際の物質の量を物質質量で表せる。	・気体の場合の1molの体積は共通であることを理解する。	ワークシート 実験技能 前期期末考査
		3節 溶液の濃度 ・溶解という現象を理解させるとともに、溶液の濃度の表し方について理解する。	4	・溶解という現象に興味をもつ。	・計算により濃度を求めることができる。	・あるモル濃度の水溶液をメスフラスコなどを使用して調製することができる。	・質量パーセント濃度・モル濃度の意味を理解している。	
		4節 化学反応式とその量的関係 ・多くの化学変化は化学反応式で表されることを理解し、化学反応式をもとに量的な関係をつかむことができる。	4	・化学反応の表し方について興味や関心を高める。	・正しい化学反応式が表せる。 ・化学反応式の係数から、物質の量的変化を質量や気体の体積の変化でとらえることができる。	・化学反応式の係数から、物質の量的変化を質量や気体の体積の変化で考えることができる。	・化学反応における、物質質量、粒子の個数、質量、気体の体積などの量的な関係を、化学反応式から読み取ることができる。	
		2章 酸と塩基	1節 酸と塩基 ・酸とは何か、塩基とは何かについて理解する。	2	・酸・塩基について興味や関心を高める。	・酸・塩基の例からその共通性について考察し、他の物質と比較する。また、その量的な関係について考察する。	・H ⁺ の授受が実際に行われている反応を確かめてみるができる。	
	2節 水素イオン濃度とpH ・水素イオン濃度の表し方について理解する。	3	・水もまた一部が電離しているということに興味をもつ。	・pHの値から酸性、塩基性の強弱が判断できる。 ・ある水素イオン濃度における水酸化物イオン濃度を求められる。	・身のまわりの物質の水溶液のpHを知る方法を身につけている。	・pHの値から、水酸化物イオン濃度との関係や酸性、塩基性の強弱を理解することができる。		
	3節 中和反応と塩の生成 ・中和反応の定義と表し方について理解する。 ・塩の生成と種類、性質について理解する。	3	・中和反応は本質的にはH ⁺ とOH ⁻ の反応であることに気づく。 ・同一の酸と塩基から生成する塩でも、複数の種類の塩が生じることがあることに気づく。	・酸・塩基の価数は中和する際の量的関係に重要な要素を占めることを考察できる。 ・塩の水溶液の酸性・塩基性が判断できる。	・塩の水溶液をつくりpHメーターなどにより、pHを測定することができる。	・酸性塩・塩基性塩・正塩などの分類があることを理解している。		
	4節 中和滴定 ・中和の量的関係を理解する。 ・実験器具の使い方を理解する。	3	・市販の食酢の酢酸濃度の求め方に興味を持つ。	・測定結果をもとに、滴定曲線を表すことができる。	・中和滴定の実験により濃度未知の酸や塩基の濃度を求めることができる。 ・実験器具の使い方を理解している。	・中和の量的関係を数値計算により求めることができる。 ・滴定曲線におけるpH変化、中和点、使用できる指示薬について理解している。		
	3章 酸化還元反応	1節 酸化と還元 ・酸化と還元の定義を理解する。	5	・酸化還元反応の原理、電池の種類や特徴について、興味や関心を高める。	・酸化還元反応には必ず電子の移動が伴うことを考察できる。 ・酸化数を求めることによって酸化還元を考察することができるようになる。	・代表的な酸化還元反応を観察し、この反応を酸化還元反応として、考えることができる。	・電子の授受が酸化還元の本質であることを理解している。	
	2節 酸化剤と還元剤 ・酸化剤、還元剤のはたらき方について理解する。	6	・酸化還元の複雑な化学反応式も、そのもととなる反応式と電子の授受を考えることによって完成させられるようになる。	・酸化還元反応の化学反応式を酸化剤・還元剤のはたらきを示す反応式からつくれるようになる。 ・酸化還元反応における酸化剤と還元剤のはたらきを読み取ることができる。	・酸化還元滴定の実験により濃度未知の酸化剤や還元剤の濃度を求めることができるとともに、酸化還元反応の進行を色の変化など、実験を通して視覚的に判断できるようになる。	・酸化還元反応の量的関係を数値計算により求めることができる。		
	3節 金属の酸化還元反応 ・金属のイオン化傾向について理解する。	3	・金属の反応性はイオン化傾向と関連があることに、興味や関心を高める。	・金属の反応性を、イオン化傾向と関連させて考察できるようになる。	・金属の、水、酸、酸化剤との反応性の違いを実験で示すことができる。	・金属の反応性は、イオン化傾向と関連が深いことを理解している。		
4節 酸化還元反応の応用 ・電池、電気分解の原理について理解する。	4	・電池、電気分解の原理について興味や関心を高める。	・電池や電気分解で起こる反応の原理や違いが生じる理由について考察できる。	・教科書などの図や表で該当の内容を確認する。	・電池の原理を理解する。 ・電気分解の原理を理解する。			

令和2年度 理科 指導と評価の年間計画

学校名 福井県立高志高等学校

科目名	学科名	対象学年	単位数
化学	普通科（高入生）理系	2年	3
教科書（出版社・タイトル）		補助教材等	
東京書籍・改訂化学		第一学習社・改訂セミナー化学基礎+化学	

科目の目標	化学的な事物・現象に対する探求心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、化学的に探究する能力と態度を育てるとともに、化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を育成する。		
評価の観点および評価規準			
関心・意欲・態度	思考・判断・表現	観察・実験の技能	23
化学的な事物・現象に対する探求心を高め、目的意識をもって、意欲的に探究しようとするとともに、科学的な見方や考え方をより深めて身に付けている。	物質とその変化に関する事物・現象の中に問題を見だし、化学的に探究する過程を通して、事象を分析的・総合的に考察したりして、問題を解決し、事実に基づいて科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	物質とその変化に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	物質とその変化について、基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観と知識を身に付けている。

「化学」学習内容と評価の年間計画

福井県立高志高等学校 普通科 理系

実施月	単元名 単元の目標	学習内容	配当 時間	具体的評価規準				評価方法	
				関心・意欲・態度	思考・判断・表現	観察・実験の技能	知識・理解		
9	2編 化学反応とエネルギー 2章 電池と電気分解	1節 電池 ・電池の原理 ・実用電池	3	・電池の原理と実用電池について関心を持ち、共通する反応様式や具体的なしくみについて意欲的に探究しようとする。	・電池の原理をもとに実用電池のしくみと反応について、一次電池・二次電池等の分類及びリチウムイオン電池や燃料電池等についても考察できる。	・燃料電池の性能を測定し、さらに燃料の量と電池の寿命との関係を調べることで、電極での反応を説明できるとともに、結果を考察し的確に表現できる。	・電池の原理と実用電池の反応の様式やしくみについて理解・習得し、個々の具体的な反応について基本的な知識を身に付けている。	ワークシート 実験技能 前期期末考査	
		2節 電気分解 ・電気分解とその法則 ・融解塩電解 ・イオン交換膜法	4	・具体的な水溶液の電気分解について関心を持ち、共通する反応様式や具体的な反応における量的関係について意欲的に探究しようとする。	・金属のイオン化傾向や陰イオンの反応のしやすさ、電気分解の量的関係を示すファラデーの法則をもとに、個々の反応を原理的に考察できる。	・硫酸銅(Ⅱ)水溶液の電気分解を用いて電気量と電極の質量変化を測定し、ファラデー定数の値を算出するとともに、その原理的過程を考察し的確に表現できる。	・電気分解の原理と金属のイオン化傾向や陰イオンの反応のしやすさ、ファラデーの法則について理解し、基本的な知識を身に付けている。		
10	1編 物質の状態 1章 物質の状態	1節 物質の三態 ・状態変化とエネルギー ・状態変化と分子間力	3	・物質の三態とその変化について関心を持ち、状態変化とエネルギーや分子間力との関係に関して意欲的に探究しようとする。	・物質の三態とその変化について、それに伴うエネルギーの出入りや分子間力に関する概念をもとに考察できる。	・水の三態変化における温度・圧力と沸騰の関係について調べる化学的方法と操作を身に付け、その結果と意味についての的確に表現できる。	・物質の三態変化について、エネルギー・温度・分子間力の影響を理解・習得し、その具体的なあてはめ方について基本的な知識を身に付けている。	ワークシート 実験技能 後期中間考査 ①	
		2節 気体・液体間の状態変化 ・気液平衡と蒸気圧 ・状態図	5	・気体・液体間の状態変化について関心を持ち、気液平衡・沸騰などの現象に関して状態図を用いて意欲的に探究しようとする。	・気体・液体間の状態変化について、気液平衡・沸騰などの現象や状態図の概念を用いて考察できる。	・イオン・金属・分子からなる物質の性質を調べ、比べる化学的方法と操作を身に付け、その結果と意味についての的確に表現できる。	・気体・液体間の状態変化について、気液平衡・沸騰の現象や状態図を理解・習得し、その具体的なあてはめ方について基本的な知識を身に付けている。		
	2章 気体の性質	3	1節 気体 ・ボイル法則とシャルルの法則 ・ボイル・シャルルの法則	3	・ボイル・シャルルの法則について関心を持ち、絶対温度や絶対零度の概念をもとに気体の圧力・体積・温度の関係について意欲的に探究しようとする。	・ボイル・シャルルの法則を用いて、気体の圧力・体積・絶対温度の関係及び状態変化について考察できる。	・気体の状態方程式を用いて揮発性物質の分子量を測定する化学的方法と操作を身に付け、その結果と意味についての的確に表現できる。		・ボイル・シャルルの法則の意味を理解・習得し、その具体的なあてはめ方について基本的な知識を身に付けている。
		6	2節 気体の状態方程式 ・気体の状態方程式 ・混合気体 ・理想気体と実在気体	22	・理想気体と実在気体についての概念をもとに、気体の分子量、混合気体の状態方程式、実在気体における分子間力と分子の大きさの影響等について考察できる。	・液体どうしの混ざり方を分子の極性の有無の観点で調べる化学的方法と操作を身に付け、その結果と意味についての的確に表現できる。	・気体の状態方程式・分圧の法則・理想気体と実在気体の意味を理解・習得し、その具体的なあてはめ方について基本的な知識を身に付けている。		
11	3章 溶液の性質	23	3	・溶解とそのしくみ、固体や気体の溶解度に関心を持ち、それらの現象を説明する原理や概念について意欲的に探究しようとする。	・固体の溶解度、気体の溶解度(ヘンリーの法則)について理解することができる。	・溶質・溶媒の極性と溶解性の関連について考察することができる。	・固体や気体の溶解度と温度や圧力との関係について、その意味を理解・習得し、その具体的なあてはめ方について基本的な知識を身に付けている。		
		2節 希薄溶液の性質 ・沸点上昇と蒸気圧降下 ・凝固点降下 ・浸透圧	5	・希薄溶液が示す沸点上昇・凝固点降下・浸透圧について関心を持ち、それらの現象を説明する原理や概念について意欲的に探究しようとする。	・沸点上昇・凝固点降下・浸透圧について、水和・溶媒や溶質分子の極性・溶解度曲線・蒸気圧降下・凝固・溶解平衡等の概念を用いて考察できる。	・溶液の冷却曲線を調べることで、およびその方法を用いて希薄溶液の凝固点降下を測定することで溶媒のモル凝固点降下を求め化学的方法と操作を身に付ける。	・沸点上昇や凝固点降下と溶質の分子量、浸透圧と溶質の分子量の関係について、その意味を理解・習得し、基本的な知識を身に付けている。		
		3節 コロイド ・コロイド溶液とその性質	3	・コロイド溶液とその性質について関心を持ち、コロイド粒子の分類や特性について意欲的に探究しようとする。	・コロイド溶液とその性質について、コロイド粒子の大きさと分子の大きさとの違いによる特性として考察できる。	・コロイド溶液の性質を調べる化学的方法と操作を身に付け、その結果と意味についての的確に表現できる。	・コロイド粒子と溶液の性質について理解・習得し、その具体的な例について基本的な知識を身に付けている。		
	4章 固体の構造	1節 結晶 ・単位格子や結晶の種類	2	・単位格子や結晶の種類に興味をもつ。	・結晶構造を理解し、モデルで表現することができる。		・単位格子、配位数、結晶の種類について理解できる。		
	2節 金属結晶の構造 ・金属結晶の構造や種類 ・各金属格子の充填率	2	・金属結晶の構造や種類について関心を持ち、単位格子や充填率等について意欲的に探究しようとする。	・金属結晶の種類と粒子の配置について、充填率や原子半径と単位格子の辺の長さ等の考え方をを用いて考察できる。	・球を用いて金属結晶のモデルを作り、球の重なり方により生じる構造の違いを説明できるとともに、単位格子の種類についての的確に表現できる。	・金属結晶の単位格子の構造と種類について理解・習得し、原子半径と単位格子の辺の長さの関係や充填率について基本的な知識を身に付けている。			
	3節 イオン結晶の構造 ・イオン結晶の構造や種類 ・イオン半径と安定性	2	・イオン結晶の構造や種類について関心を持ち、単位格子やイオン半径と結晶の安定性等について意欲的に探究しようとする。	・イオン結晶の種類と単位格子の関係について、イオン半径と結晶の安定性という考え方をを用いて考察できる。	・イオン結晶の単位格子モデルについて、それらの構造の類似点と相違点について観察し、その結果と意味についての的確に表現できる。	・イオン結晶の単位格子の構造と種類について理解・習得し、その安定性についても基本的な知識を身に付けている。			
	4節 そのほかの結晶と非晶質 ・共有結合の結晶や分子結晶の構造・種類 ・アモルファス	2	・共有結合の結晶や分子結晶の構造・種類、さらには非晶質について関心を持ち、その他の結晶との類似点や相違点についても意欲的に探究しようとする。	・共有結合の結晶・分子結晶・非晶質について、その他の結晶構造に関する考え方もとに考察できる。	・共有結合の結晶、分子結晶の単位格子モデルについて、それらの構造の類似点と相違点について観察し、その結果と意味についての的確に表現できる。	・共有結合の結晶・分子結晶・非晶質の構造について理解・習得し、それらの特性についても基本的な知識を身に付けている。			
12	2編 化学反応とエネルギー 1章 化学反応と熱・光	1節 反応熱と熱化学方程式 ・発熱反応と吸熱反応 ・熱化学方程式のつくり方	2	・化学反応に伴う熱・光の生成について関心を持ち、熱の発生・吸収やその表し方、反応熱の種類等について意欲的に探究しようとする。	・熱化学方程式が示す化学反応と反応熱の考え方をもち、エネルギーとしてのいろいろな反応熱に関して状態変化も含み考察できる。	・具体的な発熱反応と吸熱反応の温度変化を調べることで、「化学カイロ」や「冷却パック」のしくみを考察できる。	・反応熱を正確に表現できる熱化学方程式について理解・習得し、いろいろな反応熱について正しく表現できる基本的な知識を身に付けている。	ワークシート 実験技能 後期中間考査 ②	
		2節 ヘスの法則 ・ヘスの法則 ・いろいろな反応熱 ・結合エネルギー	5	・反応熱と反応経路の関係に関心を持ち、ヘスの法則や生成熱・結合エネルギーと反応熱の量的関係について意欲的に探究しようとする。	・生成熱や結合エネルギーという概念をもとに、反応経路と反応熱の関係をヘスの法則を用いて考察できる。	・ヘスの法則を検証することで、観察・実験を通して正確に測定できる技能を身に付け、その考察結果を的確に表現できる。	・ヘスの法則の意味するところを理解・習得し、その応用としての生成熱や結合エネルギーの扱い方について基本的な知識を身に付けている。		
		3節 光とエネルギー ・光化学反応 ・化学発光	2	・光化学反応と化学発光に興味を持ち、日常生活で利用されている現象と関連付けようとする。	・化学反応には光エネルギーを吸収して進む反応があることを理解できる。		・化学反応における熱および光の発生や吸収は、反応前後における化学エネルギーの差から生じることを理解している。		

「化学」学習内容と評価の年間計画

実施月	単元名 単元の目標	学習内容	配当 時間	具体的評価規準				評価方法	
				関心・意欲・態度	思考・判断・表現	観察・実験の技能	知識・理解		
1	3編 化学反応の速さと平衡 1章 化学反応の速さ	1節 反応の速さ ・速い反応と遅い反応 ・反応の速さの表し方	3	・化学反応の速さとその決定要因について関心をもつ。	・化学反応の速さの違いについて理解できる。		・化学反応速度の意味と表現方法を理解している。		
		2節 反応速度を変える条件 ・反応速度と濃度、温度、触媒 ・反応速度を変えるほかの要因	4	・化学反応の速さの表し方や濃度・温度・触媒の作用について意欲的に探究しようとする。	・化学反応の速さに与える濃度・温度・触媒・固体の表面積・光の作用の影響について、反応速度式や反応速度定数等の考え方や実験データをもとに考察できる。	・過酸化水素水の分解反応による酸素発生量を測定し、その反応速度を算出するとともに、その結果を考察し的確に表現できる。	・化学反応速度の濃度・温度・触媒・固体表面積等の影響を理解・習得し、具体的な反応についてあてはめる基本的な知識を身に付けている。		
		3節 反応のしくみ ・粒子の衝突 ・活性化エネルギー	3	・化学反応のしくみについて関心をもち、衝突頻度、活性化エネルギーと触媒の関係について意欲的に探究しようとする。	・触媒の作用を含む化学反応のしくみについて、反応速度・活性化エネルギー等の考え方をういて考察できる。	・反応速度と温度の関係を調べるために、濃度を一定にして反応温度を変化させて反応速度を測定し、反応速度式とを関連付けて速度定数について考察できる。	・触媒を加えると活性化エネルギーは変化するが、反応熱は変化しないことを理解している。		
		2章 化学平衡	1節 可逆反応と化学平衡 ・可逆反応と不可逆反応 ・化学平衡 ・平衡定数	4	・可逆反応と不可逆反応、化学平衡について関心をもち、その意味や平衡状態の表し方について意欲的に探究しようとする。	・固体の関与する反応を含む可逆反応の化学平衡状態を正逆反応の速度が等しいこと及び平衡定数を用いて考察できる。	・平衡移動に与える濃度・温度の影響を調べる実験を通じてルシャトリエの原理を検証するとともに、その結果を考察し的確に表現できる。		・可逆反応における化学平衡の意味、固体反応を含む平衡定数を理解・習得し、具体的な反応についてあてはめる基本的な知識を身に付けている。
			2節 平衡の移動 ・ルシャトリエの原理 ・濃度、圧力、温度、触媒の影響 ・化学工業への応用	5	・化学平衡の移動とその原理や工業的応用について関心をもち、濃度・圧力・温度・触媒の影響やアンモニア合成について意欲的に探究しようとする。	・ルシャトリエの原理を用いて、濃度・圧力・温度の変化及び触媒の有無による平衡移動の方向を考察し、その応用としてのアンモニアの工業的製法の条件を考察できる。	・2種類の錯イオン間の可逆反応について、温度変化による平衡移動を観察することで、正反応の発熱・吸熱をルシャトリエの原理を用いて考察し的確に表現できる。		・ルシャトリエの原理とその工業的応用としてのアンモニア合成について理解・習得し、個々の具体的な反応にあてはめる基本的な知識を身に付けている。
2	3章 水溶液中の化学平衡	1節 電離平衡 ・平衡定数 ・水の電離平衡とpH	4	・弱酸・弱塩基の電離平衡、水の電離平衡と水溶液のpHについて関心をもち、その意味や平衡状態の表し方について意欲的に探究しようとする。	・弱酸・弱塩基の電離平衡や水溶液のpH等を電離平衡定数と電離度の関係、水のイオン積を用いて考察できる。	・酢酸の電離平衡定数の測定、緩衝作用の確認、弱酸・弱塩基の滴定曲線の作成を通じて、水溶液中の化学平衡について調べ、その結果を考察し的確に表現できる。	・弱酸・弱塩基の電離平衡と電離度、水のイオン積と水溶液のpH等を理解・習得し、具体的な水溶液についてあてはめる基本的な知識を身に付けている。	ワークシート 実験技能 後期末考査	
		2節 塩の水への溶解 ・塩の加水分解 ・緩衝液とpH ・溶解平衡	3	・塩の加水分解、緩衝液とpH、難溶性塩の溶解平衡について関心をもち、各種平衡定数の関係や溶解度積について意欲的に探究しようとする。	・塩の加水分解、緩衝作用、難溶性塩の溶解平衡等について平衡定数・溶解度積・ルシャトリエの原理と共通イオン効果等の考え方をういて説明できる。	・緩衝液を作製してそのpH変化に関する性質を純水と比較することで、緩衝作用を理解し、その結果を考察し的確に表現できる。	・塩の加水分解、緩衝作用とpH変動、難溶性塩の溶解平衡について理解・習得し、平衡移動・溶解度積・共通イオン効果等の考え方を身に付けている。		
		4編 無機物質 1章 周期表と元素	1節 周期表と元素 ・周期表と元素の分類	1	・無機物質に関する基本的な概念や法則を意欲的に探究しようとする。	・非金属元素の性質や反応などについて、周期表と関連づけて考察できる。			・典型元素と遷移元素の特徴を正確に把握できている。
3	2章 非金属元素の単体と化合物	1節 水素と希ガス（貴ガス） ・水素と希ガス（貴ガス）	1	・水素と希ガス（貴ガス）とその化合物に関する性質や反応に関心をもつ。	・金属と酸の反応により発生する水素ガスの量的関係を求めることができる。	・無機物質の性質や反応について、観察、実験の基本的操作や記録の仕方を習得するとともに、実験器具の選定や扱い方が身に付いている。	・水素ガスや希ガスの性質を理解している。		
		2節 ハロゲンとその化合物 ・ハロゲンとその化合物	3	・ハロゲンとその化合物に関する性質や反応に関心をもつ。	・ハロゲンの単体の1つである塩素の発生法を説明できる。	・単体や無機化合物の性質や反応に関する観察、実験を行い、その基本的操作や記録の仕方を習得している。	・ハロゲンとその化合物の性質や製法について理解している。		
		3節 酸素・硫黄とその化合物 ・酸素・硫黄とその化合物	2	・酸素・硫黄とその化合物に関する性質や反応に関心をもつ。	・周期表16族の非金属元素の単体及び、その化合物の性質を考察することができる。	・単体や無機化合物に関する観察、実験の過程や結果から導き出した自らの考えを的確に表現できる。	・酸素、硫黄とその化合物の性質や製法について理解している。		
		4節 窒素・リンとその化合物 ・窒素・リンとその化合物	2	・窒素・リンとその化合物に関する性質や反応に関心をもつ。	・周期表15族の非金属元素の単体及び、その化合物の性質を考察することができる。		・窒素、リンとその化合物の性質や製法について理解している。		
		5節 炭素・ケイ素とその化合物 ・炭素・ケイ素とその化合物	2	・炭素・ケイ素とその化合物に関する性質や反応に関心をもつ。	・周期表14族の非金属元素の単体及び、その化合物の性質を考察することができる。		・炭素、ケイ素とその化合物の性質や製法について理解している。		
3	3章 典型金属元素の単体と化合物	1節 アルカリ金属とその化合物 ・アルカリ金属とその化合物	2	・アルカリ金属とその化合物に関する性質や反応に関する事物・現象に関心をもつ。	・アルカリ金属とその化合物の性質を考察することができる。	・単体や無機化合物の性質や反応に関する観察、実験を行い、その基本的操作や記録の仕方を習得している。	・アルカリ金属とその化合物について理解している。		
		2節 2族元素とその化合物 ・2族元素とその化合物	3	・2族の元素とその化合物に関する性質や反応に関する事物・現象に関心をもつ。	・2族の元素とその化合物の性質を考察することができる。	・単体や無機化合物に関する観察、実験の過程や結果から導き出した自らの考えを的確に表現できる。	・2族の元素とその化合物について理解している。		
		3節 1、2族以外の典型金属元素とその化合物 ・1、2族以外の典型金属元素とその化合物	3	・1、2族以外の典型金属とその化合物に関する性質や反応に関する事物・現象に関心をもつ。	・1、2族以外の典型金属とその化合物の性質を考察することができる。		・1、2族以外の典型金属とその化合物について理解している。		
		4章 遷移元素の単体と化合物	1節 遷移元素とその化合物 ・遷移金属とその化合物	3	・遷移元素とその化合物に関する性質や反応に関する事物・現象に関心をもつ。	・遷移元素とその化合物の性質を考察することができる。	・金属イオンの性質を利用して、金属イオンを系統的に分離する実験を行い、自らの考えを的確に表現できる。	・遷移元素とその化合物について理解している。	
		2節 金属イオンの分離・確認 ・金属イオンの系統分離と確認	2						
	5章 無機物質と人間生活	1節 金属 ・金属の分類と製錬	2	・単体や無機化合物と日常生活や社会との関連について関心をもち、人間生活との関わりについて意欲的に探究しようとする。	・単体や無機化合物が人間生活にどのように関わっているかを科学的に考察できる。		・単体や無機化合物について、人間生活と関連付けて理解し、知識を身に付けている。		
		2節 セラミックス ・セラミックス	1						

令和2年度 理科 指導と評価の年間計画

学校名 福井県立高志高等学校

科目名	学科名	対象学年	単位数
生物	普通科（高入生）理系	2年	3
教科書（出版社・タイトル）		補助教材等	
東京書籍 「改訂 生物」（306）		実教出版 「サイエンスビュー 生物総合資料」 第一学習社 「セミナー生物基礎・生物」	

科目の目標	生物や生命現象について、自然に対する関心や探究心を高め、生物学的に探求する能力と態度を育てるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則の系統的な理解を深め、科学的な自然観を育成する。		
評価の観点および評価規準			
関心・意欲・態度	思考・判断・表現	観察・実験の技能	23
生物や生物現象について関心を持ち、意欲的に探求しようとするとともに、生物学的に探究する考え方を身につけている。	生物や生物現象を分子レベルでとらえ、事象を科学的に考察し、導き出した考え方を的確に表現している。	生物や生物現象に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を生物学的に探求する技能を身につけている。	生物や生物現象について、広く概念や原理・法則を理解し、科学的な思考や判断を行える知識を身につけている。

「生物」(2年) 学習内容と評価の年間計画

福井県立高志高等学校・普通科理系

実施月	単元名 単元の目標	学習内容	配当 時間	具体的評価規準				評価方法
				関心・意欲・態度	思考・判断・表現	観察・実験の技能	知識・理解	
4	1編 生命現象と物質 1章 生体物質と細胞 ◎生体の体をつくる細胞 ◎細胞の構造 ◎真核細胞の構造とはたらき	まず、細胞を構成する物質について学習する。特に、タンパク質については、基本的な構造を学習したうえで、酵素など、その立体構造と生命活動において果たすはたらきとの関連を理解させる。次に、細胞小器官など、細胞の内部構造とそのはたらきについて学習する。生体膜や細胞骨格については、その構造や機能を学習する。これらの学習を通じて、細胞活動においてさまざまなタンパク質がさまざまな生命現象を支えていることを理解する。	5	さまざまな顕微鏡に関心や探究心を持ち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。	半透性と浸透圧について問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	細胞の観察実験を通して、顕微鏡の使い方やスケッチの方法などの基本操作を習得するとともに、観察過程や結果を的確に記録、整理し、細胞の構造上の違いを科学的に探究する技能を身に付けている。	さまざまな顕微鏡について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。	内容演習による取組評価
4・5	2章 タンパク質の構造と酵素 ◎タンパク質の構造 ◎酵素としてはたらくタンパク質		6	パーマメントウェーブのしくみに関心や探究心を持ち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。	・酵素がはたらくことで反応が進みやすくなるのはなぜかについて問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。 ・競争的阻害について問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	カタラーゼの実験を通して、基本操作を習得するとともに、観察過程や結果を的確に記録、整理し、カタラーゼのはたらく条件について、科学的に探究する技能を身に付けている。	・タンパク質の立体構造と病気について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。 ・抗体の多様性はどのようにしてつくられるかについて、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。	内容演習による取組評価 考査問題による理解度・定着度分析
5・6	3章 細胞間の相互作用とタンパク質 ◎輸送にかかわるタンパク質 ◎情報伝達にかかわるタンパク質 ◎免疫にかかわるタンパク質 ◎細胞接着にかかわるタンパク質		8		・カタラーゼのはたらきについて問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。 ・生体内ではたらく酵素について問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。		・超好熱菌と酵素について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。 ・アロステリック酵素によるフィードバック調節について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。	内容演習による取組評価

11	<p>4章 バイオテクノロジー</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎目的の遺伝子を増やす ◎遺伝子の情報を読む ◎遺伝子を細胞に導入する ◎バイオテクノロジーの進展と課題 		5	<ul style="list-style-type: none"> ・制限酵素に関心や探究心をもち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。 ・大腸菌を用いたクローニングに関心や探究心をもち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。 ・遺伝子治療の例に関心や探究心をもち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。 ・光るタンパク質GFPの発見に関心や探究心をもち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・遺伝子操作の始まりの歴史に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。 ・メタゲノム解析の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大腸菌を使った遺伝子組換え実験を通して、基本操作を習得するとともに、実験の過程や結果を的確に記録、整理し、遺伝子組換えの原理について科学的に探究する技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・イヌの大きさを決める遺伝子は？について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。 ・RNAのはたらきを抑えるRNA干渉について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。 	内容演習による取組評価
11・12	<p>3編 生殖と発生</p> <p>1章 生物の有性生殖</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎有性生殖 ◎染色体と遺伝子 ◎減数分裂 ◎減数分裂でもたらされる遺伝的多様性 ◎遺伝子の連鎖と組み替え ◎遺伝現象と関連 	<p>染色体に遺伝子が存在することを学習したうえで、有性生殖では、減数分裂と受精によって多様な遺伝子の組み合わせが生じることを理解させる。次に、動物の配偶子形成・受精と初期発生の過程を学習する。また、細胞の分化や形態形成のしくみについて、誘導現象を中心に理解させる。前後軸形成のしくみと形態形成を調節する遺伝子について学習する。植物の配偶子形成・受精と胚発生の過程を学習し、器官分化における遺伝子のはたらきについて理解する。</p>	8	<ul style="list-style-type: none"> ・配偶子の種類に関心や探究心をもち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。 ・組換えと染色体上の遺伝子の位置に関心や探究心をもち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・染色体地図に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・植物における減数分裂の観察を通して、プレパレート作成などの基本操作を習得するとともに、実験の過程や結果を的確に記録、整理し、減数分裂について科学的に探究する技能を身に付けている。 ・遺伝子が連鎖や独立している場合の遺伝についての計算を通して、コンピュータや表計算ソフトなどの基本操作を習得するとともに、実験の過程や結果を的確に記録、整理し、遺伝子の分離比について科学的に探究する技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・遺伝子が連鎖や独立している場合の遺伝について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。 	<p>内容演習による取組評価</p> <p>考查問題による理解度・定着度分析</p>
12・1	<p>2章 動物の発生</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎動物の配偶子形成 ◎動物の受精 ◎ウニの発生 ◎カエルの発生 		8	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒトの卵形成と受精に関心や探究心をもち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・原基分布図と胚葉の分類に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。 ・脊椎動物の胚葉の分化と器官形成に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ウニの配偶子と受精の観察を通して、プレパレート作成などの基本操作を習得するとともに、実験の過程や結果を的確に記録、整理し、ウニの受精について科学的に探究する技能を身に付けている。 ・ウニの発生実験を通して、実体顕微鏡の使い方などの基本操作を習得するとともに、実験の過程や結果を的確に記録、整理し、ウニの発生過程について科学的に探究する技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・核移植実験とiPS細胞について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。 	内容演習による取組評価

1	<p>3章 動物の発生のしくみ</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎動物の体軸とその決定 ◎肺の細胞の発生運命と原腸形成 ◎胚の細胞の分化と誘導 ◎動物に共通する形づくりのしくみ ◎発生とゲノム 		6	<ul style="list-style-type: none"> ・背側または腹側だけで発現する遺伝子に関心や探究心を持ち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中胚葉誘導にはたらく遺伝子と誘導のしくみに問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・キイロショウジョウバエの胚の観察実験を通して、顕微鏡の使い方などの基本操作を習得するとともに、実験の過程や結果を的確に記録、整理し、胚の形態について科学的に探究する技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・形成体のはたらきを担う遺伝子について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。 ・四肢に決まった指がつくられるしくみについて、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。 	内容演習による取組評価
1・2	<p>4章 植物の発生</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎被子植物の生殖と胚発生 ◎被子植物の器官分化 		5	<ul style="list-style-type: none"> ・胚のうによる花粉管の誘引に関心や探究心を持ち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。 ・裸子植物、シダ植物、コケ植物の生殖と発生に関心や探究心を持ち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。 ・植物研究におけるショウジョウバエ、シロイヌナズナに関心や探究心を持ち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・葉の形態形成における茎頂分裂組織の役割の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・種子植物の胚や種子の形成過程の観察実験を通して、顕微鏡の使い方などの基本操作を習得するとともに、実験の過程や結果を的確に記録、整理し、胚や種子の形成について科学的に探究する技能を身に付けている。 ・八重咲き植物における花の構造とABCモデルの観察実験を通して、基本操作を習得するとともに、実験の過程や結果を的確に記録、整理し、変異の様子について科学的に探究する技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ABCモデルの遺伝子の発現と機能について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。 	<p>内容演習による取組評価</p> <p>考查問題による理解度・定着度分析</p>
2・3	<p>4編 生物の環境応答</p> <p>1章 動物の刺激の受容と反応</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎刺激の受容から反応への情報の流れ ◎神経系を構成する細胞 ◎ニューロンの興奮 ◎興奮の伝導 ◎興奮の伝達 ◎刺激の受容と感覚 ◎視覚器 ◎聴覚器とその他の受容器 ◎中枢神経系での情報処理 ◎効果器と反応 	<ul style="list-style-type: none"> ・動物は、光や音などの刺激を手がかりにして、獲物や外敵の存在などの情報を得ている。情報を処理して正確ですばやい反応を引き起こすしくみについて学習する。 	10	<ul style="list-style-type: none"> ・神経回路のしくみを調べる方法に関心や探究心を持ち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。 ・視覚や聴覚の高度な情報処理に関心や探究心を持ち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。 ・効果器と反応に関心や探究心を持ち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・刺激の強さと感覚ニューロンで伝わる興奮の関係に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。 ・興奮の伝導や伝達に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・反射の観察実験を通して、ビデオカメラやコンピュータなどの基本操作を習得するとともに、実験の過程や結果を的確に記録、整理し、反射のしくみについて科学的に探究する技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・刺激の受容から反応への情報の流れについて、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。 ・視覚の複雑な情報処理について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。 ・聴細胞が音を感じることにについて、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。 ・嗅覚と味覚について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。 ・中枢神経での情報処理について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。 	内容演習による取組評価

令和2年度 保健体育科 指導と評価の年間計画

学校名 福井県立高志高等学校

科目名	学科名	対象学年	単位数
体育	普通科	2年生	2単位
教科書（出版社・タイトル）		補助教材等	
現代高等保健体育（大修館）		ステップアップ高校スポーツ（大修館）	

科目の目標	運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにし、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。		
評価の観点および評価規準			
関心・意欲・態度	思考・判断	運動の技能	23
運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、公正、協力、責任などの態度を身に付けるとともに、健康・安全に留意して自ら運動をしようとする。	生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現を目指して、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫している。また、自己や仲間の状況に応じて体力を高めるための運動を継続するための計画を工夫している。	運動の合理的な実践を通して、運動の特性に応じて勝敗を競ったり、攻防を展開したり、表現したりするための各領域の運動の特性に応じた段階的な技能を身に付けている。	選択した運動の技術（技）の名称や行い方、体力の高め方。課題解決の方法、練習や発表の仕方、スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方についての具体的な方法、スポーツの歴史、文化的特性や現代のスポーツの特徴、運動やスポーツの効果的な学習の仕方及び豊かなスポーツライフの設計の仕方を理解している。

「体 育」 指導と評価の年間計画

学校名・学科・学年 高志高等学校 普通科 第2学年

実施月	領域記号	領域の 時数	領域名 領域の内容 【学習指導要領の内容】	主な学習活動	評価の観点および評価規準				評価方法	その他 留意点等
					関心・意欲・態度	思考・判断	運動の技能	知識・理解		
1 2 3	A	9	<p>「A 体づくり運動」</p> <p>(1) 次の運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさを味わい、健康の保持増進や体力の向上を図り、目的に適した運動の計画や自己の体力や生活に応じた運動の計画を立て、実生活に役立てることができるようにする。</p> <p>ア 体ほぐしの運動では、心と体は互いに影響し変化することに気づき、体の状態に応じて体の調子を整え、仲間と積極的に交流するための手軽な運動や律動的な運動を行うこと。</p> <p>イ 体力を高める運動では、自己のねらいに応じて、健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るための継続的な運動の計画を立て取り組むこと。</p> <p>(2) 体づくり運動に主体的に取り組むと体力などの違いに配慮しようということ、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうということ、合意形成に貢献しようということなどや、健康・安全を確保することができるようにする。</p> <p>(3) 体づくり運動の行い方、体力の構成要素、実生活への取り入れ方などを理解し、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> サーキットトレーニング ウエイトトレーニング シャトルラン 	体力を高める運動に対する関心や意欲を持って互いに協力して運動しようとする。また、健康や安全に留意して運動をしようとする。	自分の体力に応じて、必要な運動を選択し、体力を高めることができる。		体力を高めるための運動の必要性や運動の行い方、心身への効果を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> 出席状況 授業に取り組む態度 仲間との協力状態 チェックテスト 	<p>○体育委員は以下の仕事を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業の1時間前までに担当教員と連絡を取り、内容をクラスの生徒に伝える。 ①活動場所 ②必要な用具の準備 ③貴重品の管理 ・授業時に行うこと ①整列 ②挨拶 ③準備体操（補強運動の指示） ○服装について学校指定の体操服を着用すること（原則）
無し	B	0	<p>「B 器械運動」</p> <p>(1) 次の運動について、技がよりよくできる楽しさや喜びを味わい、自己に適した技を高めて、演技できるようにする。</p> <p>ア マット運動では、回転系や巧技系の基本的な技を滑らかに安定して行うこと、条件を変えた技、発展系を滑らかに行うこと、それらを構成し演技すること。</p> <p>イ 鉄棒運動では、支持系や懸垂系の基本的な技を滑らかに安定して行うこと、条件を変えた技、発展系を滑らかに行うこと、それらを構成し演技すること。</p> <p>ウ 平均台運動では、体操系やバランス系の基本的な技を滑らかに安定して行うこと、条件を変えた技、発展系を滑らかに行うこと、それらを構成し演技すること。</p> <p>エ 跳び箱運動では、切り返し系や回転系の基本的な技を滑らかに安定して行うこと、条件を変えた技、発展系を滑らかに行うこと。</p> <p>(2) 器械運動に主体的に取り組むとともに、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうということ、合意形成に貢献しようということなどや、健康・安全を確保することができるようにする。</p> <p>(3) 技の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、発表の仕方などを理解し、自己の仲間の課題に応じた運動を継続</p>						<p>[冬季服装期間] 4～5月前期中間考査①前 10月～3月 [夏季服装期間] 5月前期中間考査①後～10月まで ※ 気温により期間が変わることがある。 ○ 更衣場所 (原則) 男子・・・教室 女子・・・第1体育館及び第2体育館女子更衣室</p>	
4 5	C	8	<p>「C 陸上競技」</p> <p>(1) 次の運動について、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、各種目特有の技能を高めることができるようにする。</p> <p>ア 競争 短距離走・リレーでは、中間走の高いスピードを維持して速く走ること、長距離走では、ペースの変化に対応するなどして走ること、ハードル走では、スピードを維持した走りからハードルを低くリズムカルに越すこと。</p> <p>イ 跳躍 走り幅跳びでは、スピードに乗った助走と力強い踏み切りから着地までの動きをなめらかにして跳ぶこと、走り高跳びでは、スピードのあるリズムカルな助走から力強く踏み切り、滑らかな空間動作で跳ぶこと、三段跳びでは、短い助走からリズムカルに連続して跳ぶこと。</p> <p>ウ 投てき 砲丸投げでは立ち投げなどから包含を突き出して投げること、やり投げでは、短い助走からやりを前方にまっすぐ投げること。</p> <p>(2) 陸上競技に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようということ、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうということ、合意形成に貢献しようということなどや、健康・安全を確保することができるようにする。</p> <p>(3) 技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解し、自己の仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 長距離走 ペース走 インターバルトレーニング 走幅跳 跳躍トレーニング 	陸上競技の特性に関心をもち、楽しさや喜びを味わえるように進んで取り組もうとする。また、互いに協力して練習や競技をしようとする。勝敗に対して公正な態度をとろうとする。また、練習場の安全や体の調子など、健康・安全に留意して練習や競技をしようとする。	自分の能力に適した課題を持ち、その解決を目指して、練習の仕方や競技の仕方を工夫している。	陸上競技の選択した種目の特性に応じて技能を身につけるとともに、その技能を高め、競技したり記録を高めたりすることができる。	陸上競技の選択した種目の特性や学び方、技能の構造、合理的な練習の仕方などを理解するとともに、競技や審判の方法を理解し、知識を身につけている。	<ul style="list-style-type: none"> 出席状況 授業に取り組む態度 実技テスト ルールテスト（口答） 	
無し	D	0	<p>「D 水泳」</p> <p>(1) 次の運動について、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、各種目特有の技能を高めることができるようにする。</p> <p>ア クロールでは、手と足、呼吸のバランスを保ち、伸びのある動作と安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすること。</p> <p>イ 平泳ぎでは、手と足、呼吸のバランスを保ち、伸びのある動作と安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすること。</p> <p>ウ 背泳ぎでは、手と足、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすること。</p> <p>エ バタフライでは、手と足、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすること。</p> <p>オ 複数の泳法で長く泳ぐこと又はリレーをすること。</p> <p>(2) 水泳に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようということ、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうということ、合意形成に貢献しようということなどや、水泳の事故防止に関する心得など健康・安全を確保することができるようにする。</p> <p>(3) 技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、</p>							

5 6 7 9 10 11 12 1 2 3	E	31	<p>「E 球技」 (1) 次の運動について、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能や仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できるようにする。 ア ゴール型では、状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの連携した動きによって空間への侵入などから攻防を展開する。 イ ネット型では、状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防を展開する。 ウ ベースボール型では、状況に応じたバット操作手と走塁での攻撃、安定したボール操作と状況に応じた守備などによって攻防を展開する。 (2) 球技に主体的に取り組むとともに、フェアプレイを大切にしようとする、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、合意形成に貢献しようとするなどや、健康・安全を確保することができるようにする。 (3) 技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解し、チームや自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○サッカー <ul style="list-style-type: none"> ・基本的技能 キック パス トラップ ドリブル ボールコントロール ・グループ戦術 2対1 2対2 ポジショニング ・簡易ゲーム ○バスケットボール <ul style="list-style-type: none"> ・基本的技能 パス ドリブル シュート ・オフENSE 2対1 3対2 ・ディフェンス マンツーマン ・簡易ゲーム ○バレーボール <ul style="list-style-type: none"> ・基本的技能 パス サーブ レシーブ トス アタック ・簡易ゲーム ○テニス <ul style="list-style-type: none"> ・基本的技能 ストローク ボレー サーブ ・簡易ゲーム ○バドミントン <ul style="list-style-type: none"> ・基本的技能 ストローク サービス ・簡易ゲーム ○卓球 <ul style="list-style-type: none"> ・基本的技能 ツッツキ ドライブ バックショット ・サービス ・簡易ゲーム ○ソフトボール 	22	<p>チームの課題や自分の能力に適した課題の解決を目指して、ルールを工夫したり作戦を立てたりして練習の仕方やゲームの仕方を工夫している。</p>	<p>選択した球技種目の特性に応じた技能を身につけ、作戦を生かした攻防に展開してゲームができる。</p>	<p>選択した球技種目の特性や学び方、技術の構造、合理的な練習の仕方を理解するとともに、競技や審判の方法を理解し、知識を身につけている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・出席状況 ・授業に取り組む態度 ・実技テスト ・ルールテスト（口答）
5 6 7	F	6	23	<ul style="list-style-type: none"> ○柔道 <ul style="list-style-type: none"> ・礼法練習 ・基本動作練習 ・受け身、投げ技、固め技練習 ・連続技練習 ・試合形式練習 ○剣道 <ul style="list-style-type: none"> ・礼法練習 ・基本素振り ・体さばき ・防具着脱 ・基本打突 ・試合形式練習 	<p>武道の特性に関心を持ち、楽しさや喜びが味わえるように進んで取り組もうとする。また、伝統的な行動の仕方に留意して、互いに相手を尊重し、練習や試合をしようとする。</p>	<p>自分の能力に適した技を習得するための練習の仕方や試合の仕方を工夫している。</p>	<p>武道の選択した種目の特性に応じた技能を身につけ、相手の動きに対応した攻防を展開して練習や試合ができる。</p>	<p>武道の選択した種目の特性に応じた技能を身につけ、相手の動きに対応した攻防を展開して練習や試合ができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・出席状況 ・授業に取り組む態度 ・実技テスト ・ルールテスト（口答）
5 6 7	G	6	<p>「G ダンス」 (1) 次の運動について、感じを込めて踊ったり、仲間と自由に踊ったりする楽しさや喜びを味わい、それぞれ特有の表現や踊りを高めて交流や発表ができるようにする。 ア 創作ダンスでは、表したいテーマにふさわしいイメージをとらえ、個や群で対極の動きや空間の使い方を変化を付けて即興的に表現したり、イメージを強調した作品にまとめたりにして踊ること。 イ フォークダンスでは、踊り方の特徴を強調して、音楽に合わせて多様なステップや動きと組み方で仲間と対応して踊る。 ウ 現代的なリズムのダンスでは、リズムの特徴を強調して前進で自由に踊ったり、変化とまとまりを付けて仲間と対応して踊る。 (2) ダンスに主体的に取り組むとともに、互いに共感し高め合おうとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、合意形成に貢献しようとするなどや、健康・安全を確保することができるようにする。 (3) ダンスの名称や用語、文化的背景と表現の仕方、体力の高め方、課題解決の方法、交流や発表の仕方などを理解し、</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ダンスウォーミングアップ ・リズムダンス ・ベアドダンス ・現代的なリズムのダンス ・即興表現 ・創作 	<p>ダンスの特性に関心を持ち、楽しさや喜びを味わえるように進んで取り組もうとする。また、互いのよさを認め合い、協力して練習したり発表したりしようとする。</p>	<p>グループの課題や自分の能力に適した課題の解決を目指して、練習の仕方や発表の仕方を工夫している。</p>	<p>自分の感じ方や工夫を率直に表現し、感じを込めて踊ったり、みんなでかかわりをもって踊ったりすることができる。</p>	<p>ダンスの特性や学び方、歴史を理解するとともに、発表の仕方や鑑賞の仕方を理解し、知識を身につけている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・出席状況 ・授業に取り組む態度 ・演技構成表 ・演技発表内容 ・仲間との協力状況
7 9	H	6	<p>「H 体育理論」 (2) 運動やスポーツの効果的な学習の仕方について理解できるようにする。 ア 運動やスポーツの技術は、学習を通して技能として発揮されるようになること。また、技術の種類に応じた学習の仕方があること。 イ 運動やスポーツの技能の上達過程にはいくつかの段階があり、その学習の段階に応じた練習方法や運動観察の方法、課題の設定方法などがあること。 ウ 運動やスポーツの技能と体力は、相互に関連していること。また、期待するせいかに応じた技能や体力の高め方があること。 エ 運動やスポーツを行う際は、気象条件の変化など様々な危険を予見し、回避することが求められること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> クラス単位の講義形式 プリント学習 視聴覚教材の使用 ディスカッション グループ学習 調べ学習 	<p>運動の特性と学び方、体ほぐし・体力の意義と運動の効果について関心を持ち、運動の実践や生活に生かそうと進んで学習に取り組もうとする。</p>	<p>運動の特性と学び方、体ほぐし・体力の意義と運動の効果について、自分に適した運動の実践的な課題や生活に結びつく課題を設定し、その解決を目指して活動の仕方を考え、工夫している。</p>	<p>運動の特性と学び方、体ほぐし・体力の意義と運動の効果について理解するとともに、運動の生活の中での生かし方や、運動の心身にわたる効果を理解し、知識を身につけている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・出席状況 ・授業への取り組み態度 ・提出物 ・筆記試験 	

「体 育」 指導と評価の年間計画

(年間指導時数 70時間)

学校名・学科・学年 高志高等学校 普通科 第2学年

単元名	単元の目標	主な学習活動	評価の観点および評価規準				評価方法	その他 留意点等
			関心・意欲・態度	思考・判断	運動の技能	知識・理解		
体づくり	自己のねらいに応じて、健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るための継続的な運動の計画を立て取り組むことができるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> サーキットトレーニング ウエイトトレーニング 大縄跳び 	<ul style="list-style-type: none"> 体づくり運動の学習に主体的に取り組もうとしている。 実生活に役立てることができるよう、体力などの違いに配慮しようとしている。 役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとしている。 合意形成に貢献しようとし、互いに助け合い高め合おうとしている。 健康・安全を確保している。 	<ul style="list-style-type: none"> 体ほぐしのねらいや体力を高める運動の考え方を踏まえて、継続しやすい体づくり運動の計画を立てている。 自己や仲間のねらいや体力の程度に応じて、適切な運動の種類、強度、量、頻度を選んでいる。 仲間と学習する場面で、自己や仲間の危険を予測し回避するための活動の仕方を選んでいる。 		<ul style="list-style-type: none"> 体づくり運動の行い方について理解している。 体力の構成要素と、それらが健康に生活するための体力と運動を行うための体力に密接に関係していることについて理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 出席状況 授業に取り組む態度 仲間との協力状況 チェックテスト 	<ul style="list-style-type: none"> ○体育委員は以下の仕事を行う。 ・授業の1時間前までに担当教員と連絡を取り、内容をクラスの生徒に伝える。 ①活動場所 ②必要な用具の準備 ③貴重品の管理 ・授業時に行うこと ①整列 ②挨拶 ③準備体操（補強運動の指示） ○服装について 学校指定の体操服を着用すること（原則） [冬季服装期間] 4～5月前期中間考査 ①前 10月～3月 [夏季服装期間] 5月前期中間考査①後 ～10月まで ※気温により期間が変わることがある。 ○更衣場所（原則） 男子・・・教室 女子・・・第1体育館 女子更衣室
陸上	記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わいながら、ペースの変化に対応するなどして走ることができるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> 長距離走 ・ペース走 ・インターバルトレーニング 走幅跳 ・跳躍トレーニング 	<ul style="list-style-type: none"> 陸上競技の学習に主体的に取り組もうとしている。 ・勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとしている。 ・役割を積極的に引き受け事故の責任を果たそうとしている。 ・合意形成に貢献しようとしている。 ・互いに助け合い高め合おうとしている。 ・健康・安全を確保している。 	<ul style="list-style-type: none"> 自己や仲間の挑戦する課題を設定している。 ・課題解決の過程を踏まえて、自己や仲間の課題を見直している。 ・グループで活動する場面で、状況に応じた自己や仲間の役割を見つけている。 ・練習や競技の場面で、自己や仲間の危険を回避するための活動の仕方を選んでいる。 ・陸上競技を生涯にわたって楽しむための自己に適した関わり方を見つけている。 	ペースの変化に対応するなどして走ることができる。	陸上競技の特性を理解し、速く走るために必要な要素や技術を身につけている。	<ul style="list-style-type: none"> 出席状況 授業に取り組む態度 実技テスト ルールテスト（口答） 	
ダンス	現代的なリズムの特徴を強調して全身で自由に踊ったり、変化とまとまりのある動きを工夫して発表し合ったりすることができるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ダンスウォーミングアップ ・リズムダンス ・ペアダンス ・現代的なリズムのダンス ・即興表現 ・創作 	<ul style="list-style-type: none"> ダンスの特性に関心を持ち、楽しさや喜びを味わえるよう互いに協力して進んで練習や発表交流会に取り組もうとしている。 ・お互いのよさを認め合い、協力して練習や発表をしようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 自己の能力やグループの特性に応じた技能を習得するための課題を設定し、その解決を目指して、練習の仕方や作品の構成、発表会の仕方を工夫している。 	リズムの特徴を強調して全身で自由に踊ったり、変化とまとまりをつけて仲間と対応したりして踊るための動きができる。	ダンスの特性やリズムの取り方・動き方を理解するとともに、その特徴を生かした作品の構成・動きのまとめ方を知っている。	<ul style="list-style-type: none"> 出席状況 授業に取り組む態度 演技構成表 演技発表内容 仲間との協力状況 	
柔道	相手の多様な動きに応じた基本動作から、得意技や連絡技・変化技を用いて、素早く相手を崩して投げたり、抑えたり、返したりするなどの攻防が展開することができるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> 礼法練習 ・基本動作練習 ・受け身、投げ技、固め技練習 ・連続技練習 ・試合形式練習 	<ul style="list-style-type: none"> 柔道の学習に主体的に取り組もうとしている。 ・相手を尊重し、礼法などの伝統的な行動の仕方を大切にしようとしている。 ・互いに助け合い高め合おうとしている。 ・健康・安全を確保している。 	<ul style="list-style-type: none"> 自己の能力に応じた技を習得するための課題を設定し、その解決を目指して、練習の仕方や試合の仕方を工夫している。 ・練習や試合の場面で、事故や仲間の危険を回避するための活動の仕方を選んでいる。 	素早く相手を崩して投げたり、抑えたり、返したりするなどの攻防を展開するための相手の多様な動きに応じた基本動作から、得意技や連絡技・変化技のいずれかができる。	<ul style="list-style-type: none"> 柔道の特性や学び方、技術の系統性・構造、合理的な練習の仕方を理解する。 ・試合や審判の方法を理解し、知識を身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> 出席状況 授業に取り組む態度 実技テスト ルールテスト（口答） 	

剣道	相手の多様な動きに応じた基本動作から、得意技を用いて、相手の構えを崩し、素早くしかけたり応じたりするなどの攻防が展開することができるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・礼法練習 ・基本素振り ・体さばき ・防具着脱 ・基本打突 ・試合形式練習 	<ul style="list-style-type: none"> ・剣道の学習に主体的に取り組もうとしている。 ・相手を尊重し、礼法などの伝統的な行動の仕方を大切にしようとしている。 ・互いに助け合い高め合おうとしている。 ・健康・安全を確保している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己の能力に応じた技を習得するための課題を設定し、その解決を目指して、練習の仕方や試合の仕方を工夫している。 ・練習や試合の場面で、事故や仲間の危険を回避するための活動の仕方を選んでいる。 	相手の構えを崩し、素早くしかけたり応じたりするなどの攻防を展開するための相手の多様な動きに応じた基本動作から、得意技ができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・剣道の特性や学び方、技術の系統性・構造、合理的な練習の仕方を理解する。 ・試合や審判の方法を理解し、知識を身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・出席状況 ・授業に取り組む態度 ・実技テスト ・ルールテスト（口答）
サッカー	状況に応じたボール操作や仲間との連携した動きから空間へ侵入するなど、攻防が展開してゲームができるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的技能 キック パス トラップ ドリブル ボールコントロール ・グループ戦術 2対1 2対2 ポジショニング ・簡易ゲーム 	<ul style="list-style-type: none"> ・サッカーの特性に関心を持ち、楽しさや喜びを味わえるように進んで取り組もうとしている。 ・練習やゲームで、チームにおける自己の役割を果たし、協力して教え合ったり励まし合ったりしようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループや自己の課題を解決するための適切な練習や方法などを選んだり、見つけたりしている。 ・健康や安全を確保・維持するために、自己や仲間の体調に応じた活動の仕方を選んでいる。 ・作戦などの話し合いの場面で、合意を形成するための調整の仕方を見つけている。 	22	サッカーの特性に応じた技術の構造や技能を高めるための効果的な練習の仕方、ルール、審判の仕方を理解し、知識を身につけている。	<ul style="list-style-type: none"> ・出席状況 ・授業に取り組む態度 ・実技テスト ・ルールテスト（口答）
バスケットボール	状況に応じたボール操作や仲間との連携した動きから空間へ侵入するなど、攻防が展開してゲームができるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的技能 パス ドリブル シュート ・オフェンス 2対1 3対2 ・ディフェンス マンツーマン ・簡易ゲーム 	23	<ul style="list-style-type: none"> ・グループや自己の課題を解決するための適切な練習や方法などを選んだり、見つけたりしている。 ・健康や安全を確保・維持するために、自己や仲間の体調に応じた活動の仕方を選んでいる。 ・作戦などの話し合いの場面で、合意を形成するための調整の仕方を見つけている。 	空間（スペース）への侵入などから攻防を展開するための状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きができる。	バスケットボールの特性に応じた技術の構造や技能を高めるための効果的な練習の仕方、ルール、審判の仕方を理解し、知識を身につけている。	<ul style="list-style-type: none"> ・出席状況 ・授業に取り組む態度 ・実技テスト ・ルールテスト（口答）
バレーボール	チームの課題や自己の能力に応じてバレーボールの技能を高め、作戦を生かした攻防を展開してゲームができるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的技能 パス（個人・対人） サーブ レシーブ トス アタック ・簡易ゲーム 	<ul style="list-style-type: none"> ・バレーボールの特性に関心を持ち、楽しさや喜びを味わえるように進んで取り組もうとしている。 ・練習やゲームで、チームにおける自己の役割を果たし、協力して教え合ったり励まし合ったりしようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループや自己の課題を解決するための適切な練習や方法などを選んだり、見つけたりしている。 ・健康や安全を確保・維持するために、自己や仲間の体調に応じた活動の仕方を選んでいる。 ・作戦などの話し合いの場面で、合意を形成するための調整の仕方を見つけている。 	攻防を展開するための状況に応じたボール操作や、連携した動きができる。	バレーボールの特性に応じた技術の構造や技能を高めるための効果的な練習の仕方、ルール、審判の仕方を理解し、知識を身につけている。	<ul style="list-style-type: none"> ・出席状況 ・授業に取り組む態度 ・実技テスト ・ルールテスト（口答）
テニス	ペアの課題や自己の能力に応じてテニスの技能を高め、作戦を生かした攻防を展開してゲームができるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的技能 ストローク フォアハンド バックハンド ボレー サーブ ・簡易ゲーム 	<ul style="list-style-type: none"> ・テニスの特性に関心を持ち、楽しさや喜びを味わえるように進んで取り組もうとしている。 ・練習やゲームで、ペアにおける自己の役割を果たし、協力して教え合ったり励まし合ったりしようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアや自己の課題を解決するための適切な練習や方法などを選んだり、見つけたりしている。 ・健康や安全を確保・維持するために、自己や仲間の体調に応じた活動の仕方を選んでいる。 ・作戦などの話し合いの場面で、合意を形成するための調整の仕方を見つけている。 	自己の能力やペアの課題に応じて、テニスの特性に応じた技能を身につけ、作戦を生かした攻防を展開してゲームができる。	テニスの特性に応じた技術の構造や技能を高めるための効果的な練習の仕方、ルール、審判の仕方を理解し、知識を身につけている。	<ul style="list-style-type: none"> ・出席状況 ・授業に取り組む態度 ・実技テスト ・ルールテスト（口答）

バドミントン	ペアの課題や自己の能力に応じてバドミントンの技能を高め、作戦を生かした攻防を展開してゲームができるようになる。	<ul style="list-style-type: none"> 基本的技能 ストローク オーバーヘッド サイドアーム アンダーハンド サービス ロングサービス ショートサービス 簡易ゲーム 	<ul style="list-style-type: none"> バドミントンの特性に関心を持ち、楽しさや喜びを味わえるように進んで取り組もうとしている。 練習やゲームで、ペアにおける自己の役割を果たし、協力して教え合ったり励まし合ったりしようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ペアや自己の課題を解決するための適切な練習や方法などを選んだり、見つけたりしている。 健康や安全を確保・維持するために、自己や仲間の体調に応じた活動の仕方を選んでいる。 作戦などの話し合いの場面で、合意を形成するための調整の仕方を見つけている。 	自己の能力やペアの課題に応じて、バドミントンの特性に応じた技能を身につけて、作戦を生かした攻防を展開してゲームができる。	バドミントンの特性に応じた技術の構造や技能を高めるための効果的な練習の仕方、ルール、審判の仕方を理解し、知識を身につけている。	<ul style="list-style-type: none"> 出席状況 授業に取り組む態度 実技テスト ルールテスト(口答)
卓球	ペアの課題や自己の能力に応じて卓球の技能を高め、作戦を生かした攻防を展開してゲームができるようになる。	<ul style="list-style-type: none"> 基本的技能 ツッツキ ドライブ スマッシュ バックショート サービス 簡易ゲーム 	<ul style="list-style-type: none"> 卓球の特性に関心を持ち、楽しさや喜びを味わえるように進んで取り組もうとしている。 練習やゲームで、ペアにおける自己の役割を果たし、協力して教え合ったり励まし合ったりしようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ペアや自己の課題を解決するための適切な練習や方法などを選んだり、見つけたりしている。 健康や安全を確保・維持するために、自己や仲間の体調に応じた活動の仕方を選んでいる。 作戦などの話し合いの場面で、合意を形成するための調整の仕方を見つけている。 	自己の能力やペアの課題に応じて、卓球の特性に応じた技能を身につけて、ゲームができる。	卓球の特性に応じた技術の構造や技能を高めるための効果的な練習の仕方、ルール、審判の仕方を理解し、知識を身につけている。	<ul style="list-style-type: none"> 出席状況 授業に取り組む態度 実技テスト ルールテスト(口答)
ソフトボール	チームの課題や自己の能力に応じてソフトボールの技能を高め、作戦を生かした攻防を展開してゲームができるようになる。	<ul style="list-style-type: none"> 基本的技能 打撃 バットの握り方 構え方 素振り フリー打撃 守備 ボールの握り方 投げ方 捕球姿勢 送球連取 ノック 投球練習 簡易ゲーム 	<ul style="list-style-type: none"> ソフトボールの特性に関心を持ち、楽しさや喜びを味わえるように進んで取り組もうとしている。 練習やゲームで、チームにおける自己の役割を果たし、協力して教え合ったり励まし合ったりしようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> グループや自己の課題を解決するための適切な練習や方法などを選んだり、見つけたりしている。 健康や安全を確保・維持するために、自己や仲間の体調に応じた活動の仕方を選んでいる。 作戦などの話し合いの場面で、合意を形成するための調整の仕方を見つけている。 	攻防を展開するための状況に応じたバット操作と走塁での攻撃、安定したボール操作と状況に応じた守備などの動きができる。	ソフトボールの特性に応じた技術の構造や技能を高めるための効果的な練習の仕方、ルール、審判の仕方を理解し、知識を身につけている。	<ul style="list-style-type: none"> 出席状況 授業に取り組む態度 実技テスト ルールテスト(口答)
体育理論	運動やスポーツの効果的な学習の仕方について理解できるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> クラス単位の講義形式 プリント学習 視聴覚教材の使用 ディスカッション グループ学習 調べ学習 	<ul style="list-style-type: none"> 運動やスポーツの効果的な学習の仕方や豊かなスポーツライフの設計の仕方について、学習に主体的に取り組もうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 運動やスポーツの効果的な学習の仕方や豊かなスポーツライフの設計の仕方について、比較したり、分析したり、まとめたりするなどして、判断し説明している。 		<ul style="list-style-type: none"> 運動やスポーツの技術と技能について、その上達過程や体力の関係について、また運動やスポーツの活動時の健康・安全の確保の仕方について、理解したことを言ったり書き出したりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 出席状況 授業に取り組む態度 筆記試験

令和2年度 保健体育科 指導と評価の年間計画

学校名 福井県立高志高等学校

科目名	学科名	対象学年	単位数
保健	普通科	2年生	1
教科書（出版社・タイトル）		補助教材等	
現代高等保健体育（大修館）		現代保健ノート（大修館）	

科目の目標	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。
-------	---

評価の観点および評価規準	関心・意欲・態度	思考・判断	23
	生涯を通じる健康について、生涯の各段階における健康課題への自らの適切な対応及び我が国の保健・医療制度や機関の適切な活用が重要であることに関心をもち、学習活動に取り組もうとしている。 社会生活と健康について、社会生活における健康の保持増進には、環境と健康、環境と食品の保健、労働と健康に関する活動や対策が重要であることに関心をもち、学習活動に意欲的に取り組もうとしている。	生涯を通じる健康について、生涯の各段階における健康課題の解決を目指して、知識を活用した学習活動などにより、総合的に考え、判断し、それらを表している。 社会生活と健康について、社会生活における健康の保持増進に関わる課題の解決を目指して、知識を活用した学習活動などにより、総合的に考え、判断し、それらを表している。	生涯を通じる健康について、生涯の各段階における健康課題の解決に役立つ自らの適切な対応及び我が国の保健・医療制度や機関の適切な活用のための基礎的な事項を理解している。 社会生活と健康について、社会生活における健康の保持増進に関する課題の解決に役立つ環境と健康、環境と食品の保健、労働と健康に関する活動や対策についての基礎的な事項を理解している。

「保健」 指導と評価の年間計画

学校名・学科・学年

高志高等学校 普通科 第2学年

実施月	単元の時数	単元名	単元の目標	主な学習活動	評価の観点および評価規準			評価方法	その他留意点等	
					関心・意欲・態度	思考・判断	知識・理解			
4・5・6	11	生涯を通じる健康	生涯の各段階において健康についての課題があり、自らこれに適切に対応する必要があること及び我が国の保健・医療制度や機関を適切に活用することが重要であることについて理解できるようにする。	ア 生涯の各段階における健康 生涯にわたって健康を保持増進するには、生涯の各段階の健康に応じた自己の健康管理及び環境づくりがかかわっていること。 生涯の各段階における健康課題には様々なものがあることを理解し、将来の自分あるいは家族に対して適切に対処できるようにする。また、それらの健康課題について他の生徒と意見交換を行い、多様な考えに触れる。	1. 思春期と健康 2. 性意識と性行動の選択 3. 結婚生活と健康 4. 妊娠・出産と健康 5. 家族計画と人工妊娠中絶 6. 加齢と健康 7. 高齢者のための社会的取り組み	・思春期と健康、結婚生活と健康について、課題の解決に向けての話し合いや意見交換などの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。 ・加齢と健康について、資料を探したり、見たり、読んだりするなどの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。	・思春期と健康、結婚生活と健康について、学習したことを、個人及び社会生活や事例などと比較したり、分類したり、分析したりするなどしている。また、筋道を立ててそれらを説明している。 ・加齢と健康について、資料等で調べたことを基に課題を見つけたりと、整理したりするなどして、それらを説明している。	・生涯にわたって健康を保持増進するには、生涯の各段階の健康課題に応じた自己の健康管理及び環境づくりが関わっていることについて、理解したことを発言したり、記述したりしている。	学習活動への取り組みの様子 定期考査 ワークシート 提出物	積極的に生徒の意見交換の場を設けたり、DVDを視聴したりして、生徒の興味・関心を刺激し、生活に役立つ知識の習得や実践力を養うことができるようにする。
7・9	5		イ 保健・医療制度及び地域の保健・医療機関 生涯を通じて健康の保持増進するには、保健・医療制度や地域の保健所、保健センター、医療機関などを適切に活用することが重要であること。また、医薬品は、有効性及び安全性が審査されており、販売には制限があること。疾病からの回復や悪化の防止には、医薬品を正しく使用することが有効であること。	8. 保険制度とその活用 9. 医療制度とその活用 10. 医薬品と健康	我が国の保健・医療制度を理解し、広報誌や保健センターのパンフレットなど、自分の生活圏の保健行政や保健サービスについて知り、今後の生活の中で有効に活用できるようにする。また、医薬品の使用について、意見交換を行う。	・我が国の保健・医療制度について、関連する資料を探したり、見たり、読んだりするなどの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。 ・地域の保健・医療機関の活用について、課題の解決に向けての話し合いや意見交換などの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。	・我が国の保健・医療制度について、資料等で調べたことを基に、課題を見つけたりと、解決の方法を整理したりするなどして、それらを説明している。 ・地域の保健・医療機関の活用について、学習したことを、個人及び社会生活と比較したり、分析したり、計画を立てたりするなどしている。また、筋道を立ててそれらを説明している。	・生涯を通じて健康の保持増進するには、保健・医療制度や地域の保健所、保健センター、医療機関などを適切に活用することが重要であること、医薬品は、有効性及び安全性が審査されており、販売には制限があること、疾病からの回復や悪化の防止には、医薬品を正しく使用することが有効であることについて、理解したことを発言したり、記述したりしている。	学習活動への取り組みの様子 定期考査 ワークシート 提出物	積極的に生徒の意見交換の場を設けたり、DVDを視聴したりして、生徒の興味・関心を刺激し、生活に役立つ知識の習得や実践力を養うことができるようにする。
9	2		ウ 様々な保健活動や対策 我が国や世界では、健康課題に対応して様々な保健活動や対策などが行われていること。	11. さまざまな保健活動や対策 健康づくりのための様々な活動、民間機関や国際機関などの保健活動について学び、国によって健康課題が異なることや、ヘルスプロモーションの考え方にもとづいた活動や対策について理解を深める。	・様々な保健活動や対策について、課題の解決に向けての話し合いや意見交換をするなどの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。	・様々な保健活動や対策について、学習したことを、個人及び社会生活と比較するなどしている。	我が国や世界では、健康課題に対応して様々な保健活動や対策などが行われていることについて、理解したことを発言したり、記述したりしている。	学習活動への取り組みの様子 定期考査 ワークシート 提出物	積極的に生徒の意見交換の場を設けたり、DVDを視聴したりして、生徒の興味・関心を刺激し、生活に役立つ知識の習得や実践力を養うことができるようにする。	
10・11	7	社会生活と健康	社会生活における健康の保持増進には、環境や食品、労働などが深くかかわっていることから、環境と健康、環境と食品の保健、労働と健康にかかわる活動や対策が重要であることについて理解できるようにする。	ア 環境と健康 人間の生活や産業活動は、自然環境を汚染し健康に影響を及ぼすこともあること。それらを防ぐには、汚染の防止及び改善の対策をとる必要があること。	1. 大気汚染と健康 2. 水質汚濁・土壌汚染と健康 3. 健康被害の防止と環境対策	・環境の汚染と健康について、資料を探したり、見たり、読んだりするなどの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。 ・環境と健康に関わる対策について、課題の解決に向けての話し合いや意見交換などの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。	・環境の汚染と健康について、資料等で調べたことを基に、課題を見つけたりと、解決の方法を整理したりするなどして、それらを説明している。 ・環境と健康にかかわる対策について、学習したことを、個人及び社会生活と比較したり、分類したり、分析したり計画を立てたりするなどしている。また、筋道を立ててそれらを説明している。	・人間の生活や産業活動は、自然環境を汚染し健康に影響を及ぼすこともあること、それらを防ぐには、汚染の防止及び改善の対策をとる必要があることについて、理解したことを発言したり、記述したりしている。	学習活動への取り組みの様子 定期考査 ワークシート 提出物	積極的に生徒の意見交換の場を設けたり、DVDを視聴したりして、生徒の興味・関心を刺激し、生活に役立つ知識の習得や実践力を養うことができるようにする。
12・1	5		イ 環境と食品の保健 環境衛生活動は、学校や地域の環境を健康に適したものとすよう基準が設定され、それに基づき行われていること。また、食品衛生活動は、食品の安全性を確保するよう基準が設定され、それに基づき行われていること。	22	・環境保健に関わる活動、食品保健に関わる活動について、資料を探したり、見たり、読んだりするなどの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。 ・健康の保持増進のための環境と食品の保健について、課題の解決に向けての話し合いや意見交換などの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。	・環境保健に関わる活動、食品保健に関わる活動について、資料等で調べたことを基に、課題を見つけたりと、解決の方法を整理したりするなどして、それらを説明している。 ・健康の保持増進のための環境と食品の保健について、学習したことを、個人及び社会生活や事例と比較したり、関連付けたりするなどしている。また、筋道を立ててそれらを説明している。	・環境衛生活動は、学校や地域の環境を健康に適したものとすよう基準が設定され、それに基づき行われていること、食品衛生活動は、食品の安全性を確保するよう基準が設定され、それに基づき行われていることについて、理解したことを発言したり、記述したりしている。	学習活動への取り組みの様子 定期考査 ワークシート 提出物	積極的に生徒の意見交換の場を設けたり、DVDを視聴したりして、生徒の興味・関心を刺激し、生活に役立つ知識の習得や実践力を養うことができるようにする。	
2・3	5		ウ 労働と健康 労働災害の防止には、作業形態や作業環境の変化に起因する生涯や職業病などを踏まえた適切な健康管理及び安全管理をする必要があること。	7. 働くことと健康 8. 労働災害と健康 9. 健康的な職業生活 働くことの意義や健康とのかかわり、働き方と健康問題の変化、労働災害及び労働災害予防のための安全管理と健康管理、職場が行う健康増進対策、余暇の意義と活用の仕方について学習し、働く人自身の安全に対する積極的な姿勢とともに職場全体の配慮や体制づくりが必要であることや、仕事と余暇のバランスが大切であることを理解する。	・労働災害と健康について、関連する資料を探したり、見たり、読んだりするなどの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。 ・働く人の健康の保持増進について、課題の解決に向けての話し合いや意見交換などの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。	・労働災害と健康について、資料等で調べたことを基に、課題を見つけたりと、解決の方法を整理したりするなどして、それらを説明している。 ・働く人の健康の保持増進について、学習したことを、個人及び社会生活や事例と比較したり、分類したり、分析したりするなどしている。また、筋道を立ててそれらを説明している。	・労働災害の防止には、作業形態や作業環境の変化に起因する障害や職業病などを踏まえた適切な健康管理及び安全管理をする必要があることについて、理解したことを発言したり、記述したりしている。	学習活動への取り組みの様子 定期考査 ワークシート 提出物	積極的に生徒の意見交換の場を設けたり、DVDを視聴したりして、生徒の興味・関心を刺激し、生活に役立つ知識の習得や実践力を養うことができるようにする。	

令和2年度 英語科 指導と評価の年間計画

福井県立高志高等学校

科目名	学科名	対象学年	単位数
コミュニケーション英語Ⅱ	普通科（理系）	2年	3
教科書（出版社・タイトル）		補助教材等	
Crown English Communication Ⅱ（三省堂）		Crown English Communication Ⅱ WORKBOOK ADVANCED（三省堂）	
科目の目標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を伸ばす。		
評価の観点および趣旨			
関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	知識・理解
コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。	英語で話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えている。	英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。	英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、言語の背景にある文化などを理解している。

「コミュニケーション英語Ⅱ」指導と評価の年間計画

福井県立高志高等学校

実施月	単元の時数	単元名	題材内容	単元の目標	評価規準				単元全体で取り上げる言語活動／学習活動	評価方法 (統合的な評価を含む)
					関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解		
4	10	Lesson 1 Around the World on a Bike	劇作家・平田オリザが、16歳のときに決意したアメリカ・ヨーロッパへの自転車一人旅について	ア 若いときに経験した旅を通して、実際に平田オリザが自分の目を通してなにを感じ取ったかを読み取る。 イ 若いときの冒険とはなにかを考る。 ウ 若いときにおこなう冒険旅行について、自分の考えをまとめて発表する。 エ 関係代名詞の非制限用法、不定詞・動名詞の意味上の主語に習熟する。	①若いときに行う冒険旅行について、積極的に話し合ったり、意見の交換をしている。	①若い時にする冒険について自分の考えをわかりやすく話すことができる。 ②自分の経験をもとに、訪れた先での経験について述べるができる。	①筆者が自分で決めたことに向かって、人生を切り開いていく姿を正しく読み取ることができる。 ②筆者が高校時代に実行した世界自転車旅行で、訪れた国々の人々を通して経験できたことを正しく読み取ることができる。	①関係代名詞の非制限用法、不定詞・動名詞の意味上の主語を示す英文の意味や構造を理解する。	・本文の要点をまとめる活動 ・若い時にする冒険という経験について自分の考えを述べ合う活動	・定期考査 ・言語活動の観察 ・ワークシート ・スピーチ
5	10	Lesson 2 Into Unknown Territory	棋士である羽生善治の勝負観・人生哲学に触れる。	ア 羽生善治の強さの秘密を考察する。 イ インタビューの形式に慣れる。 ウ 将棋や人生にとっても大切な我慢強さについて、自分の考えをまとめて発表する。 エ 関係副詞の非制限用法、受け身・否定の分詞構文、whether名詞節に習熟する。	①インタビューの際、質問したり聞き返したりして積極的に理解しようとしている。	①「我慢強さは、将棋だけではなく、人生についても当てはまる」という意見について、自分の考えを発表することができる。 ②我慢強さが問われた自分自身の経験について述べるができる。	①羽生善治棋士の強さの秘密、そして人生観を適切に読み取ることができる。 ②クラスメートにインタビューをして内容を理解することができる。	①関係副詞の非制限用法、受け身・否定の分詞構文、SVO(O=whether節)を使った英文の意味や構造を理解する。	・我慢強さの重要性について自分の考えを述べる活動 ・インタビュー形式に親しむ活動	・定期考査 ・ワークシート ・ライティング ・スピーチ
6	10	Lesson 3 OOPARTS	過去における当時の技術では考えられない「不思議な人工物」について知る。	ア 世界にある「不思議なもの」のいくつかの具体例を通して、その不思議さの秘密を読み取る。 イ 「オーパーツ」の中から、自分の興味のあるものを選び、簡潔にまとめて発表する。 ウ 「オーパーツ」の存在について、自分の考えを発表させる。 エ 前置詞+関係代名詞、助動詞+have+過去分詞に習熟する。	①読んだ内容について意見や感想を述べようとしている。	①「オーパーツ」についての簡潔に例示することができる。 ② 科学で説明することができるもの存在について、自分の考えをわかりやすく話すことができる。	①それぞれのオーパーツが存在したその地域や年代を考えながら、適切に読み取ることができる。 ②クラスメートの意見を理解することができる。	①前置詞+関係代名詞、助動詞+have+過去分詞、It is known that ~の構文を使った英文の意味や構造を理解している。	・オーパーツについて簡潔に例示する活動 ・オーパーツについて自分の考えを述べる活動	・定期考査 ・言語活動の観察 ・ワークシート ・スピーチ

実施月	単元の時数	単元名	題材内容	単元の目標	評価規準				単元全体で取り上げる言語活動／学習活動	評価方法 (統合的な評価を含む)
					関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解		
7	10	Lesson 4 Crossing the Border	「国境なき医師団」に参加した貫戸朋子医師の活動を通じて、国際協力について考える。	ア 貫戸医師の伝えたい想いをしっかり読み取る。 イ 国際協力をする上で重要なことについて考える。 ウ 貫戸医師のとした判断について、自分の考えを発表する。 エ 不定詞+前置詞、完了進行形、強調構文に習熟する。	①表現できないところがあるとしても、知っている語句や表現を用い、積極的にコミュニケーション活動に参加している。	①「内戦状態の地で、貫戸医師が死にそうな子供に対してとった判断」について、自分の考えを簡潔に話すことができる。 ②国際協力について、自分の考えを述べることができる。	①貫戸医師がスリランカで経験した困難や伝えたい思いを正しく読み取ることができる。 ②国際協力についての様々な意見を理解することができる。	①不定詞+前置詞、完了進行形、強調構文を使った英文の意味や構造を理解している。	・貫戸医師経験した困難や国際協力の実情について簡潔にまとめ、伝える活動 ・貫戸医師がとった判断について、自分の考えを述べる活動	・定期考査 ・言語活動の観察 ・スピーチ ・ライティング
9	10	Lesson 5 Saving Cherokee	18c～19c、アメリカ南東部に居住するチェロキーの母語を守る闘いについての話	ア 母語のチェロキー語を守るために闘い続けたチェロキーの歴史を通して、民族にとって母語とはなにかを考える。 イ 「危機に瀕した言語」について、自分の考えを発表する。 ウ 複合関係詞、不定詞の完了形、比較級+than S+Vの表現に習熟する。	22 ①チェロキー語がどのようにして守られてきたか、その経緯を簡潔に示すことができる。 ②危機に瀕した言語を救うために何が出来るかについて、わかりやすく話すことができる。	①同化政策によってチェロキー語が絶滅しかけた経緯を理解する。 ②民族にとって言語とは何か、母語とは何かについて、正しく読み取ることができる。	①複合関係詞、不定詞の完了形、比較級+than S+Vの表現を使った英文の意味や構造を理解している。	・物事の過程を簡潔に伝える活動 ・「危機に瀕した言語」について、自分の考えを述べる活動	・定期考査 ・言語活動の観察 ・ワークシート ・スピーチ	
10	10	Lesson 6 Ashura--A Statue with Three Faces--	23 ア 人々が阿修羅像に魅かれる理由を考える。 イ 仏像に癒しなどを求めることについて、自分の考えを発表する。 ウ 結果を表す不定詞、倒置、無生物主語の他動詞構文に習熟する。	①読んだ内容について意見や感想を述べようとしている。	①癒しや浄罪を求めて阿修羅に祈ることについて自分の考えを簡潔に示すことができる。 ②阿修羅像の歴史や魅力について簡潔に述べる事ができる。	①阿修羅像の歴史、作られ方、古代ギリシア等の影響を正しく読み取ることができる。 ②阿修羅像に多くの人々が魅力を感じる理由を適切に読み取ることができる。	①結果を表す不定詞、倒置、無生物主語の他動詞構文を使った英文の意味や構造を理解している。	・仏像に祈ることについて自分の意見を述べる活動	・定期考査 ・言語活動の観察 ・ライティング ・スピーチ	

実施月	単元の時数	単元名	題材内容	単元の目標	評価規準				単元全体で取り上げる言語活動／学習活動	評価方法 (統合的な評価を含む)
					関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解		
11	10	Lesson 7 Why Biomimicry?	新素材・新技術を動植物から学ぶ「バイオミクリー」についての話	ア 自然から学ぶ態度の重要性について考える。 イ 自然と人とのつながり、共生について考え、他の生徒と共有する。 ウ 自然と人間との関係について、自分の考えを発表する。 エ 仮定法現在、if 節のない仮定法、未来に関する仮定法に習熟する。	①環境問題についての自分の考えを、間違えることを恐れずに話している。	①バイオミクリーの例を出したり、背景について説明できる。 ②私たちは自然を支配するというよりも自然と共に生きるべきであるという意見について、自分の考えをわかりやすく示すことができる。	①動植物に学んだ技術や素材などの実例を、正しく読み取ることができる。 ②動植物に学ぶバイオミクリーが最近注目されている背景を、適切に読み取ることができる。	①仮定法現在、if 節のない仮定法、未来に関する仮定法を使った英文の意味や構造を理解している。	・バイオミクリーについて紹介する活動 ・自然と人間の関係のあり方について自分の考えを述べる活動	・定期考査 ・言語活動の観察 ・プレゼンテーション・質疑応答 ・ライティング
12	10	Lesson 8 Working against the Clock	ロボットによる地雷除去活動の話	ア 地雷について学んだことを、的確にまとめる。 イ 日本による国際貢献、平和貢献について知る。 ウ 地雷と私たちとの関係について、自分の考えをまとめて発表する。 エ 完了の分詞構文、受け身の進行形、補語としてのwhether節に習熟する。	①平和への取組みについて自分の考えを、より正確にわかりやすく伝えるように工夫している。	①世界の地雷の問題、そして日本人による地雷除去活動について説明できる。 ②地雷や爆弾がある国の問題について、自分の考えを整理して、わかりやすく話すことができる。	①世界の地雷の問題について正しく読みとることができる。 ②地雷除去ロボットが、現地を受け入れられるまでの工夫を適切に読み取ることができる。	①完了の分詞構文、受け身の進行形、補語としてのwhether節を使った英文の意味や構造を理解している。	・本文の概要や要点を簡潔に述べる活動 ・平和への取組みについて自分の考えを述べる活動	・定期考査 ・ワークシート ・言語活動の観察 ・スピーチ ・ライティング
1	10	Lesson 9 The Long Voyage Home	「はやぶさ」の苦難の帰還についての話	ア はやぶさプロジェクト成功の理由を読み取る。 イ はやぶさと私たちの日常生活との関係について、自分の考えをわかりやすく発表する。 ウ 独立分詞構文、未来進行形、未来完了形に習熟する。	①内容の展開を理解しながら読み、読んだ内容について意見や感想を述べようとしている。	①はやぶさの負った使命とその行程を簡潔に説明できる。 ②はやぶさは私たちの日常生活にはあまり役立たないという意見について、自分の考えを述べることができる。	①はやぶさの負った使命、およびその行程を正しく読み取ることができる。 ②はやぶさのプロジェクトが最終的に成功した要因を、適切に読み取ることができる。	①独立分詞構文、未来進行形、未来完了形を使った英文の意味や構造を理解している。	・はやぶさの任務とその意義を簡潔に述べる活動 ・はやぶさと日常生活の関係について簡潔に述べる活動	・定期考査 ・言語活動の観察 ・ワークシート ・スピーチ ・ライティング

令和2年度 英語科 指導と評価の年間計画

福井県立高志高等学校

科目名	学科名	対象学年	単位数
英語活用 Advanced Expression	普通科(高入生)理系	2年	2
教科書(出版社・タイトル)		補助教材等	
		NEW FAVORITE English Expression II (東京書籍)	

科目の目標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実情報や意見・考えなどを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を養う。		
評価の観点および趣旨			
関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解
コミュニケーションに関心を持ち、積極的に自己表現しようとしている。	英語で話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えている。	英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。	英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、言語の背景にある文化などを理解している。

「英語活用 Advanced Expression」(2年理系)指導と評価の年間計画

福井県立高志高等学校

実施月	単元の時数	単元名	題材内容	単元の目標	評価規準				単元全体で取り上げる言語活動/学習活動	評価方法 (統合的な評価を含む)
					関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解		
4	1	School Uniform	[トピック] 制服の是非について話し合おう [言語材料] 動詞・時制 ・注意すべき自動詞と他動詞 ・注意すべき時制	ア 積極的に自分の意見を述べる。 イ 制服の是非について、自分の意見とその理由を述べる。 ウ 自動詞、他動詞についてその用法を理解する。	①学校生活における制服に賛成[反対]する理由を挙げることができる。 ②自動詞と他動詞を的確に使い分けて文を書くことができる。	①制服の是非とその理由を5文程度の英語で書くことができる。 ②自動詞と他動詞を的確に使い分けて文を書くことができる。	①未来完了形、未来進行形、時条件を表す副詞節が使われている文を理解でき、また、なぜそれが使われているか理解できる。	①制服や学校生活に関する表現について理解できる。 ②動詞の用法や、時制について理解している。	・制服の是非について意見交換する活動	・定期考査 ・言語活動の観察
4	1	Online Addiction	[トピック] オンラインゲームの危険性について意見を述べよう [言語材料] 助動詞 ・助動詞を使った表現 ・that 節中に should を用いる表現	ア 相手を納得させる理由を挙げ表現する。 イ オンラインゲームの問題点を挙げ、自分の意見とその理由を述べる。 ウ 助動詞の用法を理解する。	①オンラインゲームの問題点について、話し合うことができる。 ②助動詞の用法に注意しながら表現できる。	①オンラインゲームの問題点とそれに対する意見や理由を5文程度の英文で表現できる。 ②助動詞の用法に注意しながら表現できる。	①助動詞を含む表現が使われている文が理解できる。 ②提案や命令などを表す表現が使われている文を理解できる。	①身体の健康に関する表現について知っている。 ②助動詞の用法や、提案・命令を表す表現について理解している。	・オンラインゲームの問題点について意見交換する活動	・定期考査 ・言語活動の観察
4	2	Using the Internet	[トピック] インターネットの利用法について話し合おう [言語材料] 準動詞① ・注意すべき不定詞	ア 客観的な理由を用いて意見を述べる。 イ インターネットと其の利用について、自分の意見とその理由を述べる。 ウ 不定詞表現の用法を理解する。	①宿題のレポートにインターネットを使うことについて話し合うことができる。 ②さまざまな不定詞を適切に使い、英文を書くことができる。	①インターネットの良い点や悪い点について70語程度の英文で書くことができる。 ②さまざまな不定詞を適切に使い、英文を書くことができる。	①さまざまな不定詞を含む表現が使われている文が理解できる。 ②不定詞の用法について理解している。	①インターネット利用のよい点と悪い点について理解できる。 ②不定詞の用法について理解している。	・インターネットの使用法についてグループで意見交換する活動 ・インターネットの利点・問題点について書く活動	・定期考査 ・言語活動の観察 ・ライティング

実施月	単元の時数	単元名	題材内容	単元の目標	評価規準				単元全体で取り上げる言語活動／学習活動	評価方法 (統合的な評価を含む)
					関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解		
4	2	Specialization in Sports	[トピック] 興味のある話題について発表しよう [言語材料] 準動詞 ② ・注意すべき動名詞	ア 自分の経験を踏まえながら自分の意見を伝える。 イ 最近のニュースについて、自分の感想や意見を言う。 ウ 動名詞の用法を理解する。	①最近読んだ雑誌などの記事について、自分の意見を持ち、それを発表することができる。 ②さまざまな動名詞の表現を使って、言いたいことを端的に伝えることができる。	①自分が見たり読んだりしたニュースについて、その説明や自分の意見を書くことができる。 ②さまざまな動名詞の表現を使って、言いたいことを端的に伝えることができる。	①さまざまな動名詞の表現が使われている文を理解できる。	①スポーツの専門化に関する状況を理解できる。 ②不定詞、動名詞、分詞の用法を理解している。	・見たり読んだりしたニュースについて意見交換する活動	・定期考査 ・言語活動の観察
4	3	Show and tell	日本文化の紹介	22	①日本文化を外国人にもわかりやすく説明しようとしている。	①アイコンタクトやジェスチャーを交え、相手にわかりやすく日本文化を説明できる。	①他者のスピーチを聞き、内容を理解できる。	①アイコンタクトや声の大きさに注意して紹介している。	・実際のものを使ったり、写真や映像を見せたりして英語で説明する活動 ・身近な日本文化について、紹介文を書く活動	・定期考査 ・言語活動の観察 ・スピーキング
5	1	23	[トピック] 英語で日記を書こう [言語材料] 準動詞③ ・主語の状態を示す分詞 ・注意すべき分詞構文 ・慣用的な分詞構文	ア 自分の1日の生活や出来事について英語で説明したり、日記を書いたりする。 イ 他者の説明や日記に対し、意見や質問をする。 ウ 分詞の用法について理解する。	①1日の出来事を振り返り、英語で日記を書くことができる。	①1日の出来事について書くことができる。 ②さまざまな分詞を用いた表現を正しく使って、英文で表すことができる。	①やや高度な分詞表現や、慣用的な分詞表現が使われている文を理解できる。	①日記に特有の表現について理解できる。 ②分詞の用法を理解している。	・ペアでお互いの一日について話したり質問したりする活動	・定期考査 ・言語活動の観察
5	1	My Future Career	[トピック] 将来の夢、就きたい職業について話そう [言語材料] 比較 ・原級比較を用いた表現 ・比較級を用いた表現	ア 自分の将来の夢や関心のある職業について、英語で説明する。 イ 興味のある職業や活動について考えを伝え合い、自分たちがどのように社会に貢献できるかについて、意見を言う。 ウ 比較表限の用法を理解する。	①将来就きたい職業とその理由を発表することができる。	①自分の将来の夢ややってみたいことについて1分程度で述べるができる。 ②比較表現を正しく用いて英文を表現することができる。	①同等比較や比較級を用いた表現が使われている文を理解できる。	①職業に関する表現について理解できる。 ②比較表現の様々な用法について理解している。	・ペアで興味のある職業について話す活動 ・それぞれの職業が人や社会にどのように貢献するのか考え、話し合ったり書いたりする活動	・定期考査 ・言語活動の観察 ・スピーキング

実施月	単元の時数	単元名	題材内容	単元の目標	評価規準				単元全体で取り上げる言語活動／学習活動	評価方法 (統合的な評価を含む)
					関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解		
5	2	Pets	[トピック] ペットについて話そう [言語材料] 受け身 ・注意すべき受け身	ア 異なる文化でのペットに対する考え方の相違や問題点について考え、英語で意見を言う。 イ 動物を飼うことの効用について理解し、どのような場面で動物の力を生かすことができるかについて、自分の意見を英語で表現する。 ウ 受け身の用法を理解する。	①調査結果などをもとに、ペットを飼うことについて話し合うことができる。	①動物が人に与える力について70語程度の英文で表現することができる。 ②受け身を適切に使い、英文を書くことができる。	①受け身を含む表現が使われている文が理解できる。 ②be動詞以外の動詞を使った受け身が使われている文を理解できる。	①各文化圏におけるペットのあり方や、そこでのペットの問題点などを理解できる。 ②受け身の用法について理解している。	・動物を飼うことの意義やその問題点について話す活動 ・動物が人に与える良い影響について話したり書いたりする活動	・定期考査 ・言語活動の観察 ・ライティング
5	2	A Little Escape	[トピック] 行ってみたい場所について話そう [言語材料] 関係詞 ・関係代名詞whatを用いた表現 ・複合関係詞を用いた表現	ア 自分が行ってみたい場所とその理由について説明する。 イ ある場所について、読み手に行きたいと思わせるような紹介文を英語で書く。 ウ 関係詞の用法を理解する。	①行ってみたい場所について、積極的に話し合うことができる。	①自分の行きたい場所とその理由について話したり書いたりできる。 ②関係代名詞whatや複合関係詞を用いて、英文を正しく表現することができる。	①関係代名詞whatや複合関係詞が使われている文を理解できる。	①生活に潤いを与えるリゾート施設や観光地について理解できる。 ②無生物主語や人名詞構文の用法について理解している。	・ペアで行ってみたい場所について話す活動 ・観光地の広告などを参考に、人の興味を引きつける紹介文を書く活動	・定期考査 ・言語活動の観察
6	1	Good Fortune	[トピック] もしもの話をしよう [言語材料] 仮定法① ・注意すべき仮定法表現	ア 現実とは異なる状況を想定して、その場合どうなるかを英語で表現する。 イ 身の回りにあるものが存在しなかったら自分の生活がどうなるかについて考え、英語で表現する。 ウ 仮定法の用法について理解する。	①想像力を働かせて、現実にはありえないような状況の話をするすることができる。	①実際とは異なる状況を想定して表現することができる。 ②仮定法の定型表現を使って、仮定の話をするすることができる。	①仮定法のさまざまな定型表現が理解できる。	①「もしも」の話をすべき状況と、その表現について理解できる。 ②仮定法の用法について理解している。	・「もしも」の話をすべき状況と、「もしも」の状況について書く活動	・定期考査 ・言語活動の観察 ・ライティング
6	1	Barrier-Free Society	[トピック] バリアフリー社会に向けて提言しよう [言語材料] 仮定法② ・注意すべき仮定法表現	ア バリアフリーの環境に関心を持ち、他人の意見も取り入れながら、企画書を書く。 イ バリアフリーの環境づくりについて考え、その企画を書く。 ウ 仮定法の用法を理解する。	①バリアフリーの環境作りについて積極的に考え、企画を考えようとしている。	①誰に対しどんなバリアフリーが必要か、またその方法について70語程度の英文で表現することができる。 ②ifを使わずに短く条件を示し、推量[意見]が述べられていることを理解できる。	①様々な仮定法を用いた表現が使われている文を理解できる。	①バリアフリー社会や高齢化社会に関する表現について理解できる。 ②仮定法の用法について理解している。	・身の回りの環境問題について、解決策をグループでブレインストーミングする活動 ・バリアフリーな環境作りについて企画書を作成する活動	・定期考査 ・言語活動の観察 ・ライティング

実施月	単元の時数	単元名	題材内容	単元の目標	評価規準				単元全体で取り上げる言語活動／学習活動	評価方法 (統合的な評価を含む)
					関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解		
6	2	Food Self-Sufficiency	[トピック] 食料自給率について考えよう [言語材料] 直接話法と間接話法・直接話法と間接話法	ア 日本の食糧自給率について考える。 イ 自分の意見を、立場を明確にして理由とともに表現することができる。 ウ 直接話法と間接話法について理解し、適切に使用できる。	①自分の意見を賛成、反対を明確にして表現することができる。。 ②時制の一致に注意して話法を含んだ文を作ることができる。	①自分の意見を賛成、反対を明確にして理由とともに表現することができる。 ②直接話法と間接話法の違いを理解できる。	①登場人物ごとに発言を整理しながら会話を聞くことができる。 ②直接話法と間接話法の違いを理解できる。	①日本の食料自給率について理解している。 ②形容詞、副詞についてその用法を理解している。	・普段の食事やそれらがどこで作られているかについて話す活動 ・食料自給率についてグループでブレインストーミングをする活動	・定期考査 ・言語活動の観察
6	2	Lesson 12 Japanese Longevity	[トピック] 長寿社会について考えよう [言語材料]無生物主語構文	ア 日本の平均寿命や、他国とのについて理解する。 イ 日本人の寿命を脅かす原因について考え、その解決策を英語で表現する。 ウ 無生物主語、名詞構文について理解する。	①日本人の寿命を脅かす原因の1つである肥満について話し合うことができる。 ②さまざまな無生物主語構文を用いて表現することができる。	①日本人の平均寿命が長い理由について、食生活や生活習慣の変化に触れながら説明できる。 ②さまざまな無生物主語構文を用いて表現することができる。	① 無生物主語構文を理解できる。	①食生活や生活習慣に関する表現について理解できる。 ②無生物主語の用法について理解している。	・日本人の平均寿命が長い理由や、それを脅かす要因について、グループでブレインストーミングする活動	・定期考査 ・言語活動の観察
7	2	スピーチ鑑賞	キング牧師のワシントン大行進での演説	ア 人の心に訴えるスピーチとはどのようなものか知る。 イ 繰り返しのフレーズや対比の部分を指摘し、その効果を知る。 ウ スピーチの好きなところを選んで暗唱する。	①スピーチの内容に興味を持って読んで読む。 ②人の心に訴えるスピーチとはどのようなものか知ろうとしている。	①繰り返しのフレーズに気づき、主張したい内容に注意しながら音読できる	①この映画の題材の背景を知り、スピーチの内容をより深く理解する。	・スピーチで自分の好きなところを暗唱する活動	・内容理解 ・音読	
7	4	Why Don't You Visit Japan?	[トピック] 日本を訪問するとよい理由を説明する [学習項目] パラグラフの構成	ア 読み手が興味を持って読んでもらえる内容や構成を工夫して書く。 イ 日本を訪れることの魅力について、自分の伝えたい情報を整理して書く。	①外国人に日本のことを薦めるにあたり、相手にわかりやすいように工夫して紹介することができる。。	①基本的なパラグラフの構成に基づいて、英文を書くことができる。	①英文のパラグラフ構成について理解できる。	①外国人に日本のことを薦めるにあたり、日本の文化や地域の特色について知っている。	・日本の魅力について紹介文を書く活動 ・写真などを使用しながら、日本を訪れることの良さを紹介しあう活動	・定期考査 ・言語活動の観察

実施月	単元の時数	単元名	題材内容	単元の目標	評価規準				単元全体で取り上げる言語活動／学習活動	評価方法 (統合的な評価を含む)
					関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解		
7	4	Lesson 14 A Lucky Day	[トピック] 幸運だった1日を振り返る [学習項目] 時間軸に沿って情報を並べるパラグラフ	ア 時間軸を意識して書く。 イ 主題文、指示文、結論文を使って、まとまりのあるパラグラフを書く。 ウ 自分の1日について、流れが分かりやすいように工夫して書く。	①自分の1日を振り返り、その状況を人に伝えるように発表することができる。	①時間軸に沿って情報を並べ、簡単なパラグラフを書くことができる。	①時間軸に沿って情報が記述されているパラグラフについて、その構造を理解することができる。	①時間軸に沿って情報が記述されている、海外の漫画などの内容を理解できる。	・ある1日について、時間の流れや出来事の因果関係を整理しながら書く活動	・定期考査 ・言語活動の観察 ・ライティング
9	4	Visiting Australia	[トピック] オーストラリアを訪ねるとい理由を説明する [学習項目] 結論を挙げ、その理由を項目ごとに説明するパラグラフ	ア 事実をあげながら、自分の意見を相手に伝える。 イ 事実を引用しながら、それに対する自分の意見を言う。 ウ 自分の好きなものを他者に薦めるために、興味をもってもらえるように工夫して書く。	①事実を的確に説明しようとしている。 ②人に薦めたい物事について、相手にわかりやすいように工夫して紹介することができる。	①結論を挙げ、その理由を項目ごとに説明するパラグラフを書くことができる。	①結論を挙げ、その理由を項目ごとに説明するパラグラフ構成について理解できる。	①オーストラリアについて、データや数値など、客観的な情報を知り、それを実際に使うことができる。。	・あるテーマについて、ブレイクノートミグを行い、内容で分類する活動 ・ブレイクノートミグで出た観点からいくつか選び、パラグラフの構成を考えて書く活動	・定期考査 ・言語活動の観察 ・ライティング
9	4	Pros and Cons of Traveling Abroad	[トピック] 海外旅行の長所と短所を述べる [学習項目] 物事の長所と短所を述べるパラグラフ	ア 物事の二面性・多面性を意識して事実を述べる。 イ 物事の長所と短所の両方を述べる際の構成に注意しながら、表現する。	①物事の長所と短所を述べる方法について学び、自分の意見を人に伝えるように発表することができる。	①理由や具体例を添えながら、物事の長所と短所の両面について述べるができる。	①理由や具体例を添えながら、物事の長所と短所の両面について述べるときの表現が理解できる。	①海外旅行の長所と短所について、意見や理由、具体例を比較検討しながら理解することができる。	・あるテーマの長所と短所および具体例についてブレイクノートミグする活動 ・ブレイクノートミグで出た意見からいくつか選び、パラグラフの構成を考えて書く活動	・定期考査 ・言語活動の観察 ・ライティング
10	4	Proposing a New School Uniform	[トピック] 今の制服には問題があるので、新しいものにするのを提案する [学習項目] 問題を提起し、提案を述べるパラグラフ①	ア 身近な物事の現状を見直し、問題点や課題について考える。 イ 具体例や理由を挙げながら、新しい考えを分かりやすく提案する。 ウ 提案をするときの表現を理解する。	①問題を提起・指摘し、その解決策を提案することができる。	①自分の意見やアイデアを整理して、エッセイのアウトラインを作成することができる。	①自分の意見やアイデアを整理して、エッセイのアウトラインを作成することができる。	①身近にある問題を意識し、それらについて知っており、ある程度、自分の意見を持っている。	・改善すべきだと思うことについて、理由や改善案を示しながらそれに替わる提案を書く活動	・定期考査 ・言語活動の観察 ・ライティング

実施月	単元の時数	単元名	題材内容	単元の目標	評価規準				単元全体で取り上げる言語活動／学習活動	評価方法 (統合的な評価を含む)
					関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解		
10	4	Let's Cook Our Meals	[トピック] 時には自分で料理すべきだと提案する [学習項目] 問題を提起し、提案を述べるパラグラフ②	ア 身近な物事の現状を見直し、問題点や課題について考える。 イ トピックの背景を示しながら具体例や理由を挙げ、新しい考えを分かりやすく提案する。 ウ 提案をするときの表現を理解する。	①問題を提起・指摘し、その解決策を提案することができる。	①エッセイにおいて、問題を提起し、提案を述べるパラグラフを作成することができる。	①エッセイの構成要素を意識しながら、まとまった文章を聴いたり読んだりすることができる。	①身近にある問題を意識し、それらについて知り、ある程度、自分の意見を持つとともに、それらを他人に伝える。	・改善可能だと思うことについて、背景知識とともに理由や改善案を示しながら提案文を書く活動	・定期考査 ・言語活動の観察 ・ライティング
11	3	スピーチ鑑賞	パキスタン人女性 Malala Yousafzai の国連本部での演説	ア 人の心に訴えるスピーチとはどのようなものか知る。 イ 繰り返しのフレーズや対比の部分指摘し、その効果を知る。 ウ スピーチの好きなところを選んで暗唱する。	①スピーチの内容に興味を持って読んで読む。 ②人の心に訴えるスピーチとはどのようなものか知ろうとしている。	①繰り返しのフレーズに気づき、主張したい内容に注意しながら音読できる。		①背景となる事実を知り、スピーチの内容をより深く理解する。	・スピーチで自分の好きなところを暗唱する活動	・内容理解 ・音読
11	4	Welcome to Osaka	[トピック] シンガポールから来日した高校生を歓迎するスピーチ [学習項目] スピーチの実演	ア 聞き手に興味をもってもらい、記憶に残りやすい話し方について知る。 イ スピーチに含むべき内容について考え、そのスピーチの目的を果たすために効果的な順序で話す。 ウ スピーチに特有の表現を理解する。	①聴衆を意識し、伝えたいポイントを強調しながらスピーチをすることができる。	①聞き手の理解を念頭に置きながら、スピーチの原稿を書くことができる。	①スピーチの構成要素について理解できる。	①スピーチに特有の表現を知っている。	・他者にスピーチを通じて伝えたいことを考え、効果的な内容と構成を考えてスピーチする活動	・定期考査 ・言語活動の観察 ・スピーチ
12	4	Let's Fly to the UK	[トピック] もし2週間海外に行けるとしたらどの国に行くべきか [学習項目] プレゼンテーションの実演	ア 聞き手に興味をもってもらい、聞き手が理解しやすいプレゼンテーションについて知る。 イ プレゼンテーションに含むべき内容について考え、効果的な資料や提示方法を工夫しながら発表する。 ウ プレゼンテーションに特有の表現を理解する。	①聴衆を意識し、伝えたいポイントを強調しながらプレゼンテーションの原稿を作成することができる。	①聞き手の理解を念頭に置きながら、プレゼンテーションの原稿を書くことができる。	①プレゼンテーションの構成要素について理解できる。	①プレゼンテーションに特有の表現を知っている。	・他者にプレゼンテーションで伝えたいことを考え、効果的な内容と構成を考えて発表する活動	・定期考査 ・言語活動の観察 ・プレゼンテーション

令和2年度 英語科目 指導と評価の年間計画

福井県立高志高等学校

科目名	学科	対象学年	単位数
英語活用 Research & Presentation	普通科（高入生）理系	2年	2
教科書(出版社・タイトル)		補助教材	
		Pros and Cons Discussing Today's Controversial Issue	

科目の目標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、社会の諸事情に関する事実情報や意見・考えなどを整理し、論理の展開や適切な表現方法を工夫しながら伝える能力を養う。		
評価の観点および趣旨			
関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解
自分なりの考えをまとめようとしている。また、コミュニケーションに関心を持ち、積極的に自己表現しようとしている。	自分が調べたり考えたりしたことなどについて論点や根拠などを明確にし、効果的な方法で相手に伝えることができる。		アカデミックな用語や言語運用についての知識を身に付けている。プレゼンテーションのの仕方や、自分の考えを効果的に伝えるために必要な表現などを理解している。

「英語活用Research & Presentation」(2年)指導と評価の年間計画

福井県立高志高等学校

実施月	単元の時数	単元名	題材内容	単元の目標	評価規準				単元全体で取り上げる言語活動/学習活動	評価方法 (統合的な評価を含む)
					関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解		
4	6	Internet Safety of Freedom of Expression?	インターネットの規制について書かれた内容	ア ペア・グループ活動に積極的に参加し、聞き手に自分の考えや意見をわかりやすく説明する。 イ インターネットの規制をすべきかどうかについて自分の意見を書く。 ウ インターネットの規制について書かれた英文を読んで、内容を理解する。 エ テーマに関連する語彙・表現等を身に付ける。	①ペア・グループワークに積極的に参加し、感想や自分の考えなどを伝え合おうとしている。 ②積極的に自分の意見を書こうとしている。	①読んだことや自分でリサーチしたことに基づき、聞き手に自分の考えやリサーチ内容をわかりやすく説明する。 ②インターネットの規制をすべきかどうかについて自分の意見を書くことができる。		①自分の意見や考えを伝える表現を理解している。 ②レポート作成で使用する語彙を理解している。	・英文を読んで概要を理解する活動 ・読んだ内容について、口頭で意見交換する活動 ・自分の考えを書いたり発表したりする活動 ・与えられたテーマについてリサーチし、発表する活動。	・言語活動の観察 ・レポート ・語彙・表現テスト ・定期考査
5	5	Honor or Burden?	オリンピックの開催地になることの是非に書かれた内容	ア ペア・グループ活動に積極的に参加し、聞き手に自分の考えや意見をわかりやすく説明する。 イ オリンピックの開催地になったことについて自分の意見を書く。 ウ オリンピックの開催地になることの是非について書かれた英文を読んで、内容を理解する。 エ テーマに関連する語彙・表現等を身に付ける。	①ペア・グループワークに積極的に参加し、感想や自分の考えなどを伝え合おうとしている。 ②積極的に自分の意見を書こうとしている。	①読んだことや自分でリサーチしたことに基づき、聞き手に自分の考えやリサーチ内容をわかりやすく説明する。 ②オリンピックの開催地になったことについて自分の意見を書くことができる。		①自分の意見や考えを伝える表現を理解している。 ②レポート作成で使用する語彙を理解している。	・英文を読んで概要を理解する活動 ・読んだ内容について、口頭で意見交換する活動 ・自分の考えを書いたり発表したりする活動 ・与えられたテーマについてリサーチし、発表する活動。	・言語活動の観察 ・レポート ・語彙・表現テスト ・定期考査

6	3	Clean Energy or Potential Threat?	原子力発電やクリーンエネルギーなど、今後のエネルギー問題について書かれた内容	ア ペア・グループ活動に積極的に参加し、考えや意見を相手にわかりやすく、説得性を持たせながら説明することができる。 イ 原子力に依存すべきかクリーンエネルギーへの移行かについて自分の意見を書く。 ウ 原子力発電とクリーンエネルギーについて書かれた英文を読んで、内容を理解する。 エ テーマに関連する語彙・表現等を身に付ける。	①ペア・グループワークに積極的に参加し、感想や自分の考えなどを伝え合おうとしている。 ②積極的に自分の意見を書こうとしている。	①読んだことに基づき、考えや意見を相手にわかりやすく、説得性を持たせながら説明することができる。 ②原子力依存かクリーンエネルギーへの移行かについて自分の意見を書くことができる。		①自分の意見や考えを伝える表現を理解している。 ②レポート作成で使用する語彙を理解している。	・英文を読んで概要を理解する活動 ・読んだ内容ついて、口頭で意見交換する活動 ・自分の考えを書いたり発表したりする活動 ・与えられたテーマについてリサーチし、発表する活動。	・言語活動の観察 ・レポート ・定期考査
6	4	Real Risk or Great Technology?	遺伝子組み換え食品の是非について書かれた内容	ア ペア・グループ活動に積極的に参加し、考えや意見を相手にわかりやすく、説得性を持たせながら説明することができる。 イ 遺伝子組み換え食品の是非について自分の意見を書く。 ウ 遺伝子組み換え食品について書かれた英文を読んで、内容を理解する。 エ テーマに関連する語彙・表現等を身に付ける。	①ペア・グループワークに積極的に参加し、感想や自分の考えなどを、伝え合おうとしている。 ②積極的に自分の意見を書こうとしている。	①読んだことや自分でリサーチしたことに基づき、聞き手に自分の考えやリサーチ内容をわかりやすく説明する。 ②遺伝子組み換え食品について自分の意見を書くことができる。		①自分の意見や考えを伝える表現を理解している。 ②レポート作成で使用する語彙を理解している。	・英文を読んで概要を理解する活動 ・読んだ内容ついて、口頭で意見交換する活動 ・自分の考えを書いたり発表したりする活動 ・与えられたテーマについてリサーチし、発表する活動。	・言語活動の観察 ・レポート ・語彙・表現テスト ・定期考査
7	5	Legalization or Outlawing of Gay Marriage?	同性婚の法整備の是非について書かれた内容	22	①ペア・グループワークに積極的に参加し、テーマについて調べようとしている。 ②相手の発表を聞き積極的に質問したり、質問に答えたりしようとしている。	①読んだことや自分でリサーチしたことに基づき、聞き手に自分の考えやリサーチ内容をわかりやすく説明する。 ②同性婚の法整備の是非について自分の意見を書く		①自分の意見や考えを伝える表現を理解している。 ②レポート作成で使用する語彙を理解している。	・英文を読んで概要を理解する活動 ・読んだ内容ついて、口頭で意見交換する活動 ・自分の考えを書いたり発表したりする活動 ・与えられたテーマについてリサーチし、発表する活動。	・言語活動の観察 ・レポート ・語彙・表現テスト ・定期考査

9	6		23 分煙か全面禁煙かについて書かれた内容	ア ペア・グループ活動に積極的に参加し、聞き手に自分の考えや意見をわかりやすく説明する。 イ 分煙にすべきか、全面禁煙にすべきかについて自分の意見を書く。 ウ 分煙・全面禁煙について書かれた英文を読んで、内容を理解する。 エ テーマに関連する語彙・表現等を身に付ける。	①ペア・グループワークに積極的に参加し、感想や自分の考えなどを、伝え合おうとしている。 ②積極的に自分の意見を書こうとしている。	①読んだことや自分でリサーチしたことに基づき、聞き手に自分の考えやリサーチ内容をわかりやすく説明する。 ②分煙にすべきか、全面禁煙にすべきかについて自分の意見を書くことができる。		①自分の意見や考えを伝える表現を理解している。 ②レポート作成で利用できる語彙を理解している。	・英文を読んで概要を理解する活動 ・読んだ内容ついて、口頭で意見交換する活動 ・自分の考えを書いたり発表したりする活動 ・与えられたテーマについてリサーチし、発表する活動。	・言語活動の観察 ・レポート ・語彙・表現テスト ・定期考査
10	3	Right to Die or Responsibility to Live?	死ぬ権利について書かれた内容	ア ペア・グループ活動に積極的に参加し、聞き手に自分の考えや意見をわかりやすく説明する。 イ 安楽死についての是非について自分の意見を書く。 ウ 安楽死について書かれた英文を読んで、内容を理解する。 エ テーマに関連する語彙・表現等を身に付ける。	①ペア・グループワークに積極的に参加し、感想や自分の考えなどを、伝え合おうとしている。 ②積極的に自分の意見を書こうとしている。	①読んだことや自分でリサーチしたことに基づき、聞き手に自分の考えやリサーチ内容をわかりやすく説明する。 ②安楽死についての是非について自分の意見を書くことができる。		①自分の意見や考えを伝える表現を理解している。 ②レポート作成で利用できる語彙を理解している。	・英文を読んで概要を理解する活動 ・読んだ内容ついて、口頭で意見交換する活動 ・自分の考えを書いたり発表したりする活動 ・与えられたテーマについてリサーチし、発表する活動。	・言語活動の観察 ・レポート ・語彙・表現テスト ・定期考査
10	4	Punishment or Discipline?	学校での体罰について書かれた内容	ア ペア・グループ活動に積極的に参加し、聞き手に自分の考えや意見をわかりやすく説明する。 イ 読んだことに基づき、建築物の特徴について英文レポートを作成する。 ウ 建造物の特徴や歴史について書かれた英文を読んで、内容を理解する。 エ テーマに関連する語彙や表現を適切に使う。	①ペア・グループワークに積極的に参加し、感想や自分の考えなどを伝え合おうとしている。 ②積極的に自分の意見を書こうとしている。	①読んだことや自分でリサーチしたことに基づき、聞き手に自分の考えやリサーチ内容をわかりやすく説明する。 ②体罰について自分の意見を書くことができる。		①自分の意見や考えを伝える表現を理解している。 ②レポート作成で利用できる語彙を理解している。	・英文を読んで概要を理解する活動 ・読んだ内容ついて、口頭で意見交換する活動 ・自分の考えを書いたり発表したりする活動 ・与えられたテーマについてリサーチし、発表する活動。	・言語活動の観察 ・レポート ・語彙・表現テスト ・定期考査

11	4	To Skip or Not to Skip?	飛び級制度の可否について書かれた内容	ア ペア・グループ活動に積極的に参加し、聞き手に自分の考えや意見をわかりやすく説明する。 イ 飛び級制度の可否について自分の意見を書く。 ウ 飛び級制度についての英文を読んで、内容を理解する。 エ テーマに関連する語彙・表現等を身に付ける。	①ペア・グループワークに積極的に参加し、感想や自分の考えなどを伝え合おうとしている。 ②積極的に自分の意見を書こうとしている。	①読んだことや自分でリサーチしたことに基づき、聞き手に自分の考えやリサーチ内容をわかりやすく説明する。 ②飛び級制度の可否について自分の意見を書くことができる。		①自分の意見や考えを伝える表現を理解している。 ②レポート作成で使用できる語彙を理解している。	・英文を読んで概要を理解する活動 ・読んだ内容ついて、口頭で意見交換する活動 ・自分の考えを書いたり発表したりする活動 ・与えられたテーマについてリサーチし、発表する活動。	・言語活動の観察 ・レポート ・語彙・表現テスト ・定期考査
11	4	Performance or Seniority?	能力給か年功序列かについて書かれた内容	ア ペア・グループ活動に積極的に参加し、聞き手に自分の考えや意見をわかりやすく説明する。 イ 能力給か年功序列化についてどちらが良いか自分の意見を書く。 ウ 能力給と年功序列について書かれた英文を読んで、内容を理解する。 エ テーマに関連する語彙・表現等を身に付ける。	①ペア・グループワークに積極的に参加し、感想や自分の考えなどを伝え合おうとしている。 ②積極的に自分の意見を書こうとしている。	①読んだことや自分でリサーチしたことに基づき、聞き手に自分の考えやリサーチ内容をわかりやすく説明する。 ②能力給か年功序列化についてどちらが良いか自分の意見を書くことができる。		①自分の意見や考えを伝える表現を理解している。 ②レポート作成で使用できる語彙を理解している。	・英文を読んで概要を理解する活動 ・読んだ内容ついて、口頭で意見交換する活動 ・自分の考えを書いたり発表したりする活動 ・与えられたテーマについてリサーチし、発表する活動。	・言語活動の観察 ・レポート ・語彙・表現テスト ・定期考査
12	7	Free Trade or Protection?	TPPの是非について書かれた内容	ア ペア・グループ活動に積極的に参加し、聞き手に自分の考えや意見をわかりやすく説明する。 イ TPPの是非について自分の意見を書くことができる。 ウ TPPについて書かれた英文を読んで、内容を理解する。 エ テーマに関連する語彙・表現等を身に付ける。	①ペア・グループワークに積極的に参加し、感想や自分の考えなどを伝え合おうとしている。 ②積極的に自分の意見を書こうとしている。	①読んだことや自分でリサーチしたことに基づき、聞き手に自分の考えやリサーチ内容をわかりやすく説明する。 ②TPPの是非について自分の意見を書くことができる。		①自分の意見や考えを伝える表現を理解している。 ②レポート作成で使用できる語彙を理解している。	・英文を読んで概要を理解する活動 ・読んだ内容ついて、口頭で意見交換する活動 ・自分の考えを書いたり発表したりする活動 ・与えられたテーマについてリサーチし、発表する活動。	・言語活動の観察 ・レポート ・語彙・表現テスト ・定期考査

令和2年度 英語科目 指導と評価の年間計画

福井県立高志高等学校

科目名	学科	対象学年	単位数
英語活用 Debate & Discussion	普通科（高入生）理系	2年	2
教科書(出版社・タイトル)		補助教材	
		Pros and Cons Discussing Today's Controversial Issue	

科目の目標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、社会の諸事情に関する事実情報や意見・考えなどを様々な観点から考察し、論理の展開や適切な表現方法を工夫しながら議論・討論する能力を養う。		
評価の観点および趣旨			
関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解
自分なりの考えをまとめようとしている。また、コミュニケーションに関心を持ち、積極的に自己表現しようとしている。	自分が調べたり考えたりしたことなどを論理的にまとめ、効果的な方法で相手に伝えたり、議論・討論することができる。		アカデミックな用語や言語運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある事象や原理などを理解している。

「英語活用Debate & Discussion」(2年)指導と評価の年間計画

福井県立高志高等学校

実施月	単元の時数	単元名	題材内容	単元の目標	評価規準				単元全体で取り上げる言語活動/学習活動	評価方法 (統合的な評価を含む)
					関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解		
4	6	Internet Safety of Freedom of Expression?	インターネットの規制について書かれた内容	ア ペア・グループ活動に積極的に参加し、考えや意見を相手にわかりやすく、説得性を持たせながら説明することができる。 イ インターネットの規制をすべきかどうかについて自分の意見を書く。 ウ インターネットの規制について書かれた英文を読んで、内容を理解する。 エ テーマに関連する語彙・表現等を身に付ける。	①ペア・グループワークに積極的に参加し、感想や自分の考えなどを伝え合おうとしている。 ②積極的に自分の意見を書こうとしている。	①読んだことに基づき、英語で考えや意見を相手にわかりやすく、説得性を持たせながら説明することができる。 ②インターネットの規制をすべきかどうかについて自分の意見を書くことができる。		①自分の意見や考えを伝える表現を理解している。 ②レポート作成で使用する語彙を理解している。	・英文を読んで概要を理解する活動 ・与えられたテーマについて、口頭で意見交換する活動 ・与えられたテーマについて調べ、その是非について意見を述べ合う活動 ・自分の考えを書いたり発表したりする活動	・言語活動の観察 ・レポート ・語彙・表現テスト ・定期考査
5	5	Honor or Burden?	オリンピックの開催地になることの是非に書かれた内容	ア ペア・グループ活動に積極的に参加し、考えや意見を相手にわかりやすく、説得性を持たせながら説明することができる。 イ オリンピックの開催地になったことについて自分の意見を書く。 ウ オリンピックの開催地になることの是非について書かれた英文を読んで、内容を理解する。 エ テーマに関連する語彙・表現等を身に付ける。	①ペア・グループワークに積極的に参加し、感想や自分の考えなどを伝え合おうとしている。 ②積極的に自分の意見を書こうとしている。	①読んだことに基づき、考えや意見を相手にわかりやすく、説得性を持たせながら説明することができる。 ②オリンピックの開催地になったことについて自分の意見を書くことができる。		①自分の意見や考えを伝える表現を理解している。 ②レポート作成で使用する語彙を理解している。	・英文を読んで概要を理解する活動 ・与えられたテーマについて、口頭で意見交換する活動 ・与えられたテーマについて調べ、その是非について意見を述べ合う活動 ・自分の考えを書いたり発表したりする活動	・言語活動の観察 ・レポート ・語彙・表現テスト ・定期考査

6	3	Clean Energy or Potential Threat?	原子力発電やクリーンエネルギーなど、今後のエネルギー問題について書かれた内容	ア ペア・グループ活動に積極的に参加し、考えや意見を相手にわかりやすく、説得性を持たせながら説明することができる。 イ 原子力に依存すべきかクリーンエネルギーへの移行かについて自分の意見を書く。 ウ 原子力発電とクリーンエネルギーについて書かれた英文を読んで、内容を理解する。 エ テーマに関連する語彙・表現等を身に付ける。	①ペア・グループワークに積極的に参加し、感想や自分の考えなどを伝え合おうとしている。 ②積極的に自分の意見を書こうとしている。	①読んだことに基づき、考えや意見を相手にわかりやすく、説得性を持たせながら説明することができる。 ②原子力依存かクリーンエネルギーへの移行かについて自分の意見を書くことができる。		①自分の意見や考えを伝える表現を理解している。 ②レポート作成で使用できる語彙を理解している。	・英文を読んで概要を理解する活動 ・与えられたテーマについて、口頭で意見交換する活動 ・与えられたテーマについて調べ、その是非について意見を述べ合う活動 ・自分の考えを書いたり発表したりする活動	・言語活動の観察 ・レポート ・定期考査
6	4	Real Risk or Great Technology?	遺伝子組み換え食品の是非について書かれた内容	ア ペア・グループ活動に積極的に参加し、考えや意見を相手にわかりやすく、説得性を持たせながら説明することができる。 イ 遺伝子組み換えの食品の是非について自分の意見を書く。 ウ 遺伝子組み換え食品について書かれた英文を読んで、内容を理解する。 エ テーマに関連する語彙・表現等を身に付ける。	①ペア・グループワークに積極的に参加し、感想や自分の考えなどを、伝え合おうとしている。 ②積極的に自分の意見を書こうとしている。	①読んだことに基づき、自分の考えや意見を述べることができる。 ②遺伝子組み換え食品について自分の意見を書くことができる。		①自分の意見や考えを伝える表現を理解している。 ②レポート作成で使用できる語彙を理解している。	・英文を読んで概要を理解する活動 ・与えられたテーマについて、口頭で意見交換する活動 ・与えられたテーマについて調べ、その是非について意見を述べ合う活動 ・自分の考えを書いたり発表したりする活動	・言語活動の観察 ・レポート ・語彙・表現テスト ・定期考査
7	5	Legalization or Outlawing of Gay Marriage?	同性婚の法整備の是非について書かれた内容	22	①ペア・グループワークに積極的に参加し、テーマについて調べようとしている。 ②相手の発表を聞き積極的に質問したり、質問に答えたりしようとしている。	①読んだことに基づき、理解した内容をまとめることができる。 ②同性婚の法整備の是非について自分の意見を書く		①自分の意見や考えを伝える表現を理解している。 ②レポート作成で使用できる語彙を理解している。	・英文を読んで概要を理解する活動 ・与えられたテーマについて、口頭で意見交換する活動 ・与えられたテーマについて調べ、その是非について意見を述べ合う活動 ・自分の考えを書いたり発表したりする活動	・言語活動の観察 ・レポート ・語彙・表現テスト ・定期考査

9	6	23	分煙か全面禁煙かについて書かれた内容	ア ペア・グループ活動に積極的に参加し、考えや意見を相手にわかりやすく、説得性を持たせながら説明することができる。 イ 分煙にすべきか、全面禁煙にすべきかについて自分の意見を書く。 ウ 分煙・全面禁煙について書かれた英文を読んで、内容を理解する。 エ テーマに関連する語彙・表現等を身に付ける。	①ペア・グループワークに積極的に参加し、感想や自分の考えなどを、伝え合おうとしている。 ②積極的に自分の意見を書こうとしている。	①読んだことに基づき、考えや意見を相手にわかりやすく、説得性を持たせながら説明することができる。 ②分煙にすべきか、全面禁煙にすべきかについて自分の意見を書くことができる。		①自分の意見や考えを伝える表現を理解している。 ②レポート作成で利用できる語彙を理解している。	・英文を読んで概要を理解する活動 ・与えられたテーマについて、口頭で意見交換する活動 ・与えられたテーマについて調べ、その是非について意見を述べ合う活動 ・自分の考えを書いたり発表したりする活動	・言語活動の観察 ・レポート ・語彙・表現テスト ・定期考査
10	3		Right to Die or Responsibility to Live? 死ぬ権利について書かれた内容	ア ペア・グループ活動に積極的に参加し、考えや意見を相手にわかりやすく、説得性を持たせながら説明することができる。 イ 安楽死についての是非について自分の意見を書く。 ウ 安楽死について書かれた英文を読んで、内容を理解する。 エ テーマに関連する語彙・表現等を身に付ける。	①ペア・グループワークに積極的に参加し、感想や自分の考えなどを、伝え合おうとしている。 ②積極的に自分の意見を書こうとしている。	①読んだことに基づき、考えや意見を相手にわかりやすく、説得性を持たせながら説明することができる。 ②安楽死についての是非について自分の意見を書くことができる。		①自分の意見や考えを伝える表現を理解している。 ②レポート作成で利用できる語彙を理解している。	・英文を読んで概要を理解する活動 ・与えられたテーマについて、口頭で意見交換する活動 ・与えられたテーマについて調べ、その是非について意見を述べ合う活動 ・自分の考えを書いたり発表したりする活動	・言語活動の観察 ・レポート ・語彙・表現テスト ・定期考査
10	4		Punishment or Discipline? 学校での体罰について書かれた内容	ア ペア・グループ活動に積極的に参加し、考えや意見を相手にわかりやすく、説得性を持たせながら説明することができる。 イ 読んだことに基づき、建築物の特徴について英文レポートを作成する。 ウ 建造物の特徴や歴史について書かれた英文を読んで、内容を理解する。 エ テーマに関連する語彙や表現を適切に使う。	①ペア・グループワークに積極的に参加し、感想や自分の考えなどを伝え合おうとしている。 ②積極的に自分の意見を書こうとしている。	①読んだことに基づき、考えや意見を相手にわかりやすく、説得性を持たせながら説明することができる。 ②建築物の特徴について書くことができる。		①自分の意見や考えを伝える表現を理解している。 ②レポート作成で利用できる語彙を理解している。	・英文を読んで概要を理解する活動 ・与えられたテーマについて、口頭で意見交換する活動 ・与えられたテーマについて調べ、その是非について意見を述べ合う活動 ・自分の考えを書いたり発表したりする活動	・言語活動の観察 ・レポート ・語彙・表現テスト ・定期考査

11	4	To Skip or Not to Skip?	飛び級制度の可否について書かれた内容	ア ペア・グループ活動に積極的に参加し、考えや意見を相手にわかりやすく、説得性を持たせながら説明することができる。 イ 飛び級制度の可否について自分の意見を書く。 ウ 飛び級制度についての英文を読んで、内容を理解する。 エ テーマに関連する語彙・表現等を身に付ける。	①ペア・グループワークに積極的に参加し、感想や自分の考えなどを伝え合おうとしている。 ②積極的に自分の意見を書こうとしている。	①読んだことに基づき、考えや意見を相手にわかりやすく、説得性を持たせながら説明することができる。 ②飛び級制度の可否について自分の意見を書くことができる。		①自分の意見や考えを伝える表現を理解している。 ②レポート作成で利用できる語彙を理解している。	・英文を読んで概要を理解する活動 ・与えられたテーマについて、口頭で意見交換する活動 ・与えられたテーマについて調べ、その是非について意見を述べ合う活動 ・自分の考えを書いたり発表したりする活動	・言語活動の観察 ・レポート ・語彙・表現テスト ・定期考査
11	4	Performance or Seniority?	能力給か年功序列かについて書かれた内容	ア ペア・グループ活動に積極的に参加し、考えや意見を相手にわかりやすく、説得性を持たせながら説明することができる。 イ 能力給か年功序列化についてどちらが良いか自分の意見を書く。 ウ 能力給と年功序列について書かれた英文を読んで、内容を理解する。 エ テーマに関連する語彙・表現等を身に付ける。	①ペア・グループワークに積極的に参加し、感想や自分の考えなどを伝え合おうとしている。 ②積極的に自分の意見を書こうとしている。	①読んだことに基づき、考えや意見を相手にわかりやすく、説得性を持たせながら説明することができる。 ②能力給か年功序列化についてどちらが良いか自分の意見を書くことができる。		①自分の意見や考えを伝える表現を理解している。 ②レポート作成で利用できる語彙を理解している。	・英文を読んで概要を理解する活動 ・与えられたテーマについて、口頭で意見交換する活動 ・与えられたテーマについて調べ、その是非について意見を述べ合う活動 ・自分の考えを書いたり発表したりする活動	・言語活動の観察 ・レポート ・語彙・表現テスト ・定期考査
12	7	Free Trade or Protection?	TPPの是非について書かれた内容	ア ペア・グループ活動に積極的に参加し、考えや意見を相手にわかりやすく、説得性を持たせながら説明することができる。 イ TPPの是非について自分の意見を書くことができる。 ウ TPPについて書かれた英文を読んで、内容を理解する。 エ テーマに関連する語彙・表現等を身に付ける。	①ペア・グループワークに積極的に参加し、感想や自分の考えなどを伝え合おうとしている。 ②積極的に自分の意見を書こうとしている。	①読んだことに基づき、考えや意見を相手にわかりやすく、説得性を持たせながら説明することができる。 ②TPPの是非について自分の意見を書くことができる。		①自分の意見や考えを伝える表現を理解している。 ②レポート作成で利用できる語彙を理解している。	・英文を読んで概要を理解する活動 ・与えられたテーマについて、口頭で意見交換する活動 ・与えられたテーマについて調べ、その是非について意見を述べ合う活動 ・自分の考えを書いたり発表したりする活動	・言語活動の観察 ・レポート ・語彙・表現テスト ・定期考査

令和2年度 サイエンスフロンティア 指導と評価の年間計画

学校名 福井県立高志高等学校

科目名	学科名	対象学年	単位数
K o A - S ・ II	普通科	2年	2
教科書（出版社・タイトル）		補助教材等	
なし		なし	

科目の目標	①前年度のミニ課題研究の経験を踏まえて、研究テーマ・コアテーマの設定を行的確な研究計画を立て、グループ内やグループ間で協力して課題研究に取り組む。 ②課題研究を通して、調査研究やデータ処理、分析・まとめ・発表・議論など課題解決に必要な能力を習得する。		
評価の観点および評価規準			
関心・意欲・態度	思考・判断・表現	調査・研究の技能	23
<ul style="list-style-type: none"> ・幅広い問題に関心を持ち、自身の研究テーマと関連づけて、探究を深めることができる。 ・積極的に質問や議論を行い、相互に理解を深め研究の質を向上させることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・調査・研究・観察・実験等を通して、事象を客観的に捉え、分析的・総合的に考察して、根拠を示して論理的に表現できる。 ・他の研究を正確に理解し、自らの意見や質問を論理的に表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・調査・研究・観察・実験等の方法を理解し、改善を重ねて科学的に探究することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの調査研究や他のグループからの指摘などを理解し、適切に活用して研究を深化させることができる。

「K o A - S ・ II」 指導と評価の年間計画

学校名・学科・学年

福井県立高志高等学校・普通科・2年

実施月	単元名 単元の目標	指導内容	配当 時間	具体的評価規準				評価方法
				関心・意欲・態度	思考・判断・表現	調査研究の技能	知識・理解	
4月	ガイダンス 研究計画	・年間計画の確認。 ・グループ編成 ・テーマ設定 ・コアテーマ設定	6	・各グループのテーマとコアテーマを理解し、建設的な議論を行っている。	・全体計画と各自・各班の課題を把握し、適切に方針を立て、具体的に計画している。	・研究課題や現状を的確に把握・分析し、具体的かつ現実的な実験計画に反映している。	・各自がグループの目標や研究手法、課題等について正確に理解している。	実験計画書 探究ノート
5月 6月	課題研究	・予備的調査研究 ・テーマ、コアテーマの再設定 ・研究計画策定	14	・課題解決に関心を持ち、自ら役割を見つけ協力して取り組んでいる。	・情報を適切に取捨選択し、必要な質・量の情報を適切に効率的に収集している。 ・グループ内で積極的な議論を行い研究の改善に資することができる。	・調査・研究・観察・実験等の方法を理解し、適切に実行できる。	・各自の調査研究で得た情報を適切に記録・把握し、論理的に分析している。	実験計画書 探究ノート
7月	中間報告会	・中間報告会の準備 ・中間報告会 (領域別、コアテーマ別) ・フィールドワーク準備	8	・進捗を共有し、わかりやすくまとめたり発表したりするための工夫を行っている。	・年間の計画を意識しこの段階に必要なまとめを行い、わかりやすく発表できる。		・発表会での議論や指摘を理解し、整理してまとめ、記録に残すことができる。	研究ノート 発表 発表資料
9月 10月	課題研究	・中間報告会や休業中の情報収集を踏まえて研究計画を修正する。 ・海外交流等での調査・発表を計画的に進める。	10	・中間報告会も踏まえた上で、情報を整理し、研究が深まるよう徹底して取り組もうとしている。	・中間報告会も踏まえた上で、情報を適切に取捨選択し、必要な質・量の情報を適切に効率的に収集している。 ・グループ内で積極的な議論を行い研究の改善に資することができる。	・調査・研究・観察・実験等の方法を理解し、適切に実行できる。	・各自の調査研究で得た情報を適切に記録・把握し、論理的に分析している。	探究ノート
11月 12月	課題研究	・研修旅行等での調査・発表を踏まえて、研究を進める。 ・発表会に向け、計画的に情報のまとめと分析を行う。	12	・グループ内およびコアテーマ内で十分に議論し、研究結果を真摯に分析しようとしている。	・情報を適切に取捨選択し、必要な質・量の情報を適切に効率的に収集している。 ・グループ内で積極的な議論を行い研究の改善に資することができる。	・調査・研究・観察・実験等の方法を理解し、適切に実行できる。	・各自の調査研究で得た情報を適切に記録・把握し、論理的に分析している。	探究ノート
1月 2月	発表準備 2年生研究発表会	・研究結果をまとめ、レポート、ポスター、発表資料を作成する。 ・効果的な発表を計画・準備する。	14	・研究成果をわかりやすく伝えることができるよう、工夫を重ねている。 ・聞き手に配慮しわかりやすく発表し、積極的に議論しようとしている。	22	・発表会での議論を通じて今後の研究に必要な指摘や知見を得ることができる。	・発表会での議論や指摘を理解し、整理してまとめ記録に残すことができる。	探究ノート 発表 発表資料 レポート
3月	課題研究	・発表会を踏まえ、研究計画を修正する。	23	・指摘を率直に受け入れて前向きに改善を図ろうとする。	・発表会を受けて来年度に向けて研究計画の見直しを行い、まとめることができる。	・次年度の最終まとめに向けて必要な調査・研究を整理し、必要な準備を計画することができる。	・各自の調査研究で得た情報を適切に記録・把握し、論理的に分析し、今後の課題とその解決策について検討できる。	探究ノート